

**Ⅲ 18 歳以上の区民の方が対象**  
～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～



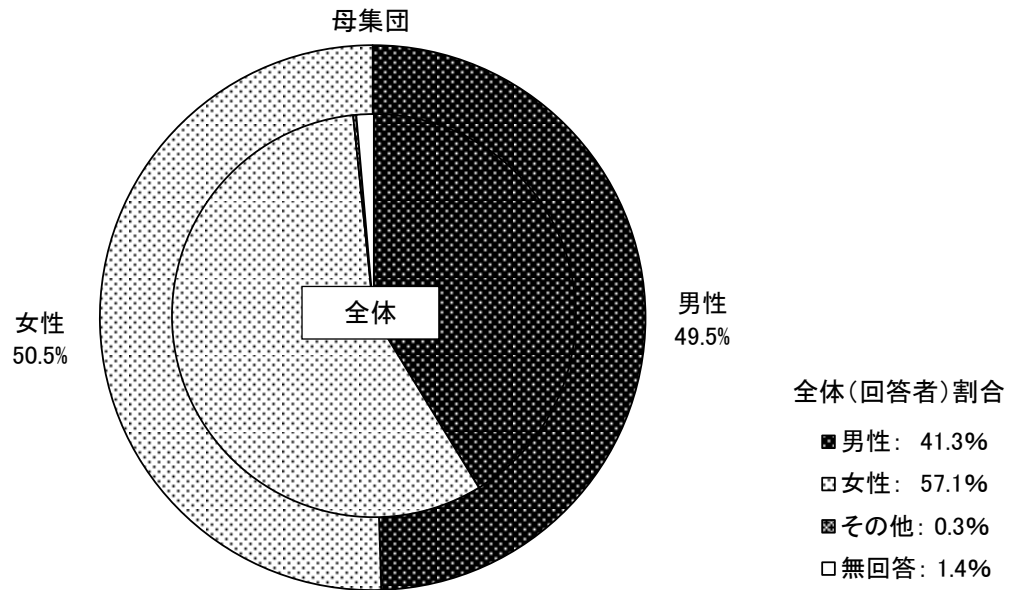
# 1 回答者の属性について

## (1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=636, 231) 令和 5 年 1 月 1 日現在

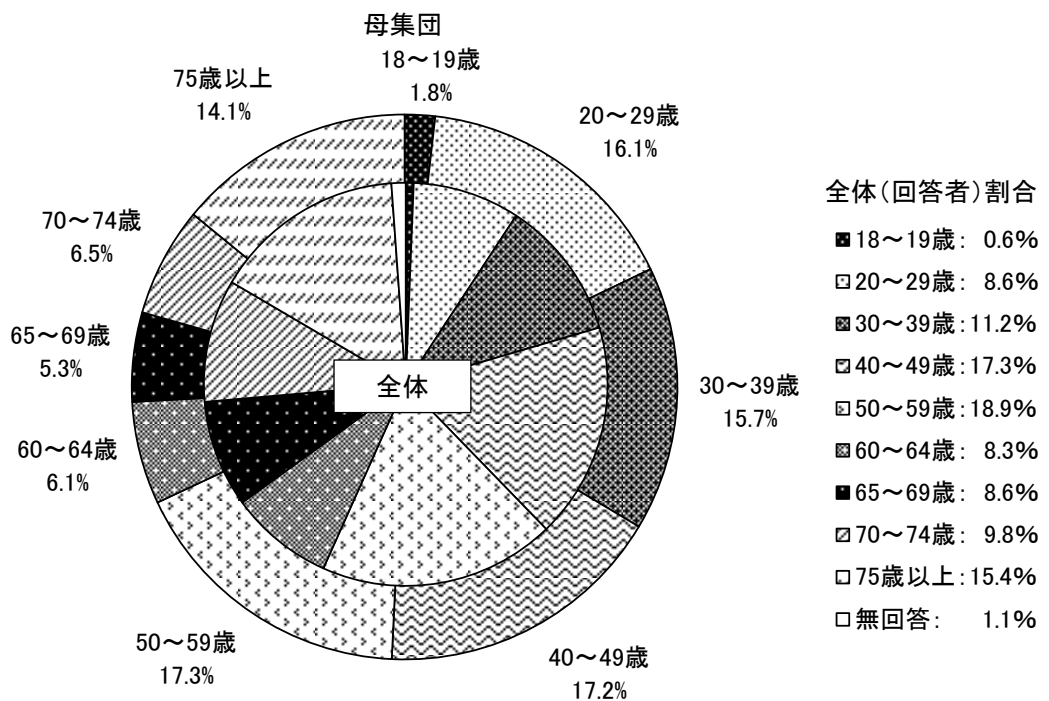
全 体：有効回収数 (n=792)

全体 n=792



## (2) 年齢

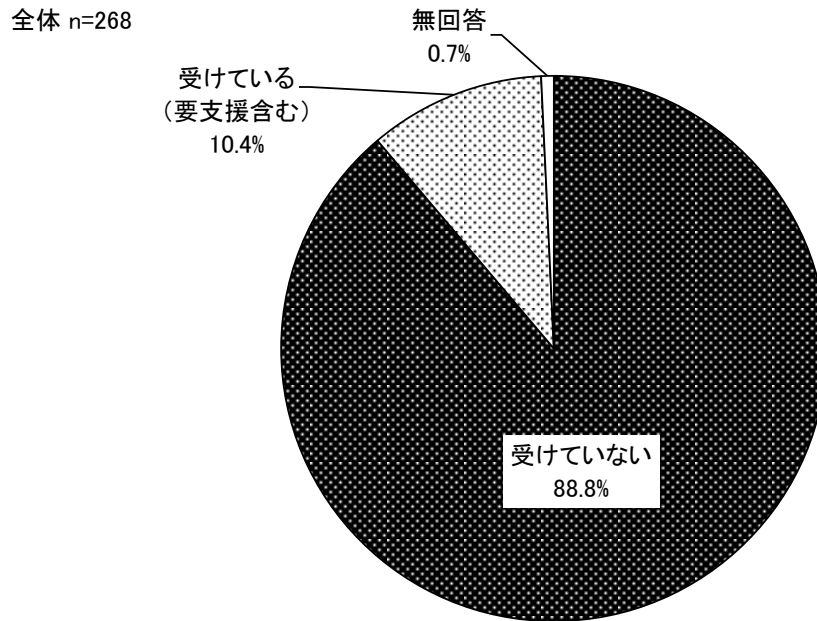
全体 n=792



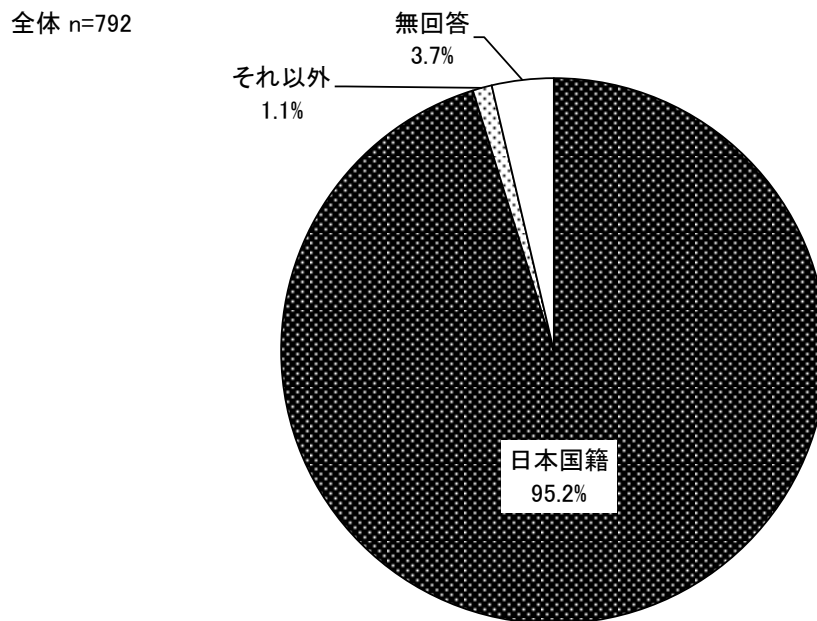
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 5 年 1 月 1 日現在

### (3) 要介護認定の状況

#### 【65歳以上の方】



### (4) 国籍

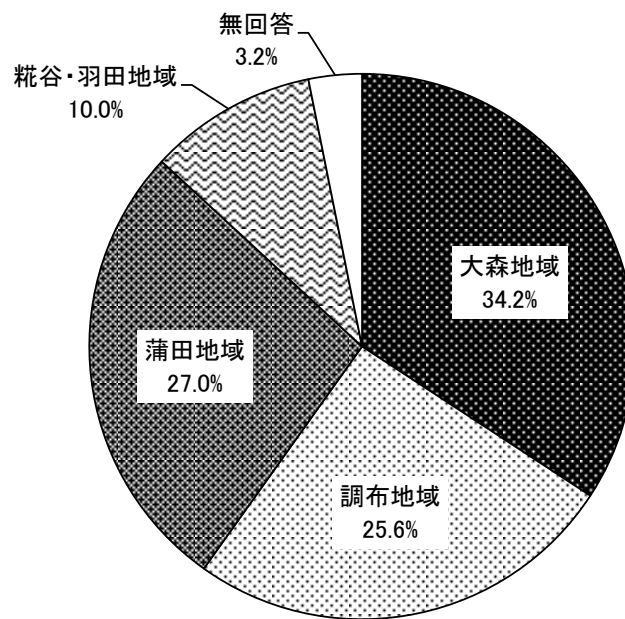


#### ■ 日本国籍以外

	アメリカ	中国	韓国	台湾	タイ	パラグアイ	無回答
人数	2	1	1	1	1	1	2

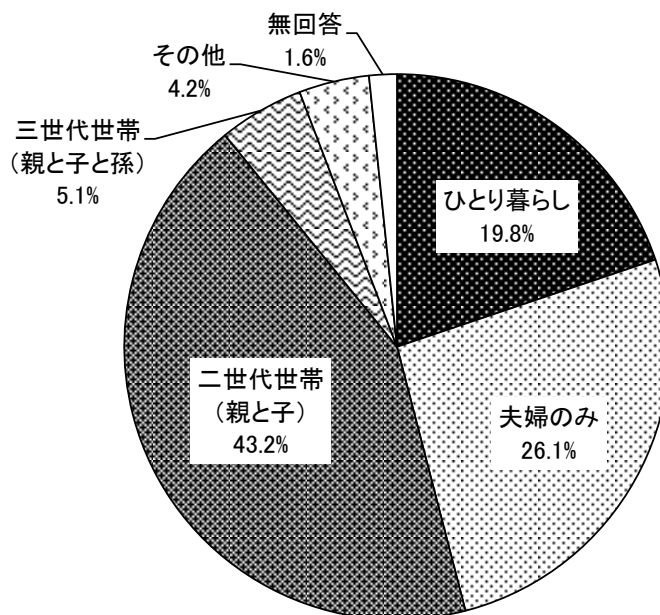
### (5) 居住地域

全体 n=792

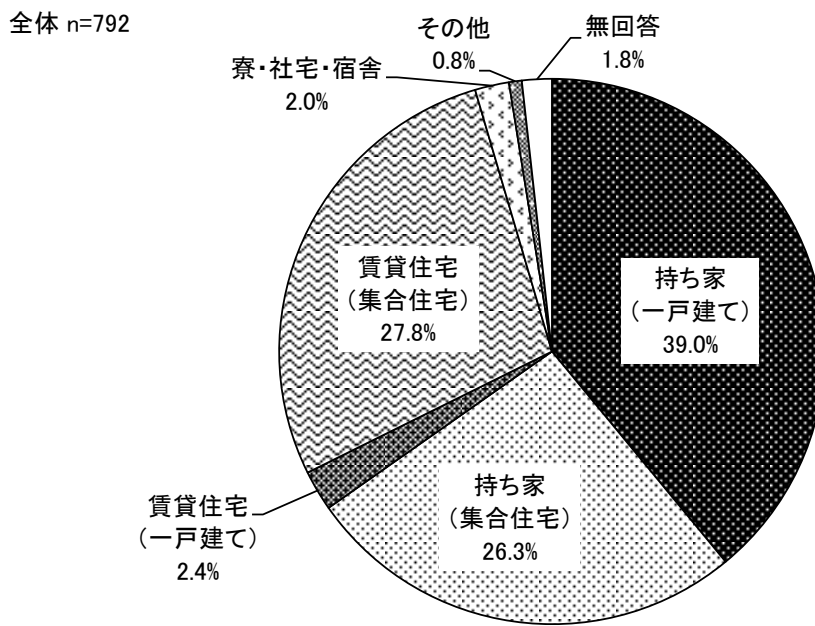


### (6) 家族構成

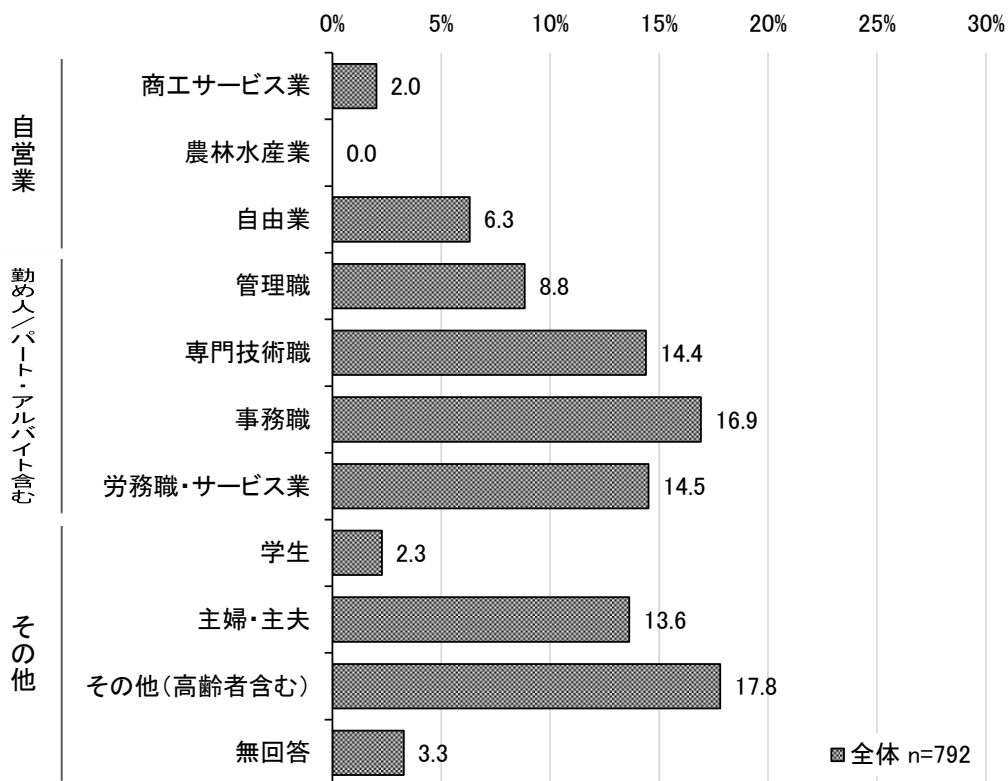
全体 n=792



### (7) 住まいの種類

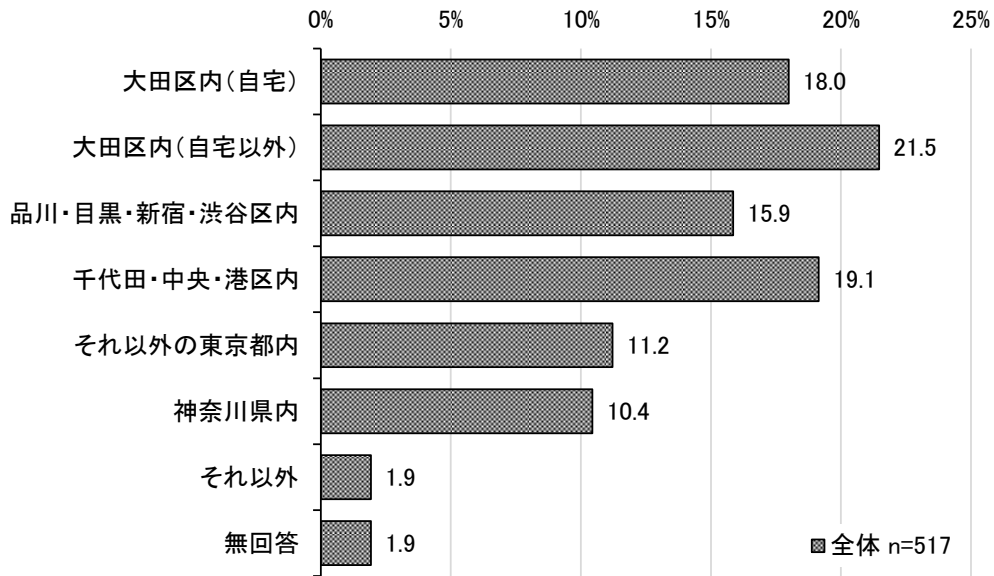


### (8) 職業

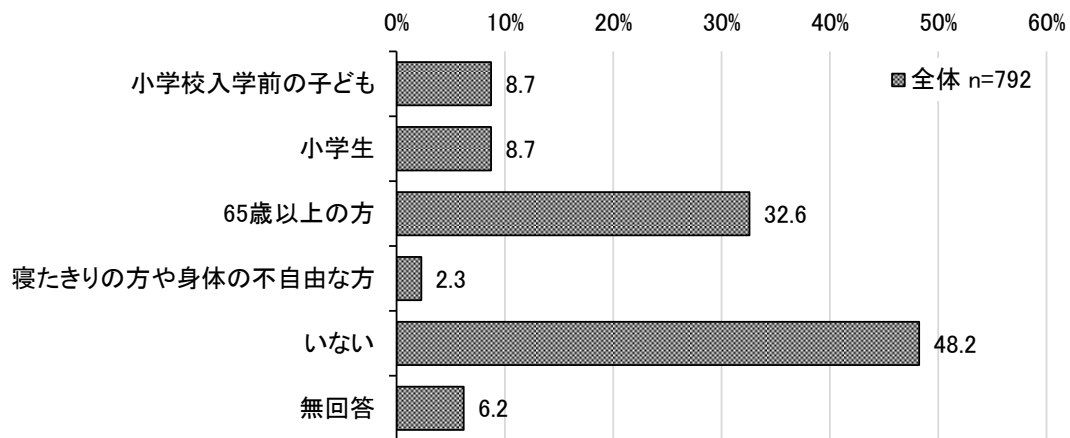


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

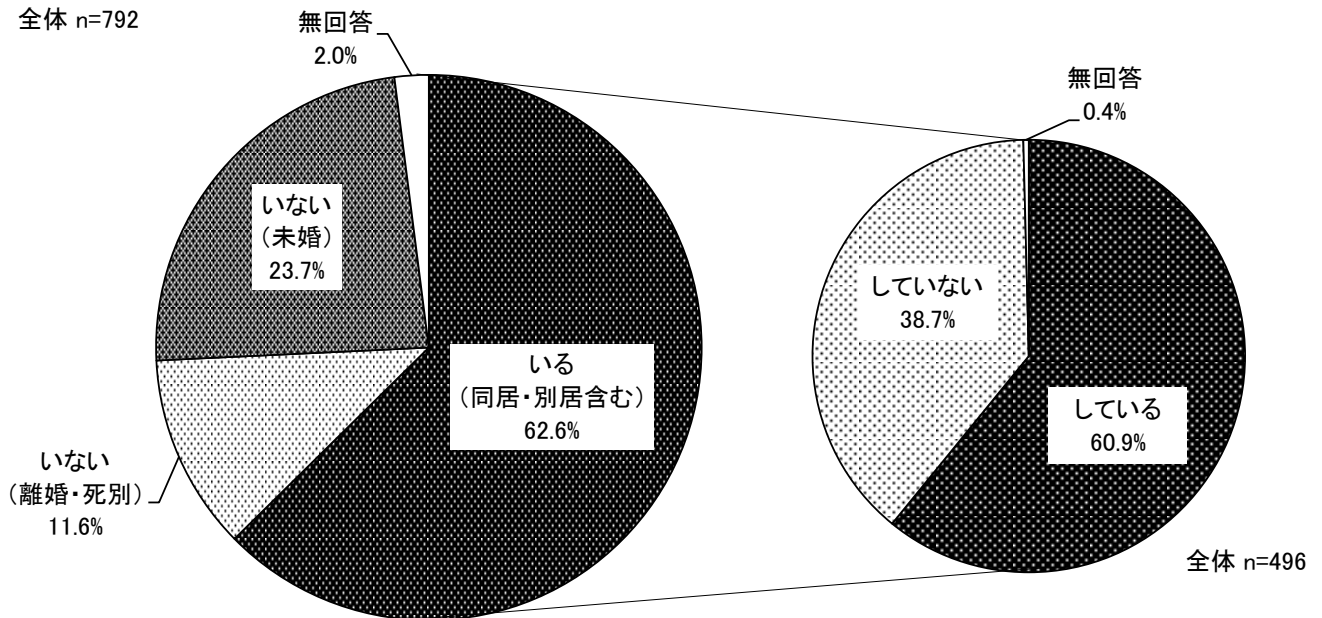


(10) 同居家族

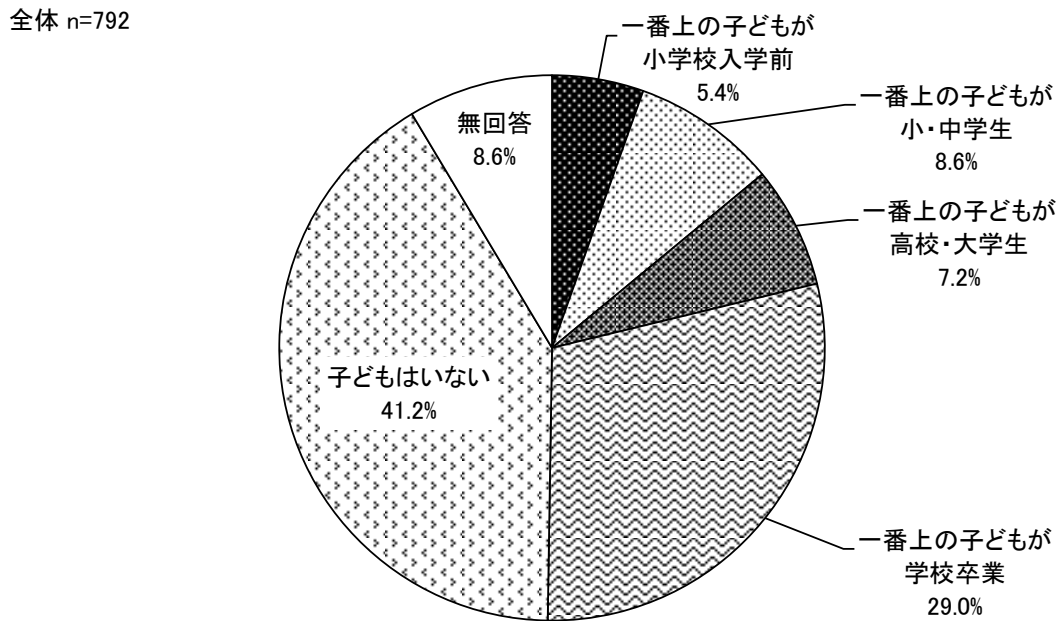


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】

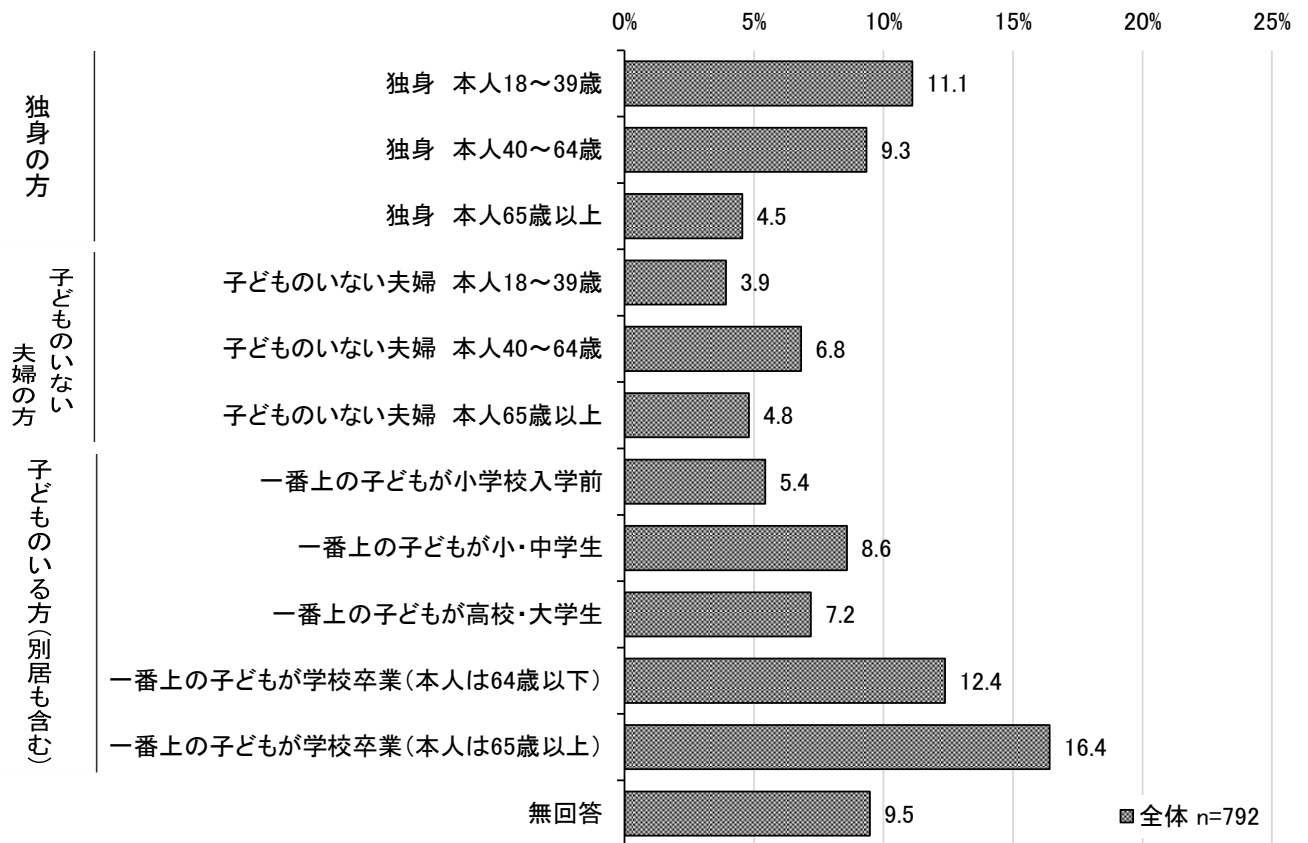


(13) 子どもの有無

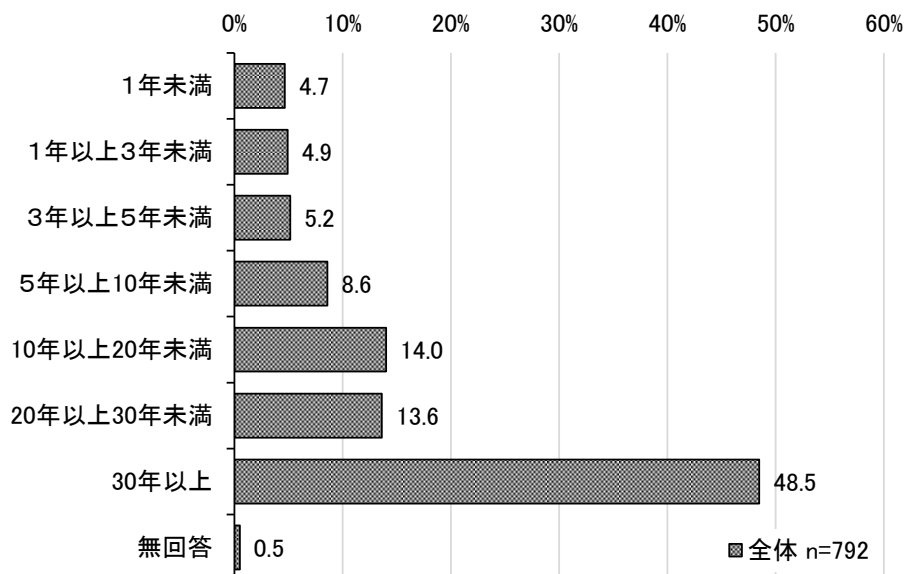




(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



## 2 商店街について

### (1) 普段の買い物で利用する業態及び理由

◇食料品、日用雑貨：近所のスーパーマーケットを利用する割合が高い

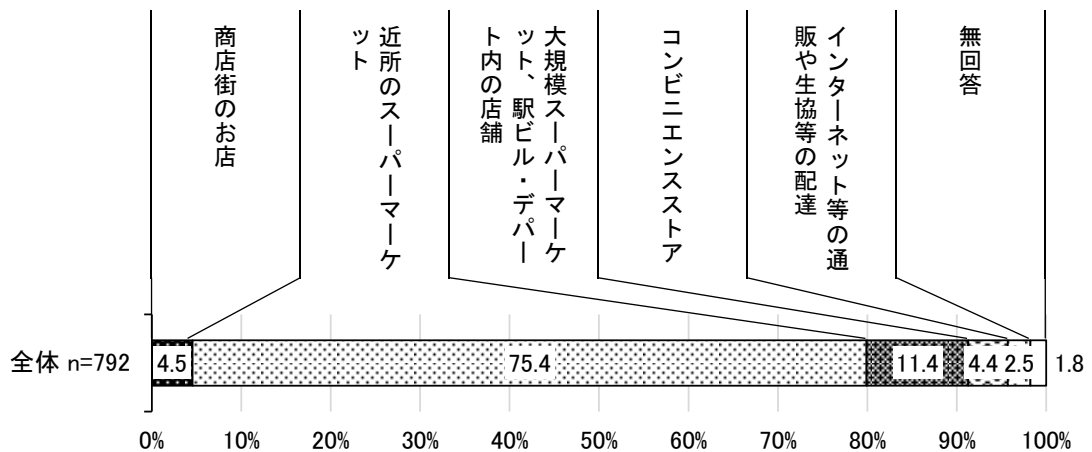
◇衣類：大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗を利用する割合が高い

**問1 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。**

**項目ごとに最も多く利用する「①業態」と、「②その理由」を、選択肢の中からそれぞれ1つを選んで、四角の中に数字とアルファベットを記入してください。(それぞれ1つのみ)**

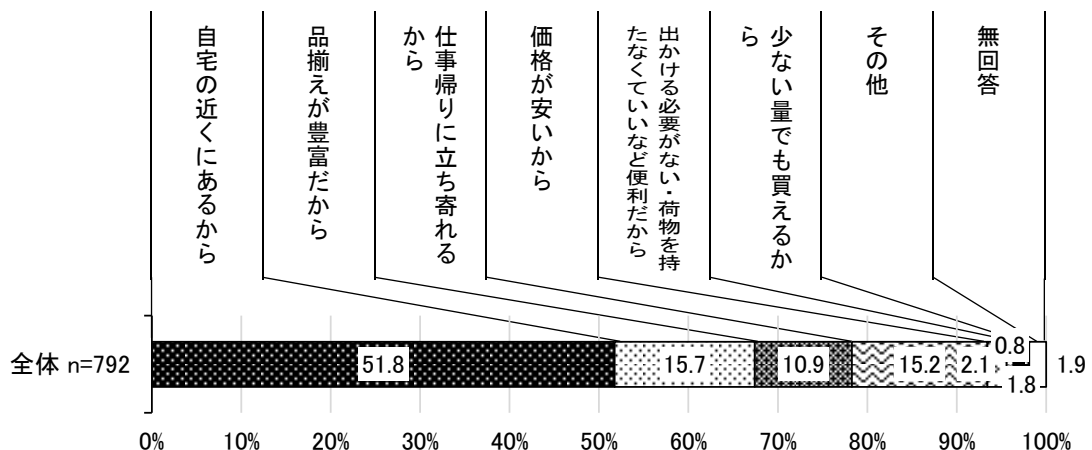
#### ■食料品【業態】

食料品を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が75.4%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が11.4%、「商店街のお店」が4.5%となっている。



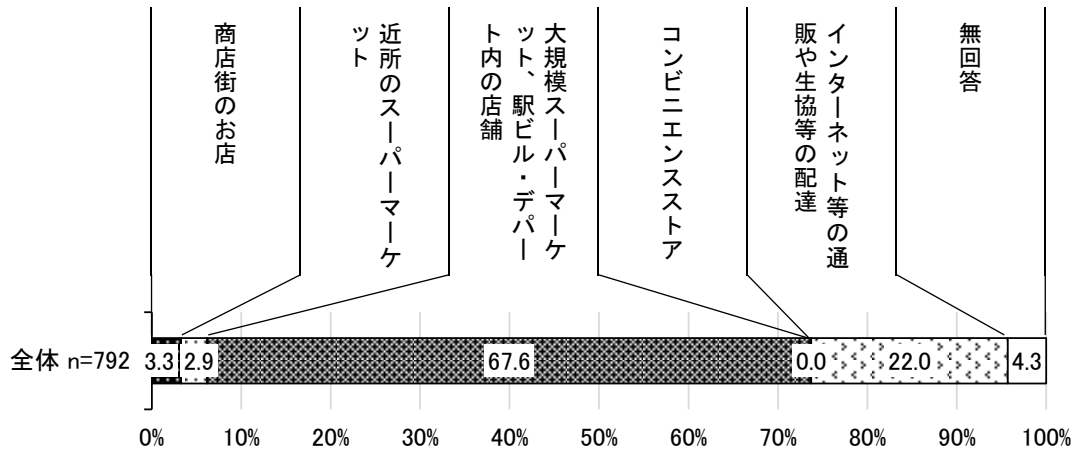
#### ■食料品【理由】

食料品を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が51.8%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が15.7%、「価格が安いから」が15.2%となっている。



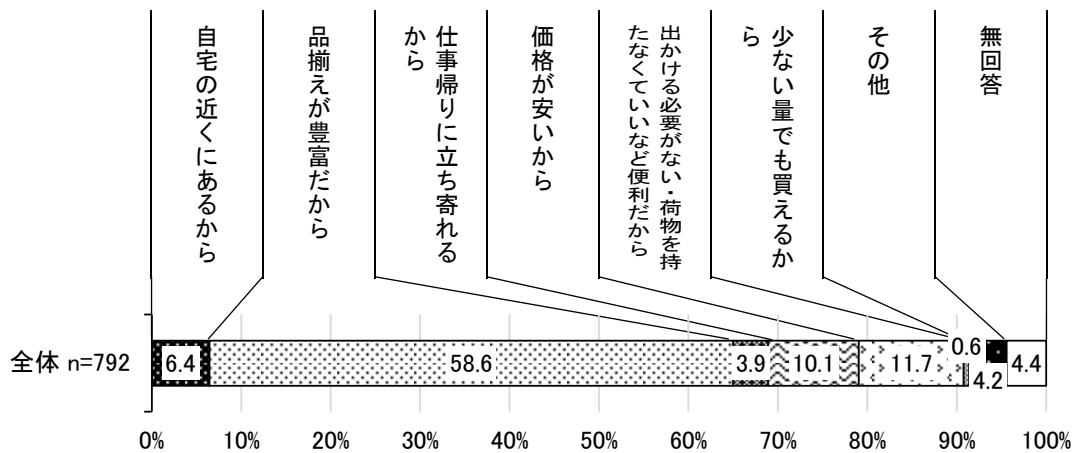
■衣類【業態】

衣類を購入するお店の業態については、「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が67.6%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」が22.0%、「商店街のお店」が3.3%となっている。



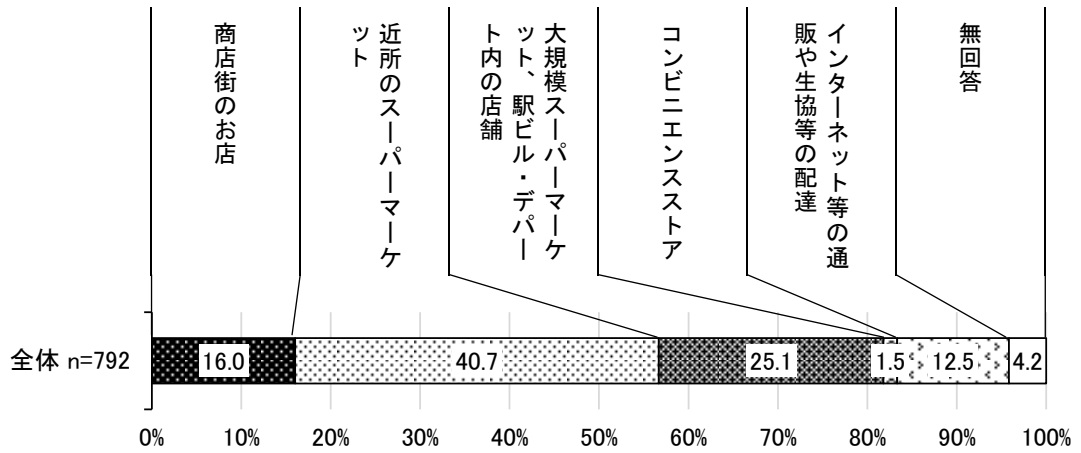
■衣類【理由】

衣類を購入するお店を選ぶ理由については、「品揃えが豊富だから」が58.6%で最も高く、次いで「出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから」が11.7%、「価格が安いから」が10.1%となっている。



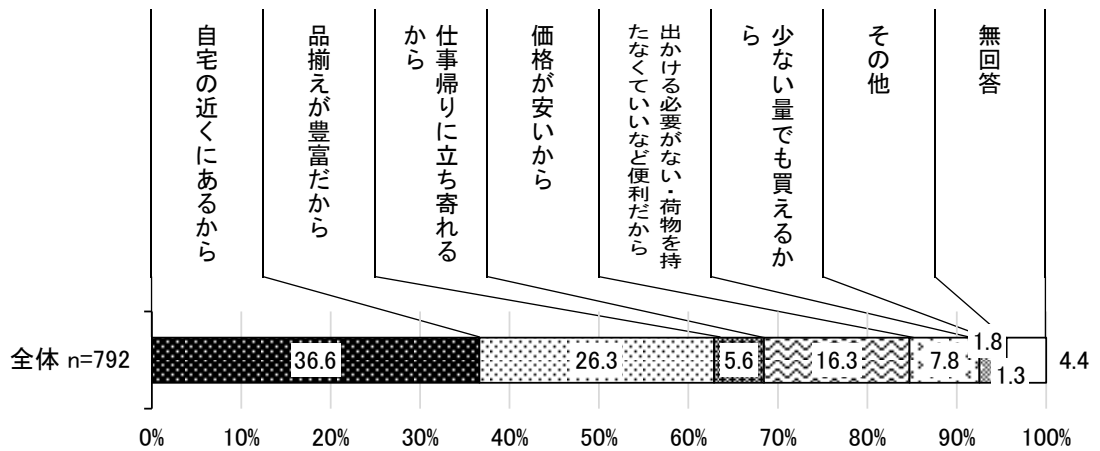
■ 日用雑貨【業態】

日用雑貨を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が40.7%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が25.1%、「商店街のお店」が16.0%となっている。



■ 日用雑貨【理由】

日用雑貨を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が36.6%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が26.3%、「価格が安いから」が16.3%となっている。

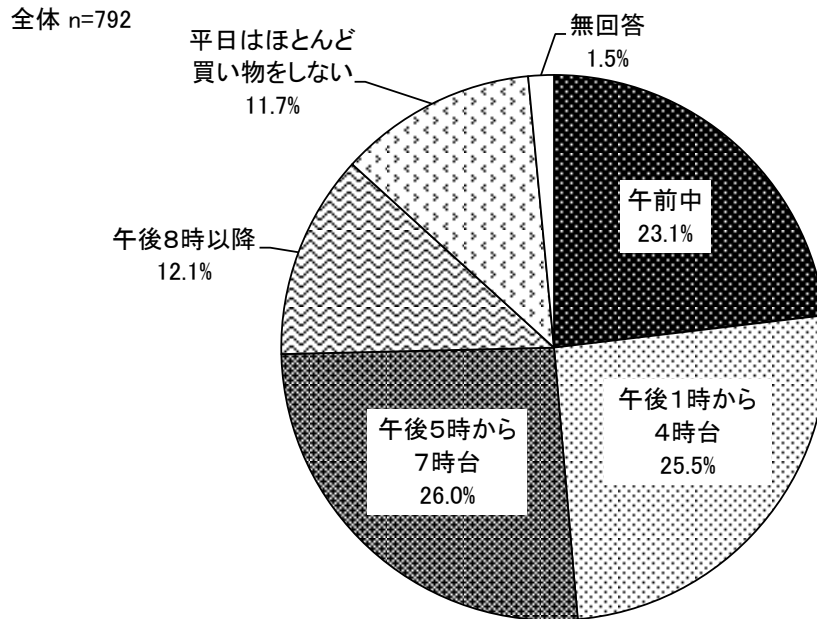


## (2) 買い物をする時間帯

◇「午後5時から7時台」が2割半ばで最も高くなっている

### 問2 平日に食料品や日用品の買い物をする主な時間帯はどれですか。(1つのみ)

買い物をする時間帯については、「午後5時から7時台」が26.0%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」が25.5%、「午前中」が23.1%となっている。

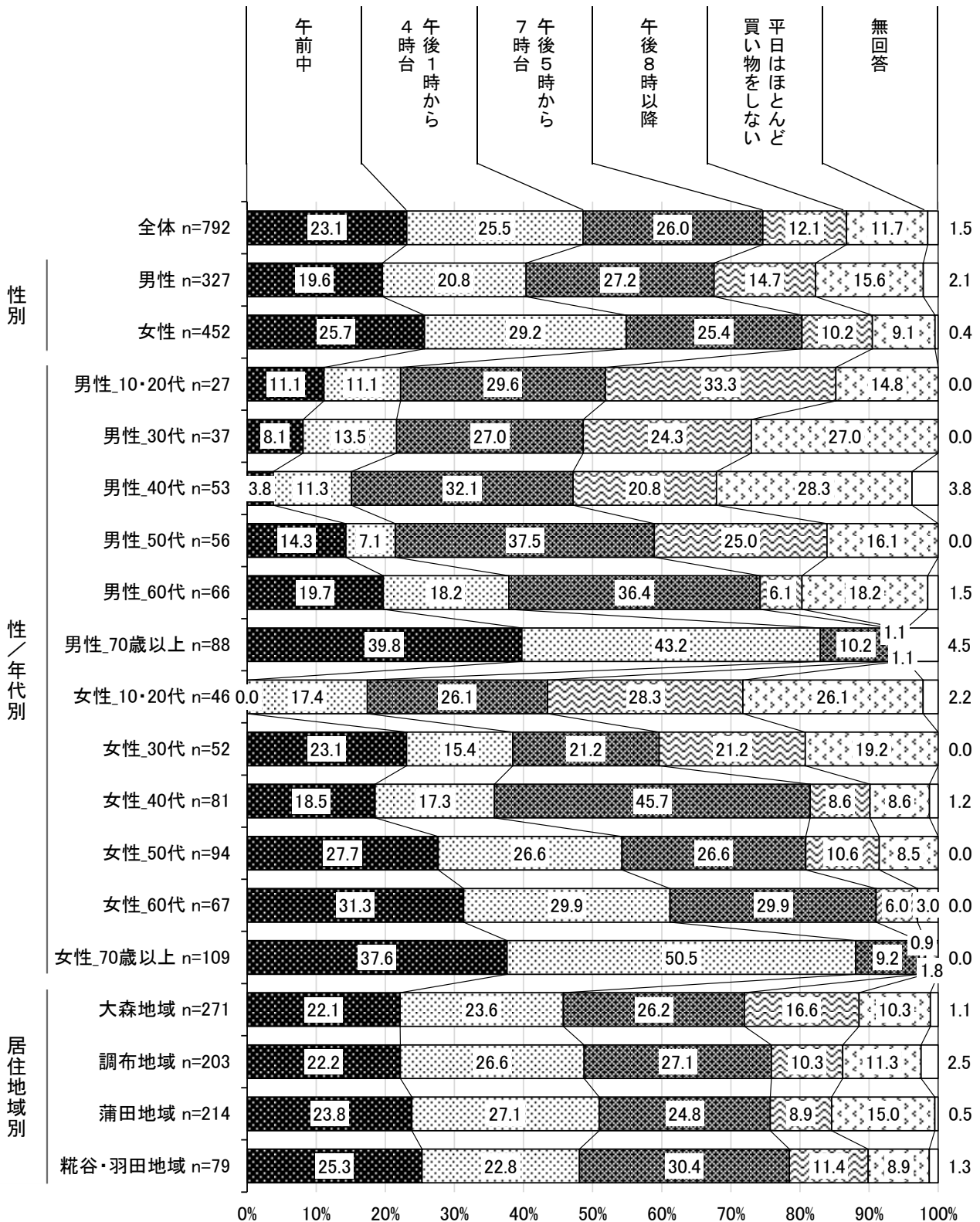


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「午前中」は男性が19.6%、女性が25.7%と、女性が6.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、男性、女性ともに「午前中」は年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上が約4割、女性70歳以上が3割後半となっている。一方で、「午後8時以降」は年代が下がるにつれて増加傾向であり、男性30代では2割半ば、女性10・20代では2割後半となっている。

居住地域別でみると、「午後5時から7時台」は糶谷・羽田地域で約3割と高くなっている。



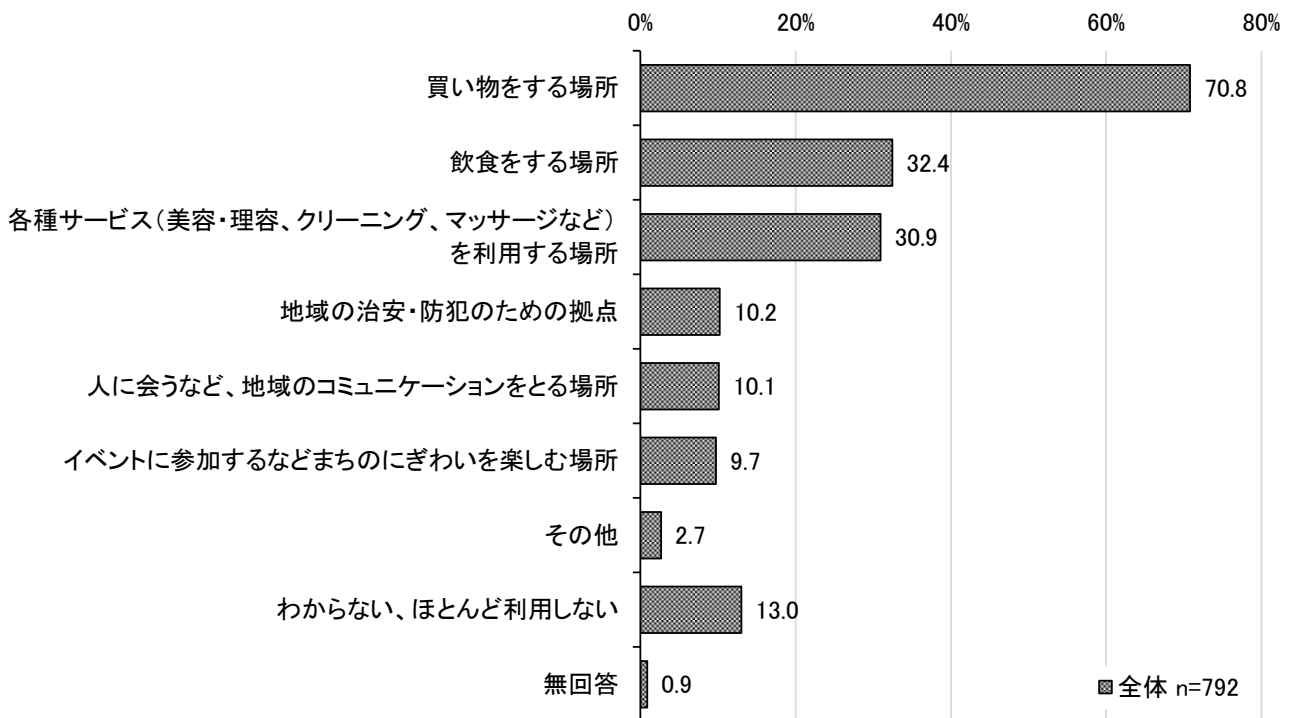
### (3) 商店街への印象

◇「買い物をする場所」が約7割で最も高くなっている

#### 問3 あなたにとって、商店街はどのような場所ですか。(いくつでも)

商店街への印象については、「買い物をする場所」が70.8%で最も高く、次いで「飲食をする場所」が32.4%、「各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所」が30.9%となっている。

なお、「わからない、ほとんど利用しない」は13.0%となっている。

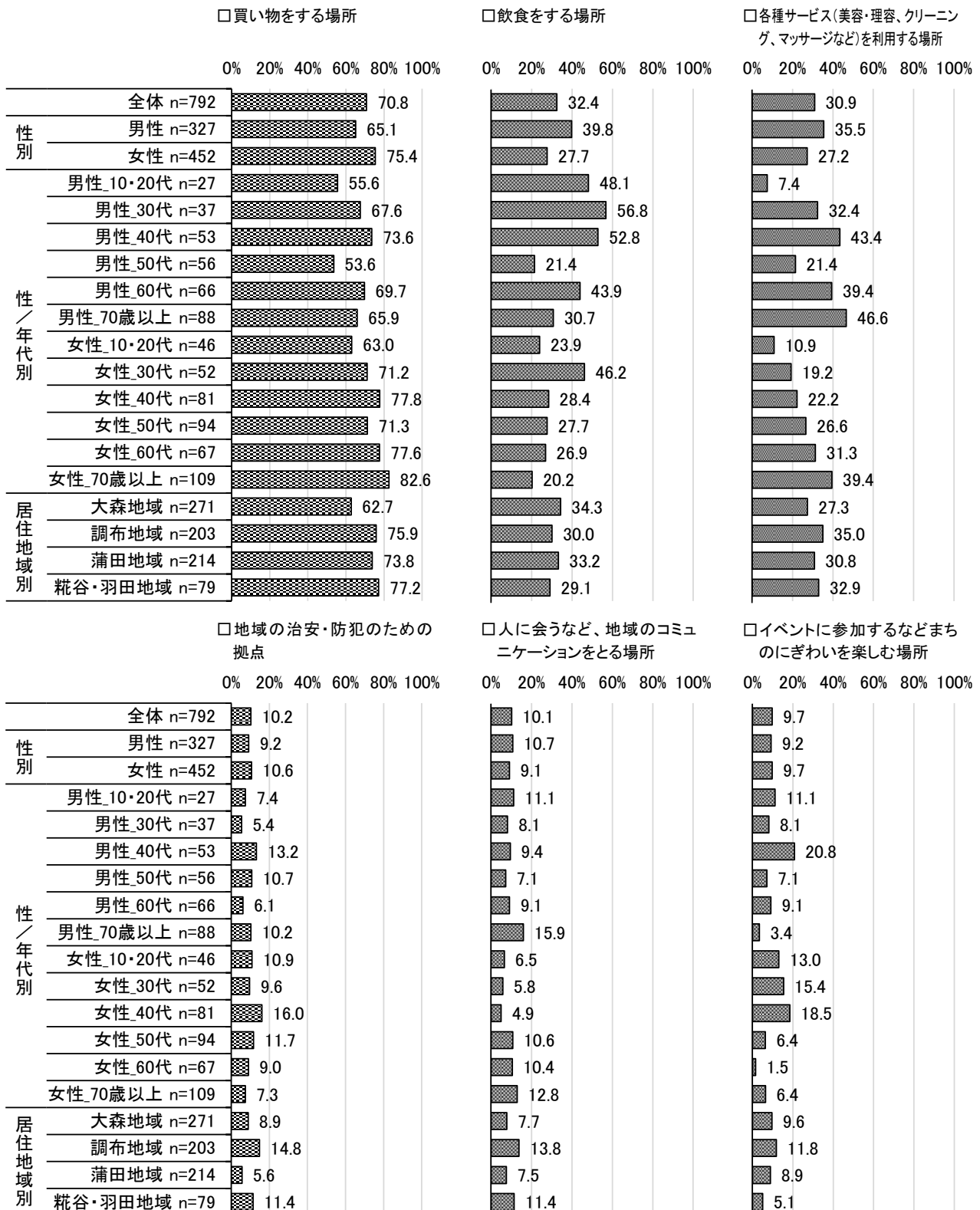


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「買い物をする場所」が最も高く、男性が65.1%、女性が75.4%と、女性が10.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、すべての年代で「買い物をする場所」が最も高くなっている。「飲食をする場所」は男性30代で5割後半と高くなっている。「各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所」は男性40代、男性70歳以上で4割台と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「買い物をする場所」が最も高く、糀谷・羽田地域で7割後半となっている。





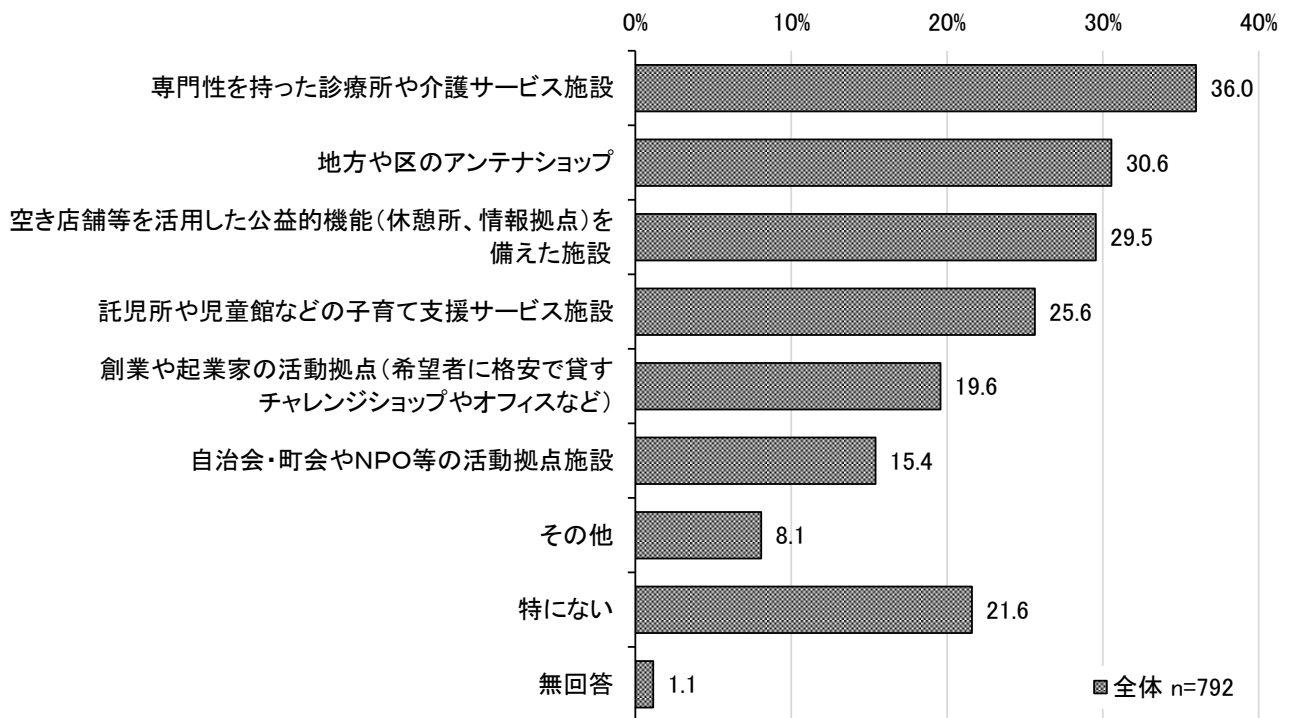
#### (4) 商店街に必要だと思う施設等

◇「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が3割半ばで最も高くなっている

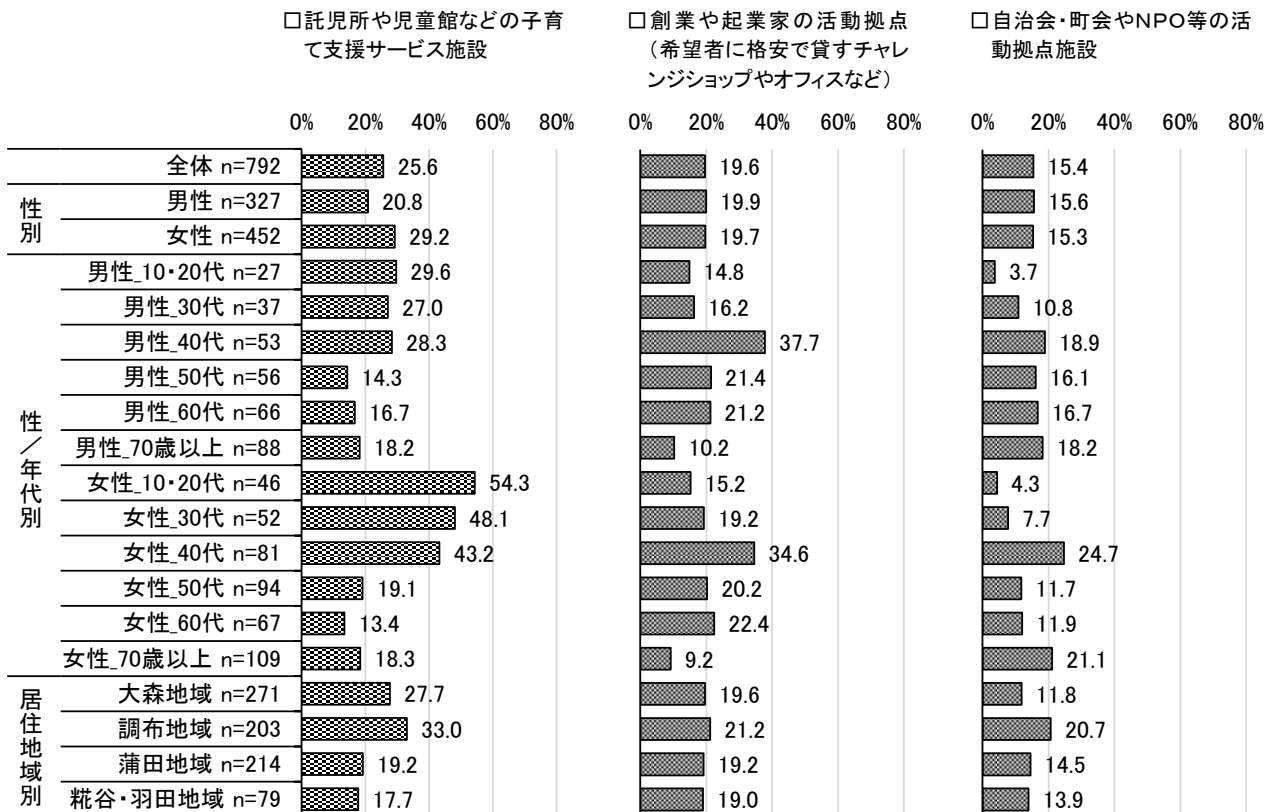
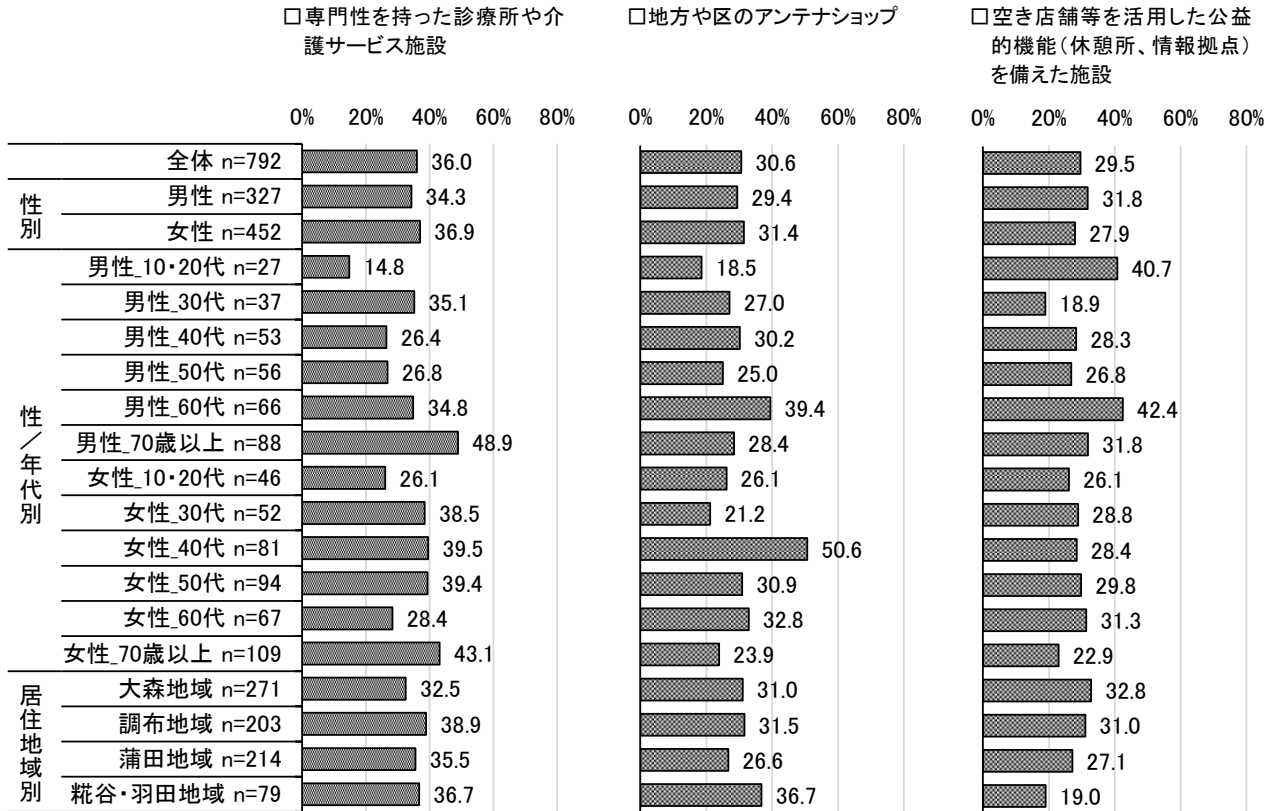
#### 問4 あなたが商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(いくつでも)

商店街に必要だと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が36.0%で最も高く、次いで「地方や区のアンテナショップ」が30.6%、「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が29.5%となっている。

なお、「特にない」は21.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性、女性ともに「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」は男性では70歳以上で4割後半、女性では70歳以上で4割前半と高くなっている。「地方や区のアンテナショップ」は女性40代で約5割と高くなっている。「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」は女性10・20代で5割半ば、女性30代、女性40代で4割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域では「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が、調布地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。なお、糀谷・羽田地域では「地方や区のアンテナショップ」も最も高くなっている。

### (5) 「今後もずっと残ってほしい」と思う個人商店の有無

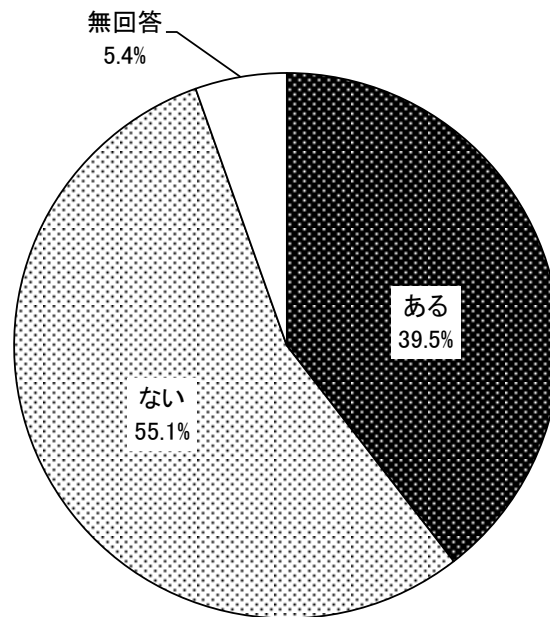
◇ 「ある」は約4割となっている

**問5 お住まいの近くにある個人商店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。  
(1つのみ)**

※ 「ある」と回答した方は、店名、場所、業種をご記入ください。

今後もずっと残ってほしいと思う個人商店の有無については、「ある」が39.5%、「ない」が55.1%と、「ない」が15.6ポイント上回っている。

全体 n=792

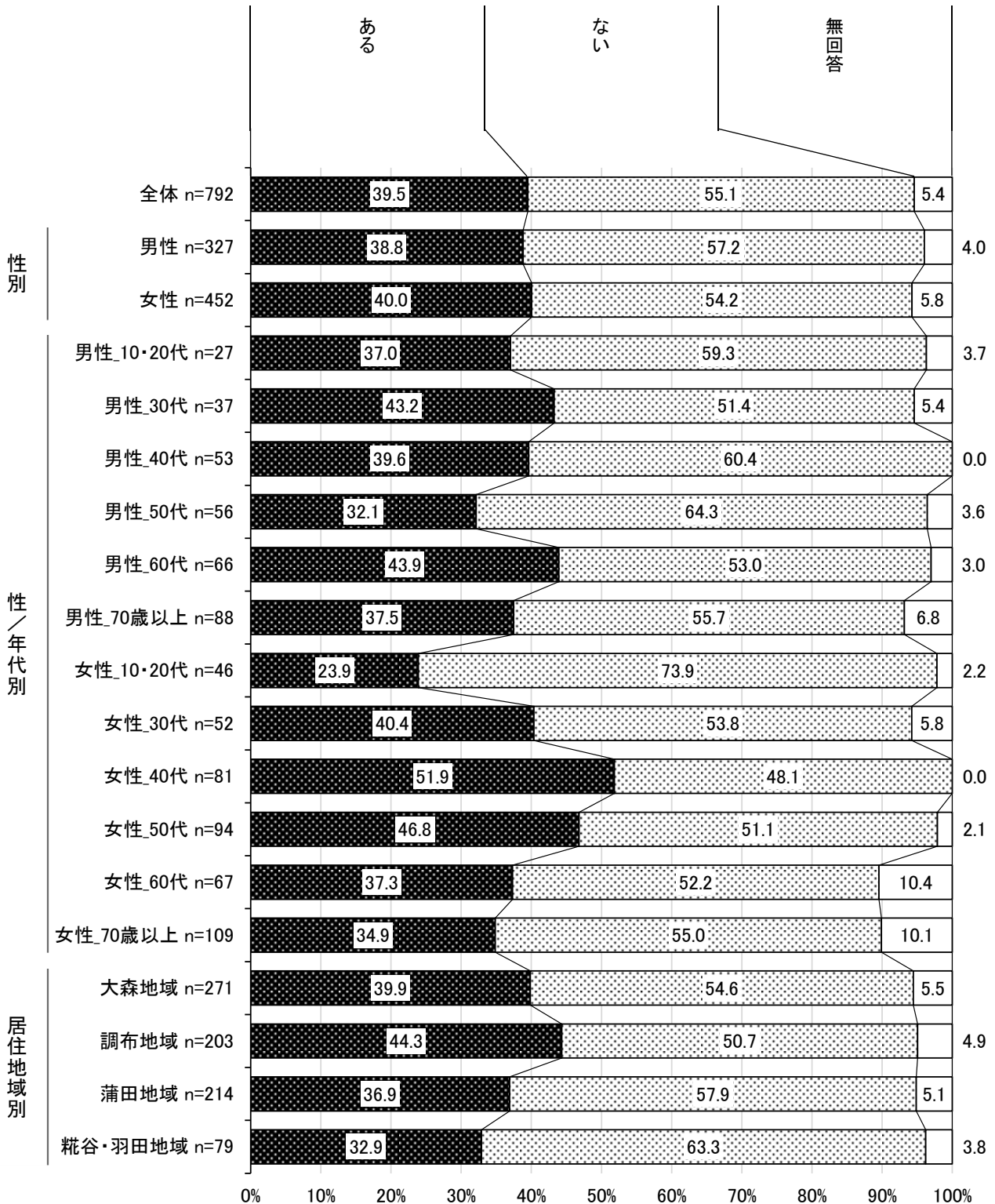


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「ある」は男性では30代、60代で4割前半、女性では40代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は調布地域で4割半ばと高くなっている。



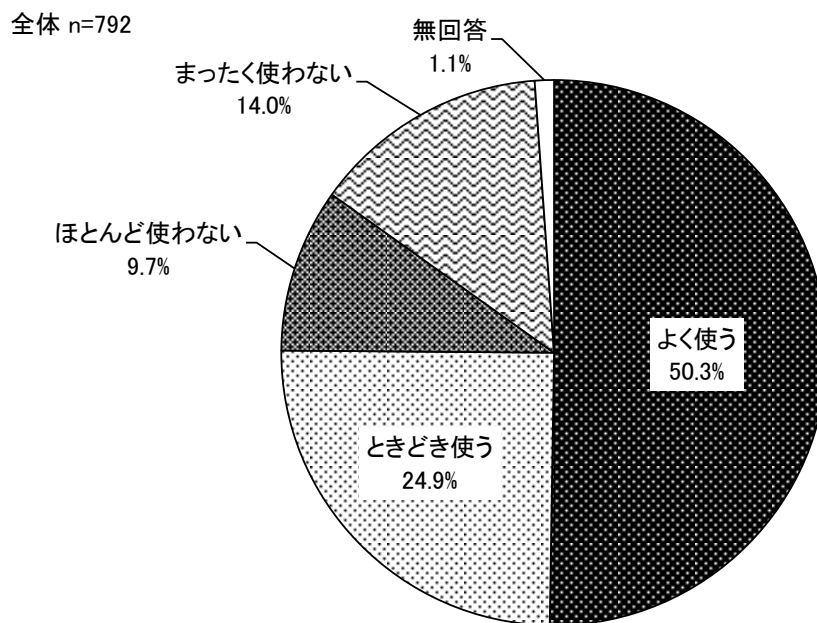
### 3 キャッシュレスについて

#### (1) キャッシュレスでの支払い

◇「よく使う」は約5割となっている

**問6 あなたは普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（1つのみ）**

キャッシュレスでの支払いについては、「よく使う」が50.3%で最も高く、次いで「ときどき使う」が24.9%、「まったく使わない」が14.0%となっている。

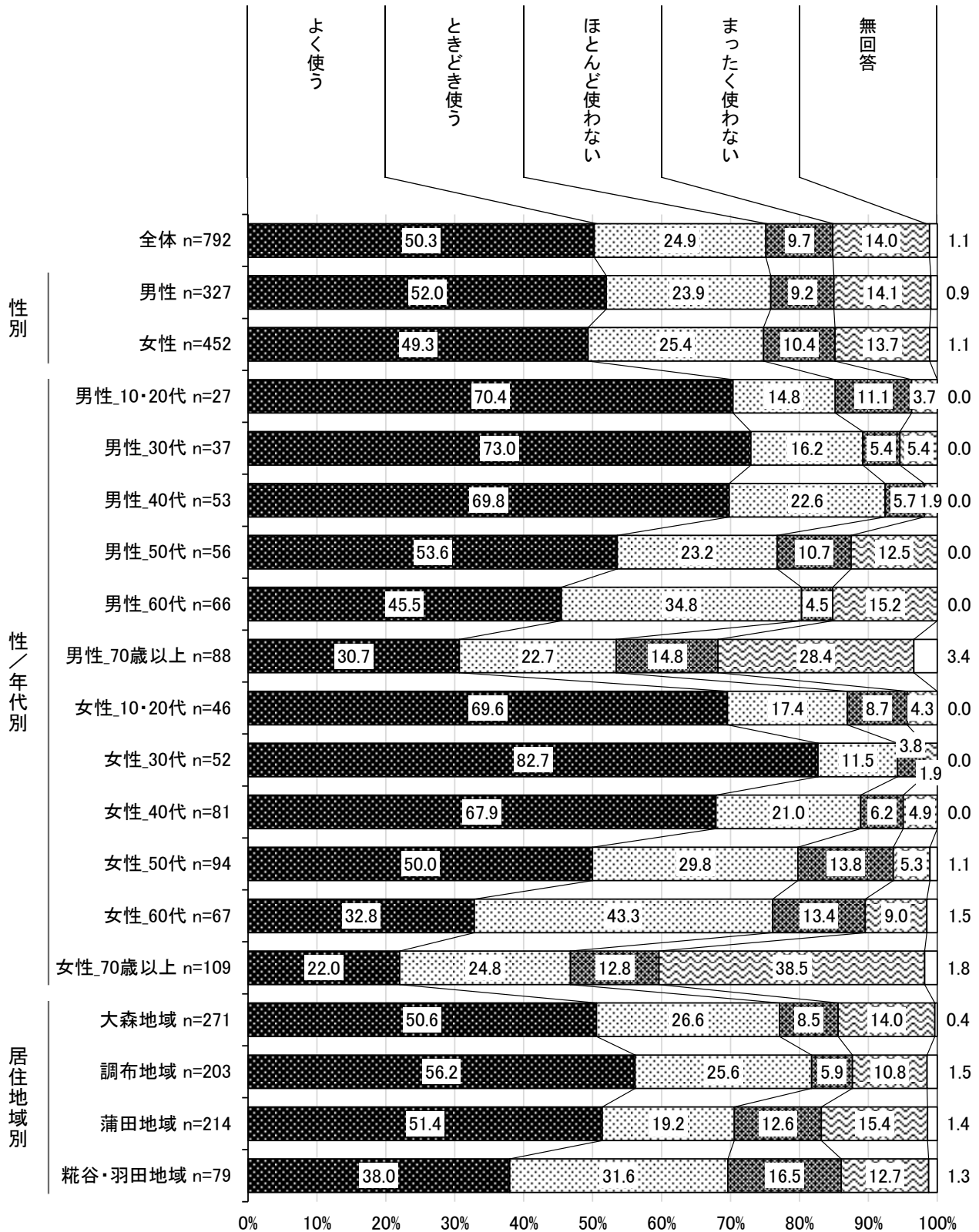


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「よく使う」は男性では30代で7割前半、女性では30代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「よく使う」は調布地域で5割後半と高くなっている。



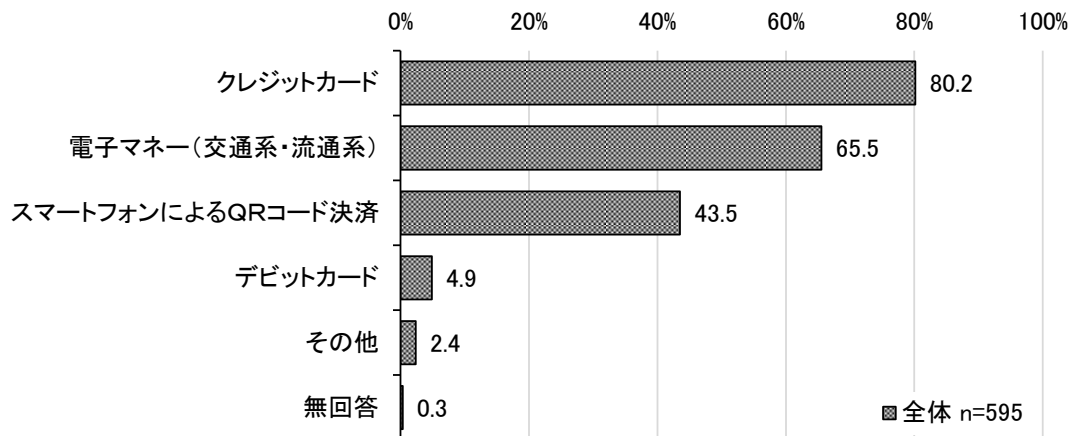
## (2) キャッシュレスの支払いで利用している手段

◇「クレジットカード」が約8割で最も高くなっている

【問6で「よく使う」「ときどき使う」と回答した方に伺います。】

### 問6-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が80.2%で最も高く、次いで「電子マネー(交通系・流通系)」が65.5%、「スマートフォンによるQRコード決済」が43.5%となっている。



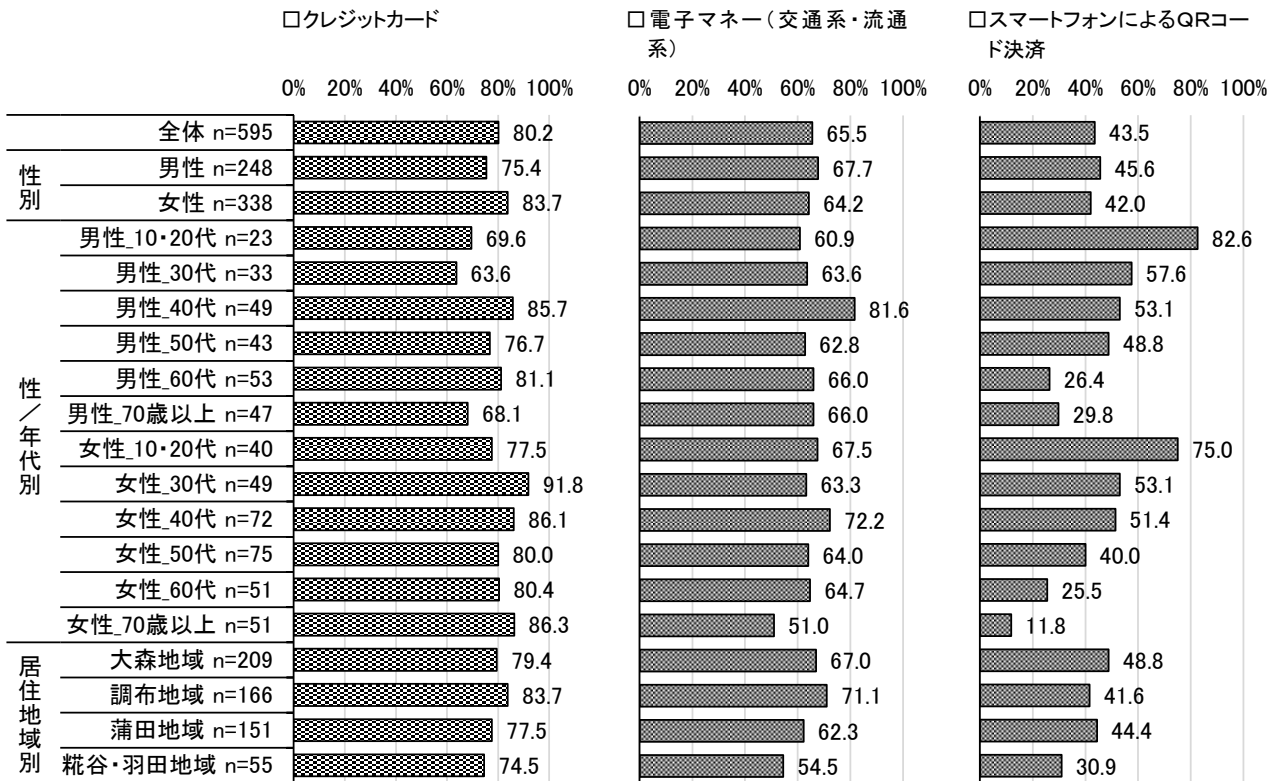


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高く、男性が75.4%、女性が83.7%と、女性が8.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は女性30代で9割前半と高くなっている。「スマートフォンによるQRコード決済」は男性、女性ともに年代が下がるにつれて増加傾向がみられる。

居住地域別でみると、すべての地域で「クレジットカード」が最も高く、調布地域で8割前半となっている。



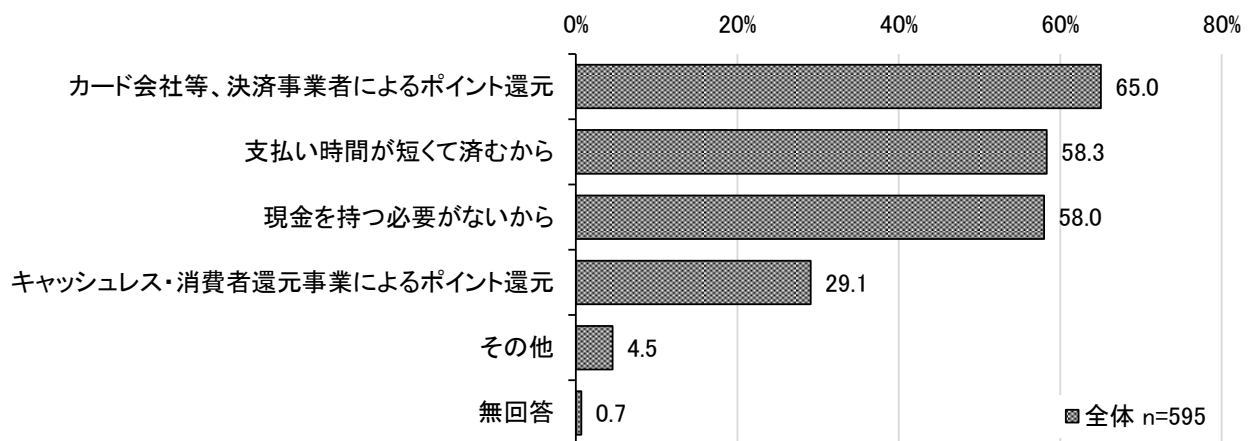
### (3) キャッシュレスで支払いをする理由

◇「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が6割半ばで最も高くなっている

【問6で「よく使う」「ときどき使う」と回答した方に伺います。】

#### 問6-2 キャッシュレス支払いを使用する理由は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスで支払いをする理由については、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が65.0%で最も高く、次いで「支払い時間が短くて済むから」が58.3%、「現金を持つ必要がないから」が58.0%となっている。

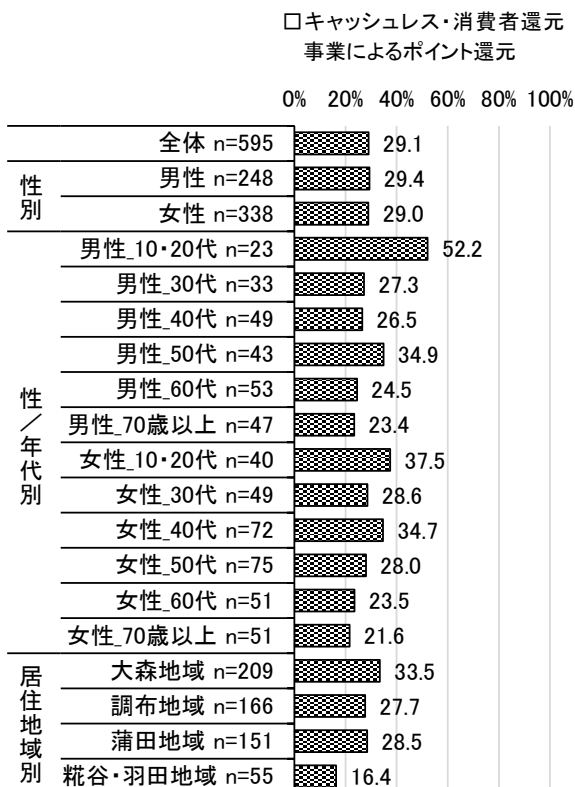
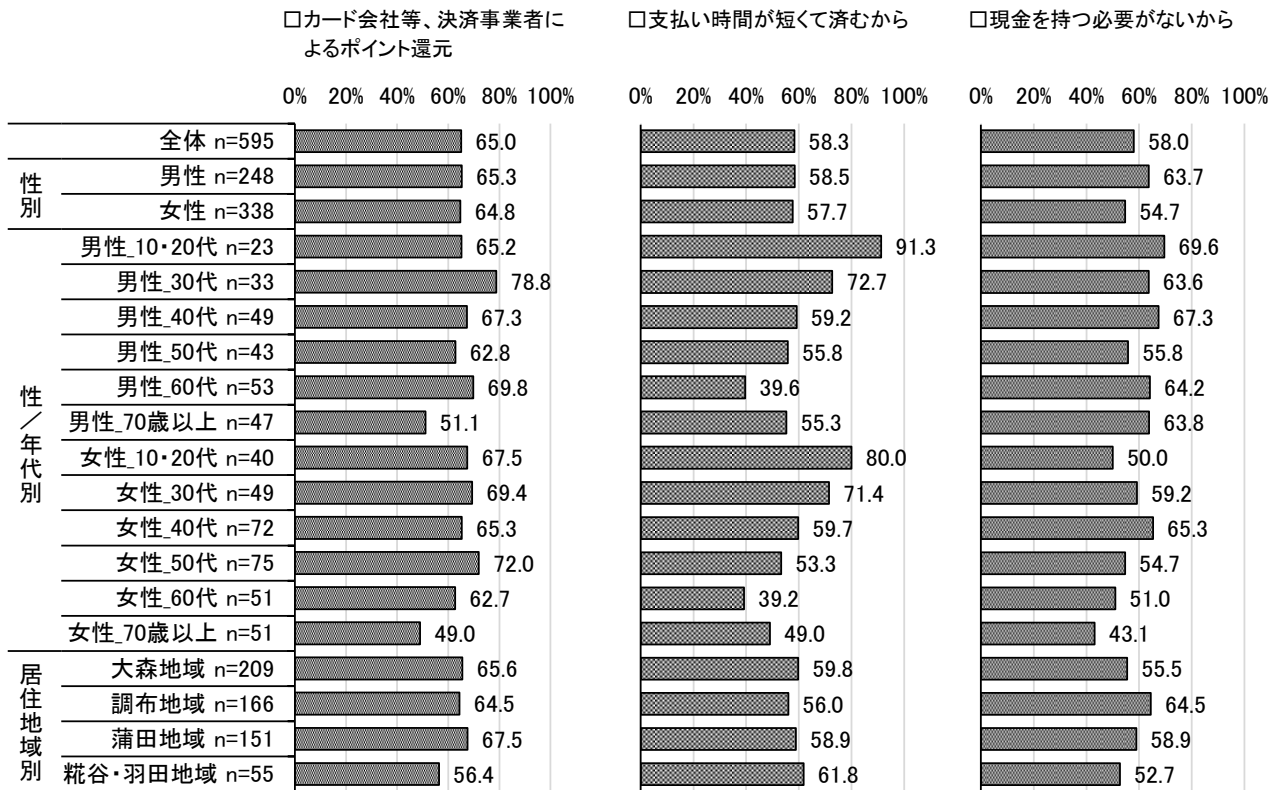


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」は男性では30代で7割後半、女性では50代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」は大森地域、調布地域、蒲田地域で6割台となっている。



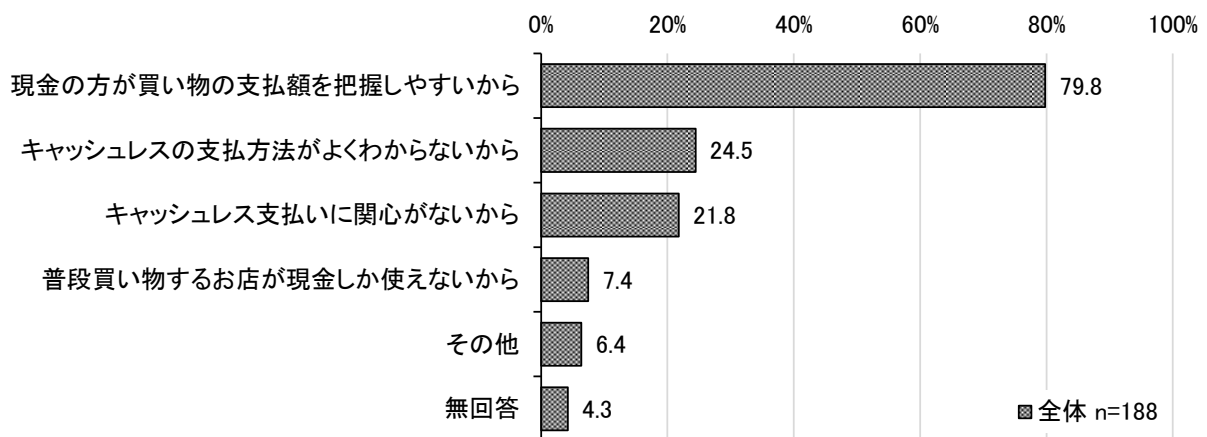
#### (4) キャッシュレスで支払いをしない理由

◇「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が約8割で最も高くなっている

【問6で「ほとんど使わない」「まったく使わない」と回答した方に伺います。】

##### 問6-3 キャッシュレス支払いを使用しない(あまり使用しない)理由は何ですか。(いくつでも)

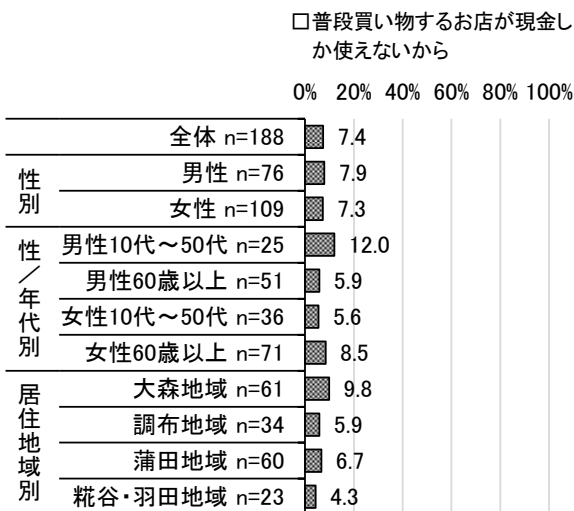
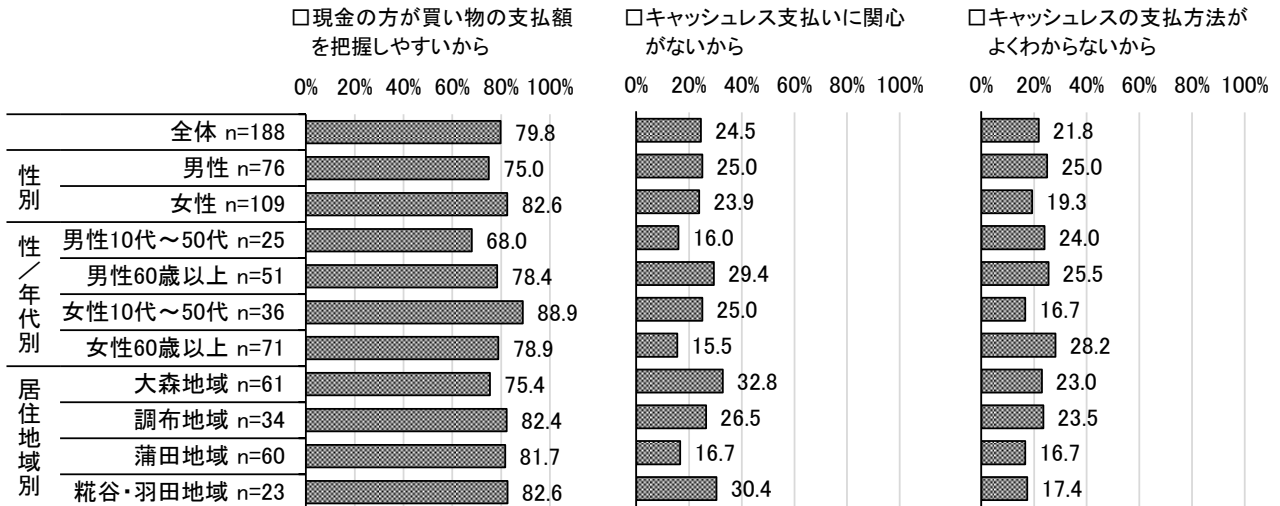
キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が79.8%で最も高く、次いで「キャッシュレスの支払方法がよくわからないから」が24.5%、「キャッシュレス支払いに関心がないから」が21.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は男性が75.0%、女性が82.6%と、女性が7.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は女性10代～50代で8割後半となっている。



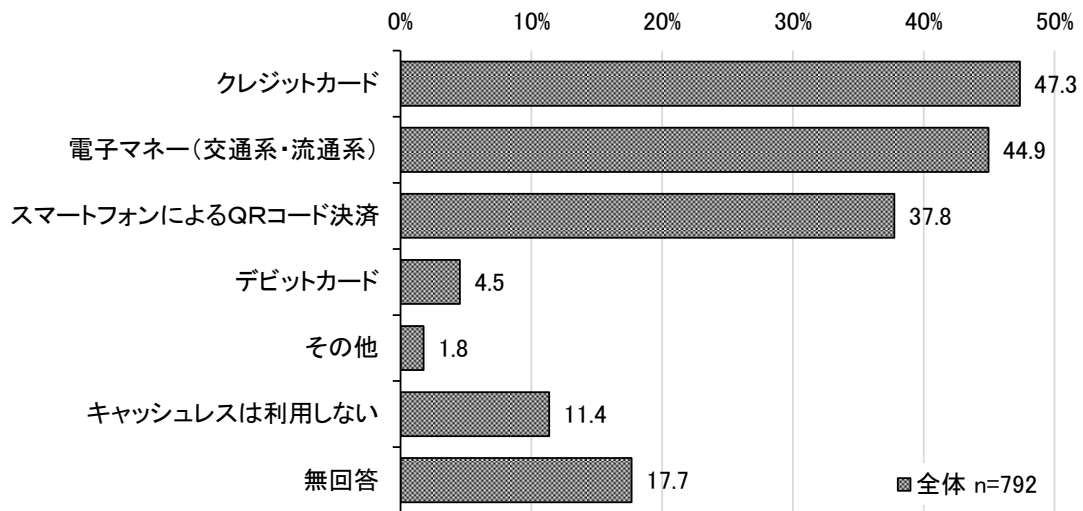
### (5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段

◇「クレジットカード」が4割後半で最も高くなっている

#### 問7 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段については、「クレジットカード」が47.3%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が44.9%、「スマートフォンによるQRコード決済」が37.8%となっている。

なお、「キャッシュレスは利用しない」は11.4%となっている。

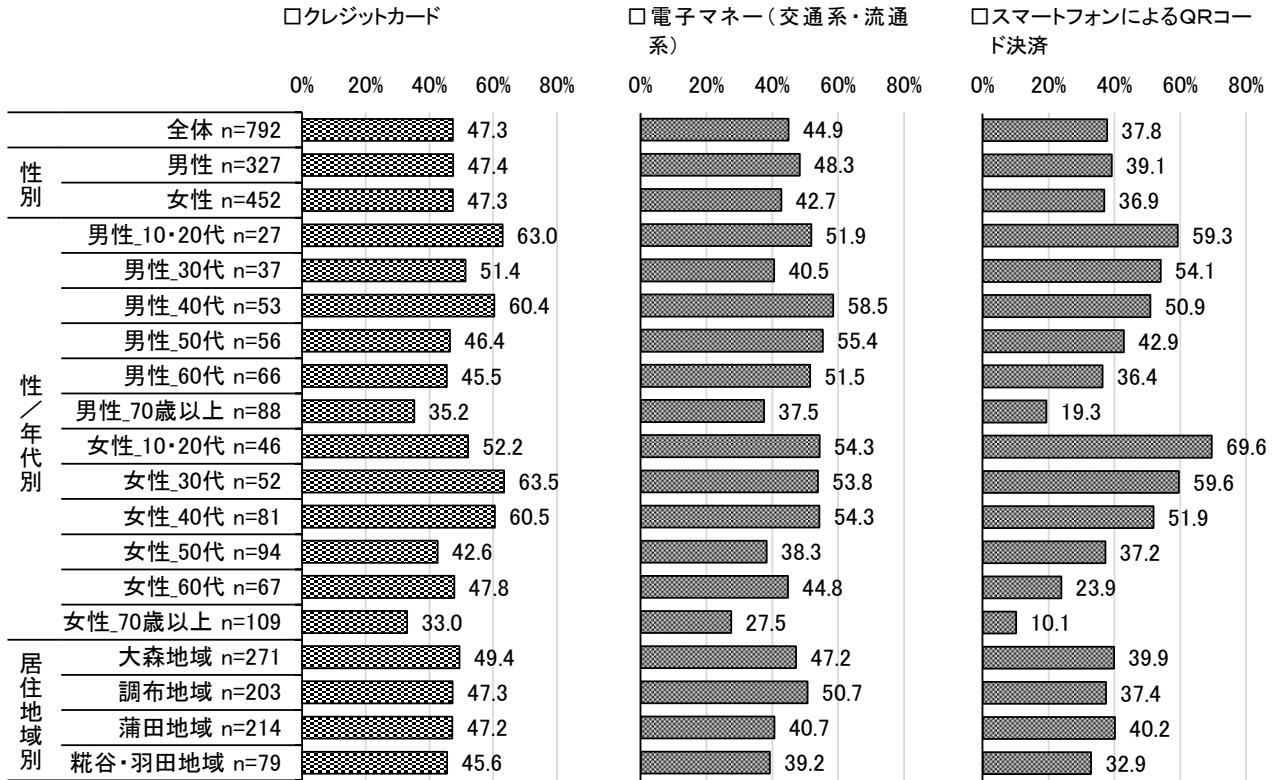


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「電子マネー（交通系・流通系）」が最も高く、女性では「クレジットカード」が最も高くなっている。「電子マネー（交通系・流通系）」は男性が48.3%、女性が42.7%と、男性が5.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は男性40代、女性30代、女性40代で6割台となっている。「スマートフォンによるQRコード決済」は年代が下がるにつれて増加傾向がみられる。

居住地域別でみると、すべての地域で「クレジットカード」は4割台となっている。



□デビットカード



## 4 まちづくりについて

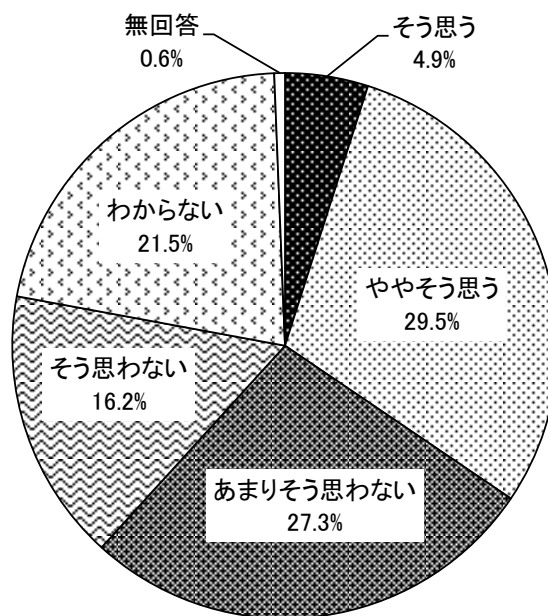
### (1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は3割半ばとなっている

#### 問8 大田区では、活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が34.4%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が43.5%と、《思わない》が9.1ポイント上回っている。

全体 n=792



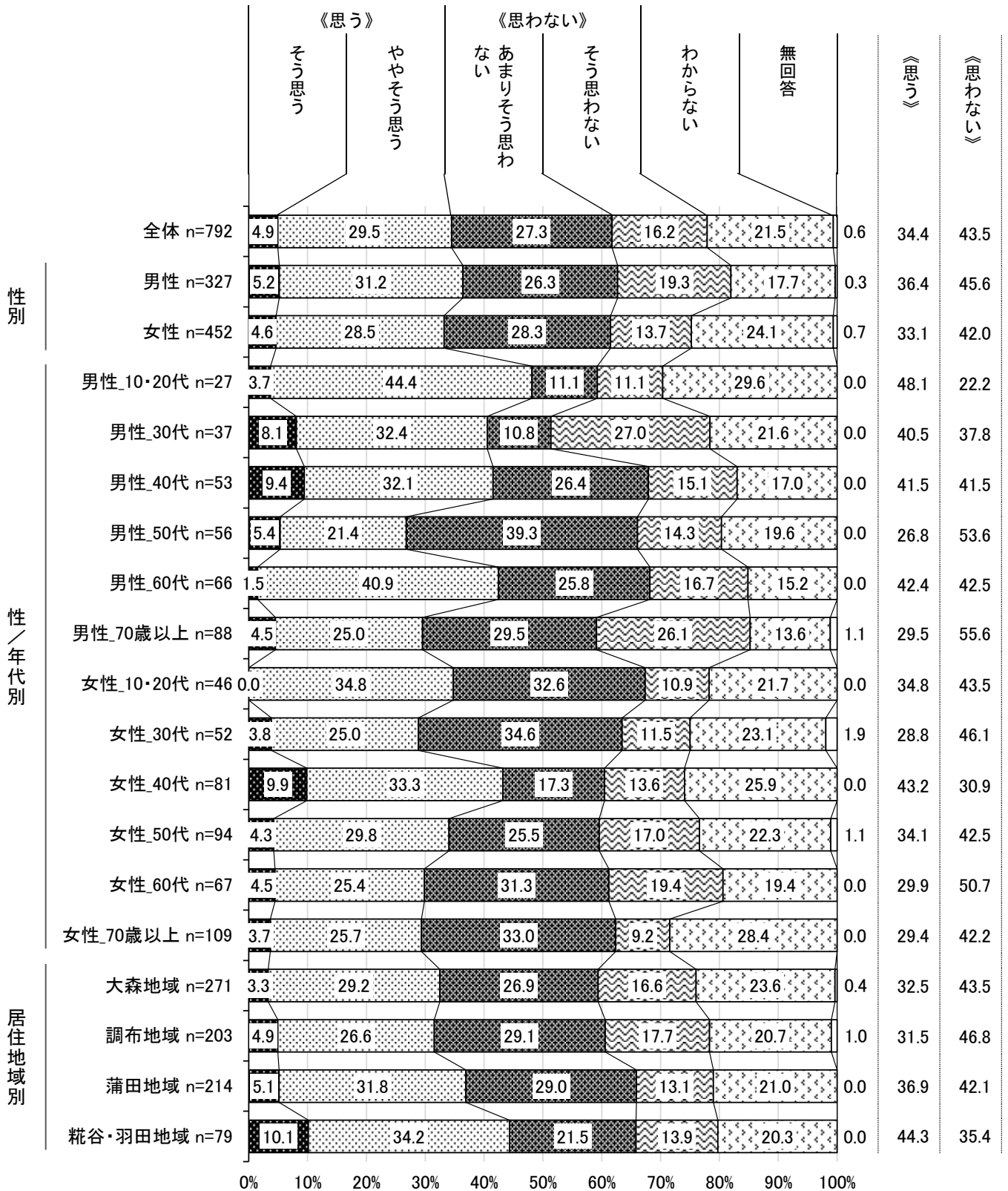


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《思う》は男性では40代、60代で4割前半、女性では40代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は糀谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。

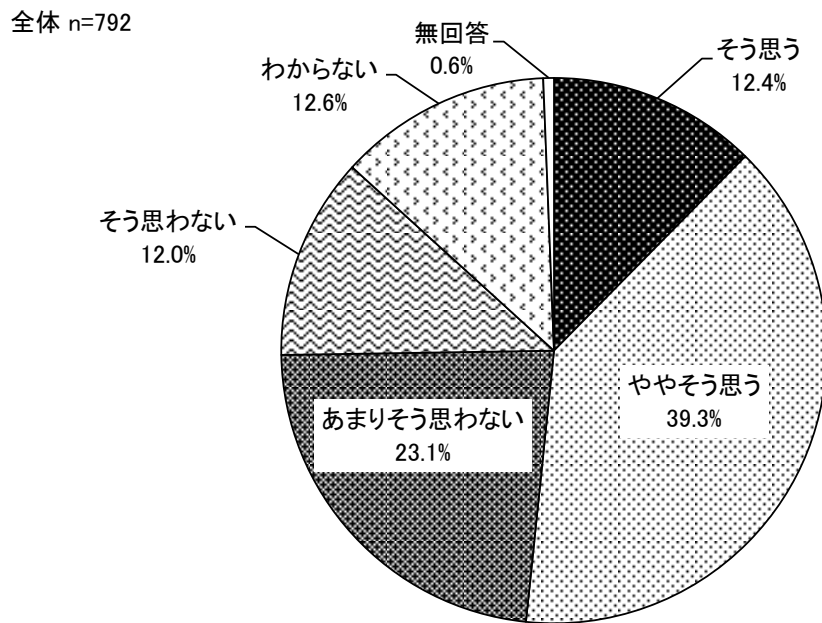


## (2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は5割前半となっている

### 問9 大田区では、暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が51.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が35.1%と、《思う》が16.6ポイント上回っている。

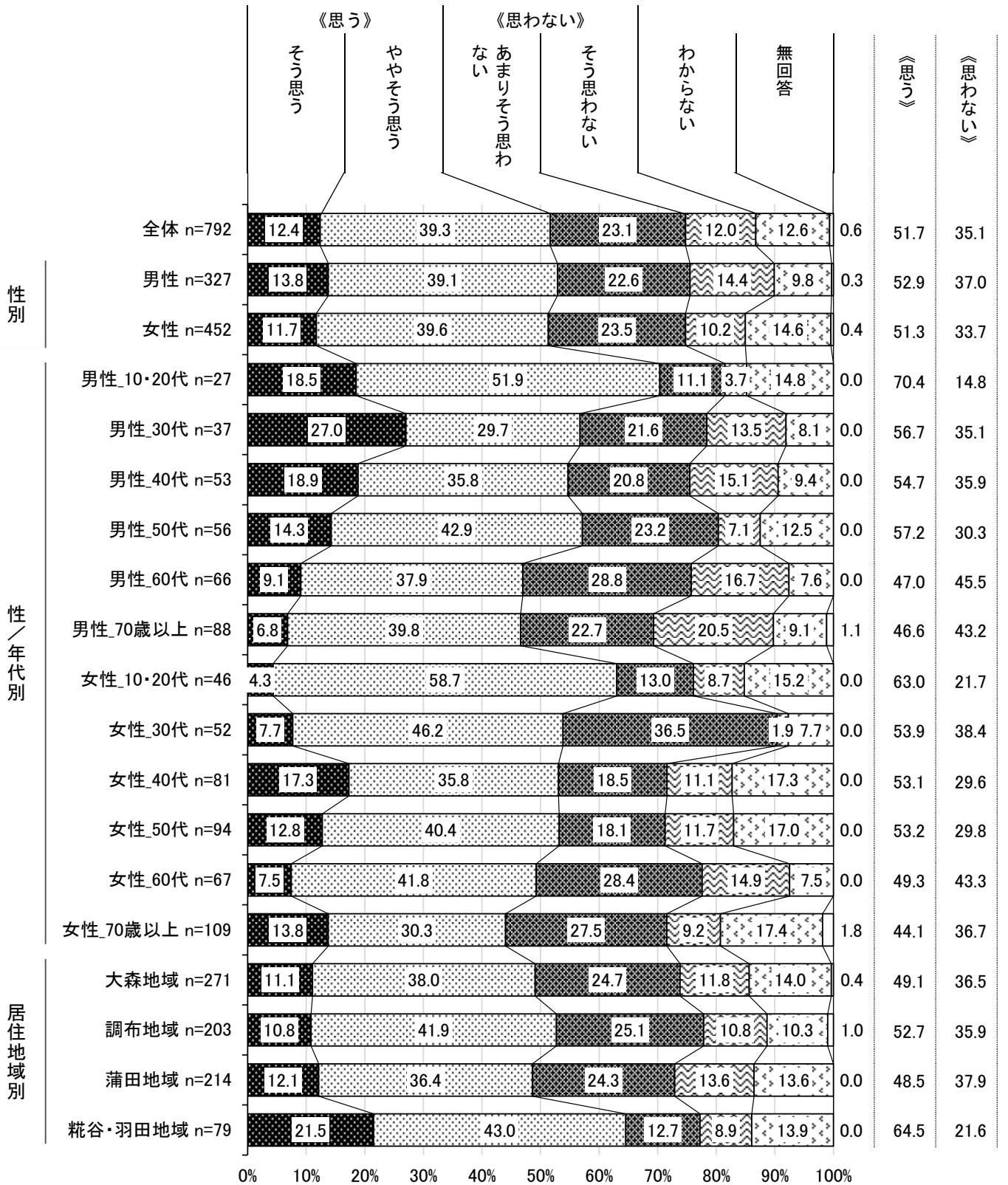


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《思う》は男性では30代、50代で5割後半、女性では10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は糀谷・羽田地域で6割半ばと高くなっている。

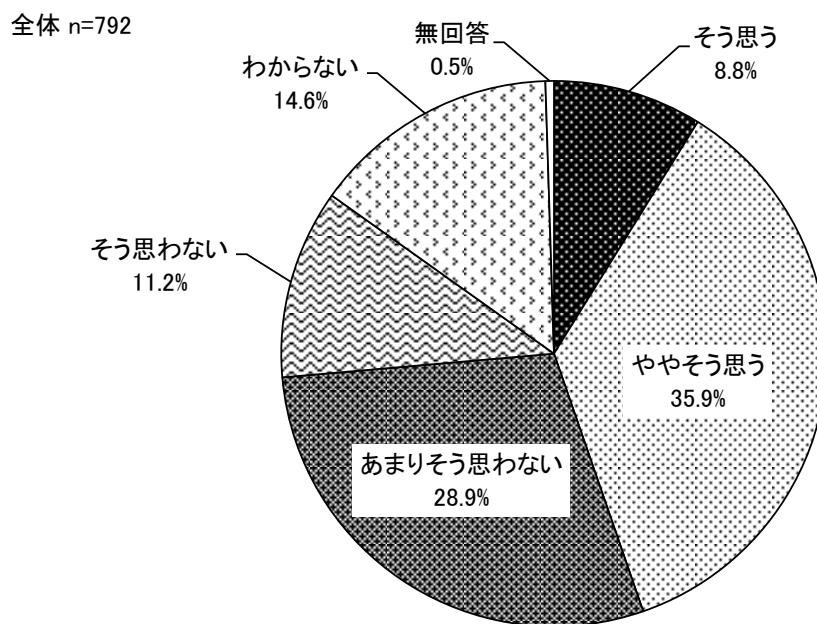


### (3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は4割半ばとなっている

#### 問 10 大田区では、安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が44.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.1%と、《思う》が4.6ポイント上回っている。

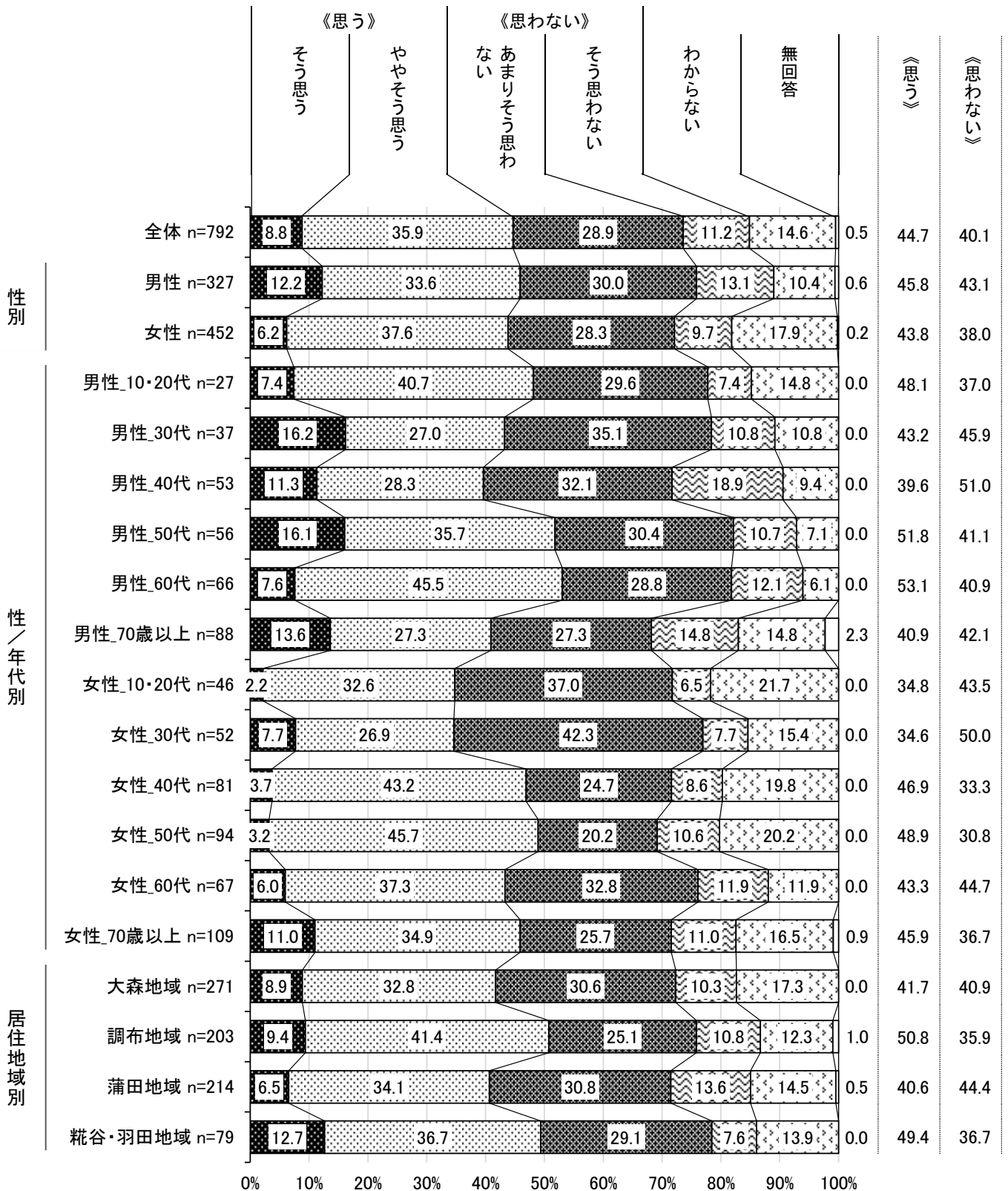


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が43.1%、女性が38.0%と、男性が5.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《思う》は男性では60代で5割前半、女性では40代、50代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域、糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。

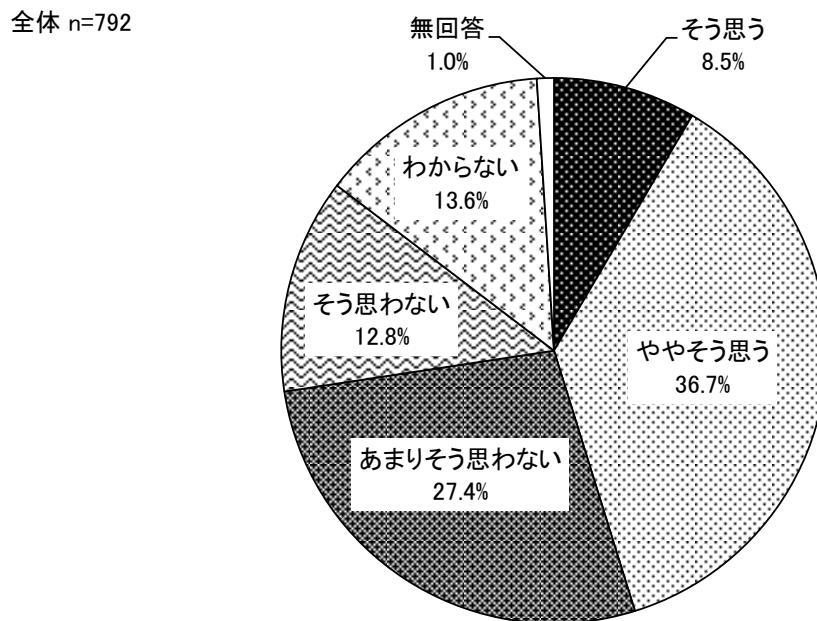


#### (4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況

◇《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割半ばとなっている

##### 問 11 大田区では、環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が45.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.2%と、《思う》が5.0ポイント上回っている。

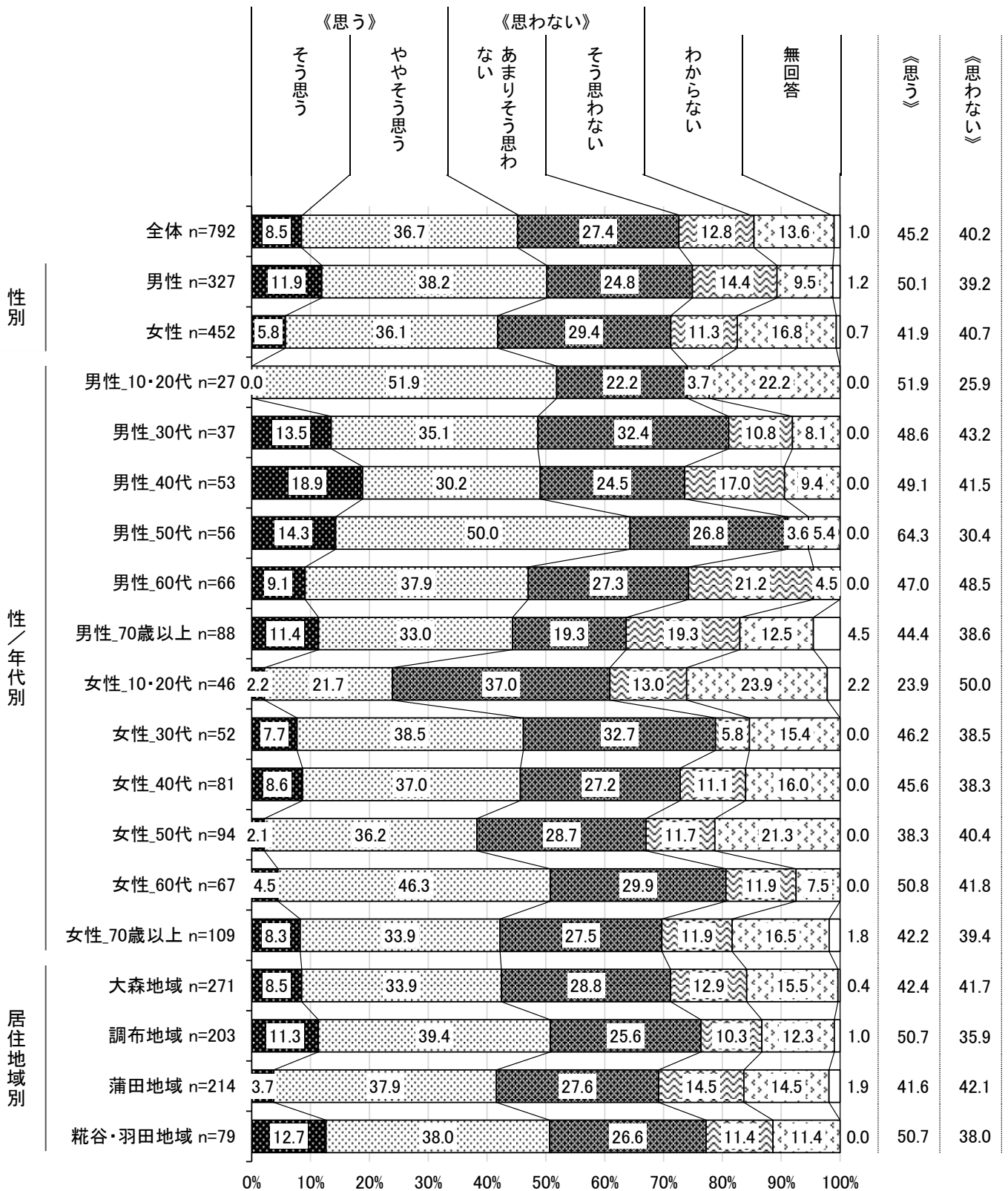


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《思う》は男性では50代で6割半ば、女性では60代で約5割と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域・糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。

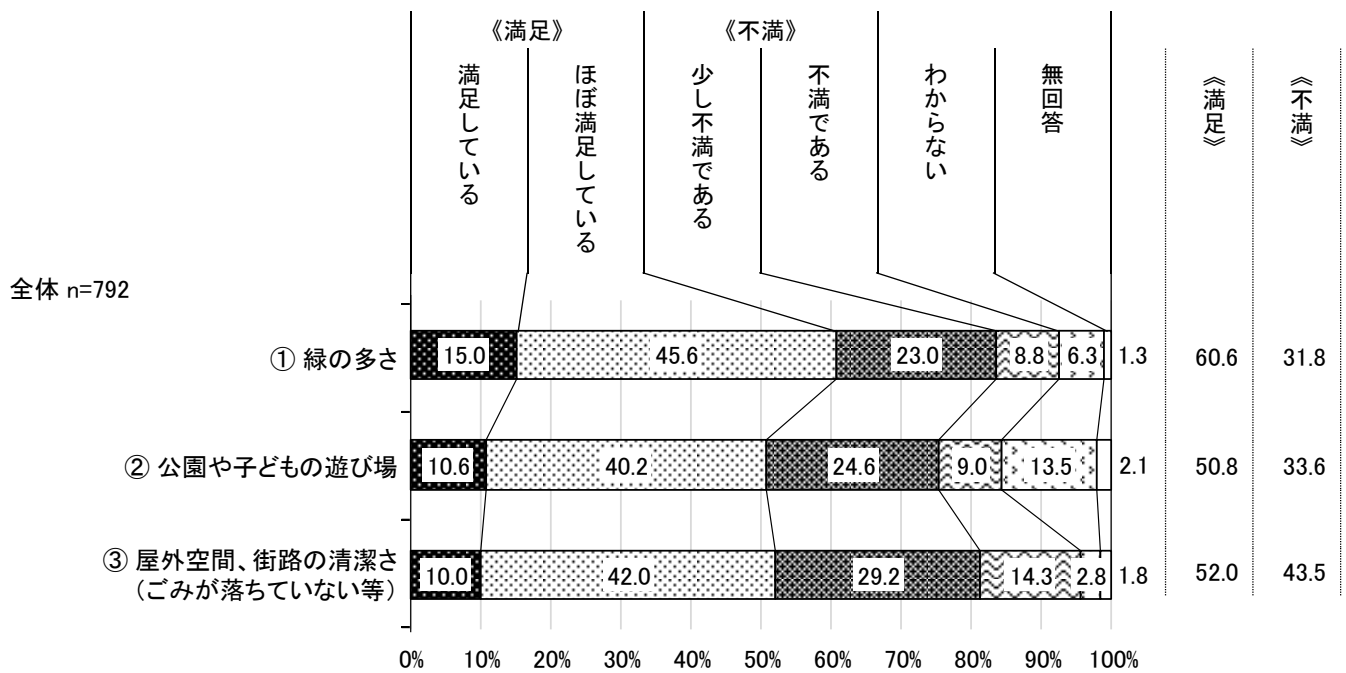


### (5) 生活環境の満足度

◇ 《満足》（「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値）は『①緑の多さ』が約6割で最も高くなっている

**問 12 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。**  
 ※「1」～「3」のそれぞれに回答してください。（それぞれ1つのみ）

生活環境の満足度については、「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足》は『①緑の多さ』が60.6%で最も高く、次いで『③屋外空間、街路の清潔さ（ごみが落ちていない等）』が52.0%、『②公園や子どもの遊び場』が50.8%となっている。



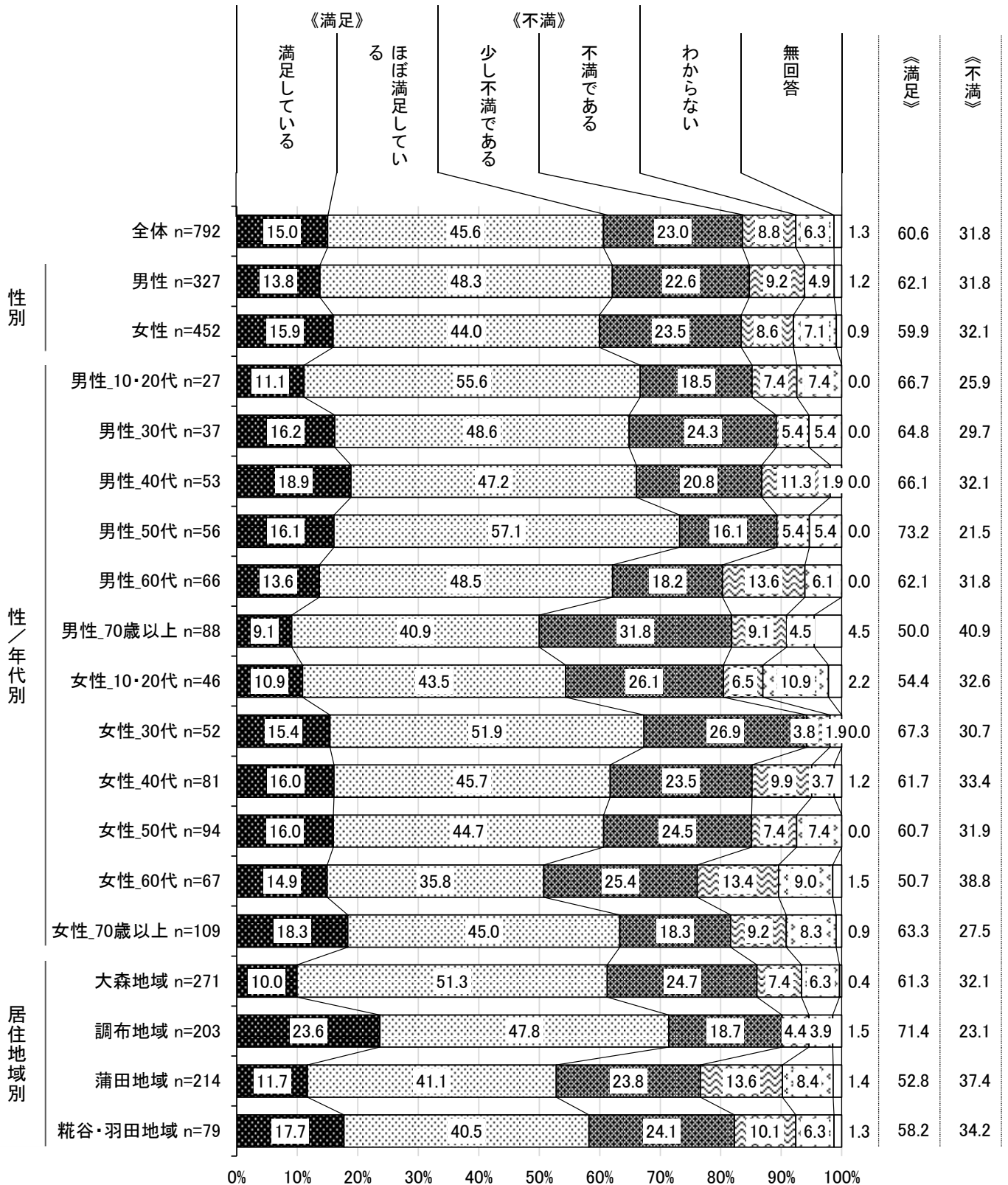


■性別・性/年代別・居住地域別\_①緑の多さ

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《満足》は男性では50代で7割前半、女性では30代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足》は調布地域で7割前半と高くなっている。

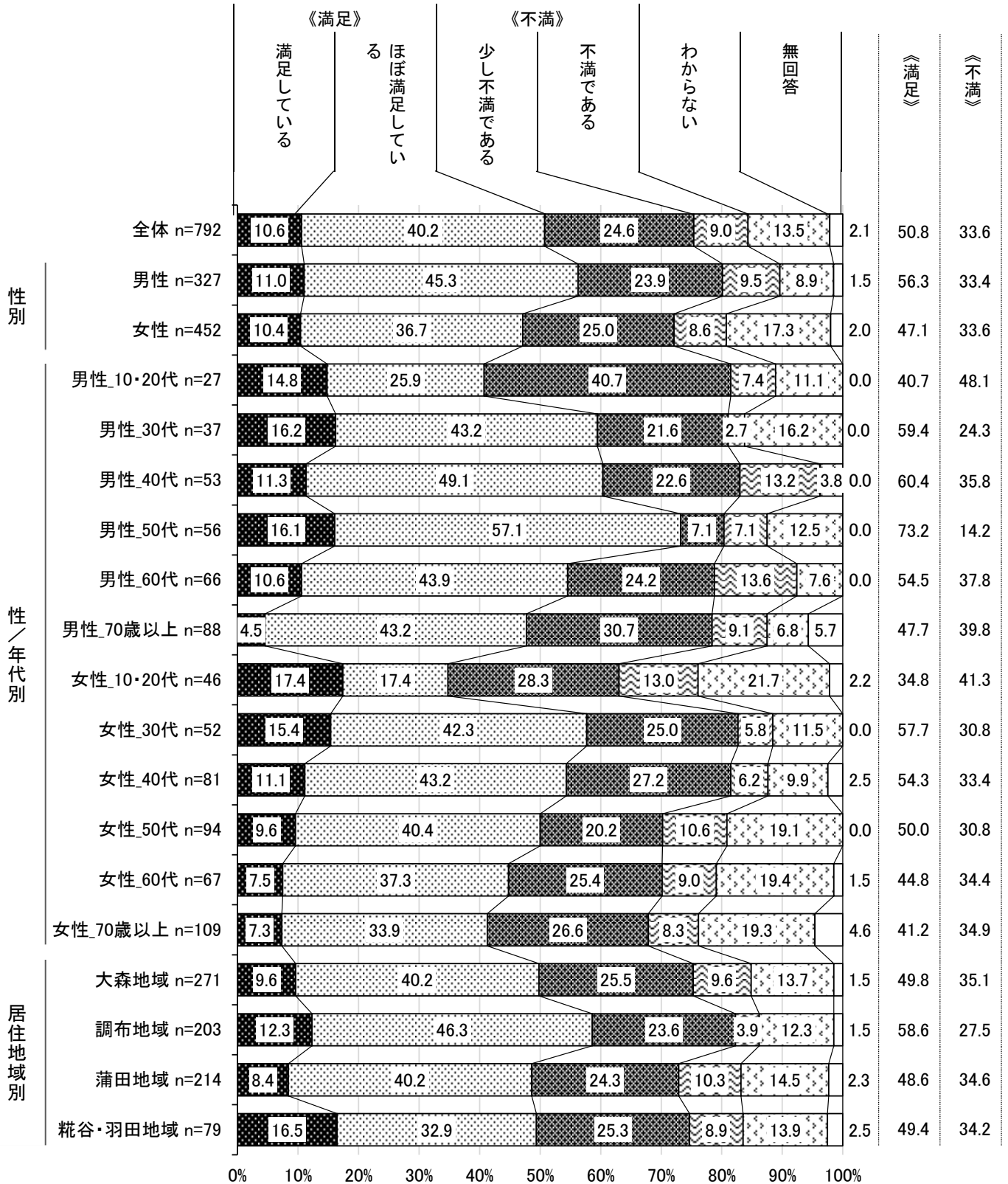


■性別・性／年代別・居住地域別\_②公園や子どもの遊び場

性別でみると、《満足》は男性が56.3%、女性が47.1%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足》は男性では50代で7割前半、女性では30代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足》は調布地域で5割後半と高くなっている。

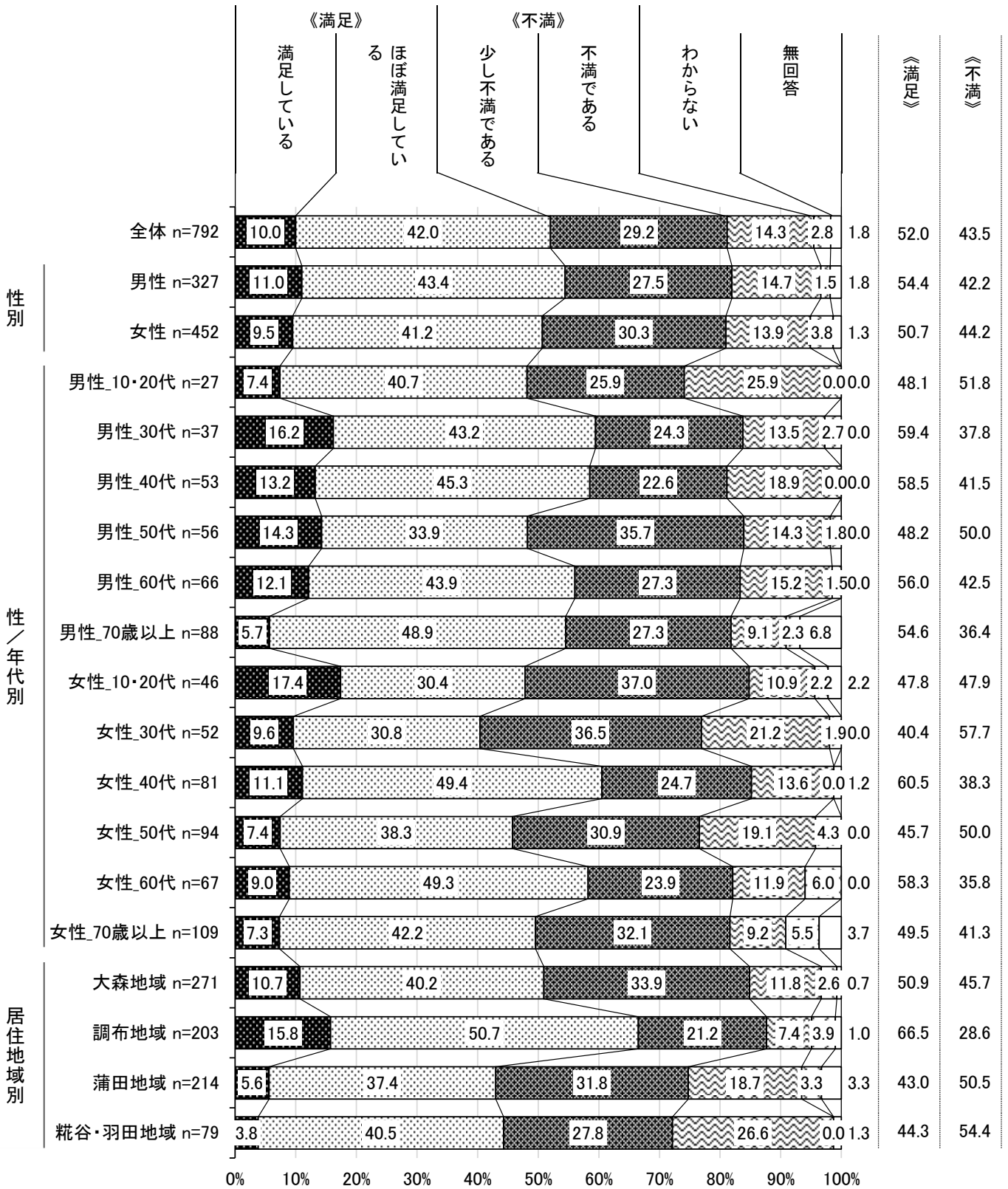


■性別・性／年代別・居住地域別\_③屋外空間、街路の清潔さ（ごみが落ちていない等）

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足》は男性では30代で約6割、女性では40代で約6割と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足》は調布地域で6割後半と高くなっている。

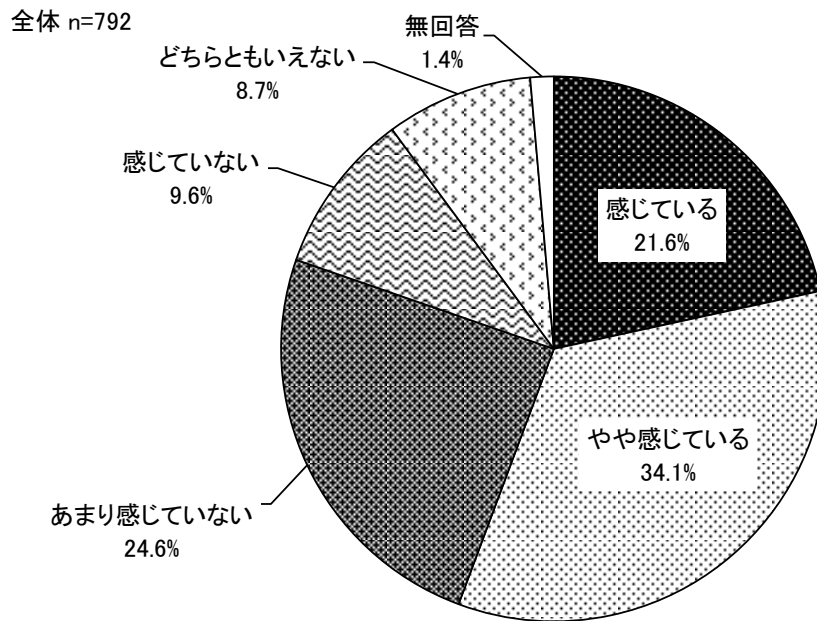


## (6) 身近な場所で水や緑に親しめる感覚

◇《感じる》(「感じている」、「やや感じている」の合計値)は5割半ばとなっている

### 問 13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

身近な場所で水や緑に親しめる感覚については、「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じる》が55.7%である一方で、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じない》が34.2%と、《感じる》が21.5ポイント上回っている。

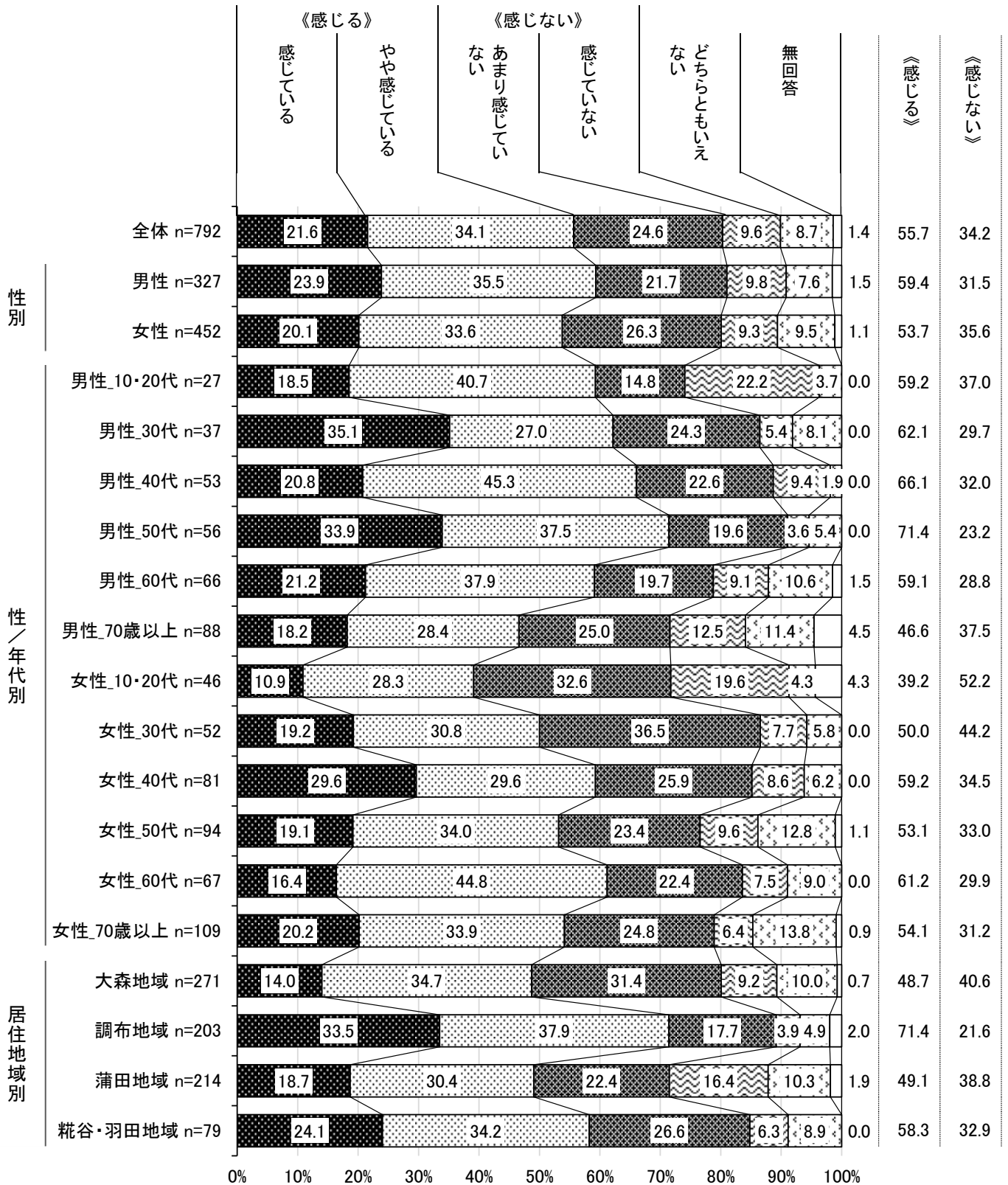


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が59.4%、女性が53.7%と、男性が5.7ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《感じる》は男性では50代で7割前半、女性では60代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は調布地域で7割前半と高くなっている。



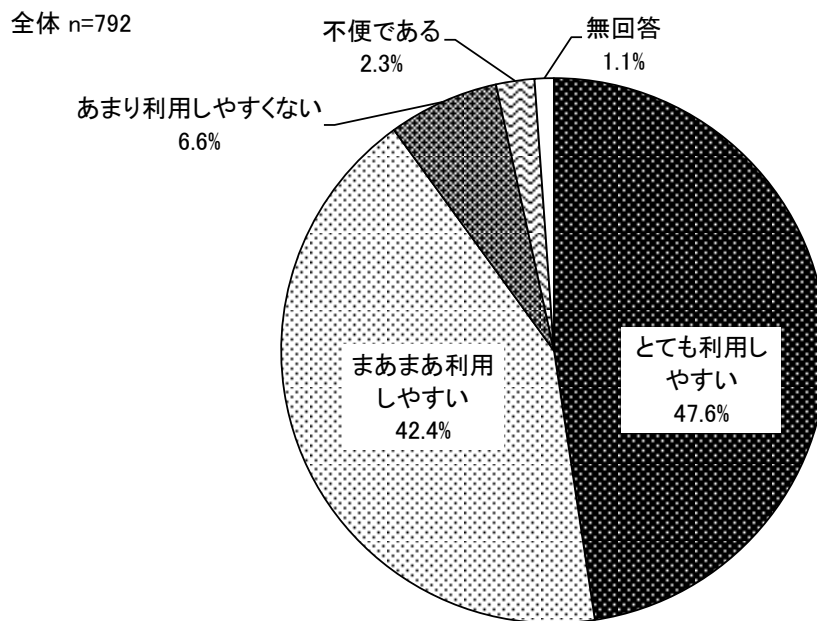
## 5 公共交通機関について

### (1) 公共交通機関の環境

◇「とても利用しやすい」は4割後半となっている

#### 問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通機関の環境については、「とても利用しやすい」が47.6%で最も高く、次いで「まあまあ利用しやすい」が42.4%、「あまり利用しやすくない」が6.6%となっている。

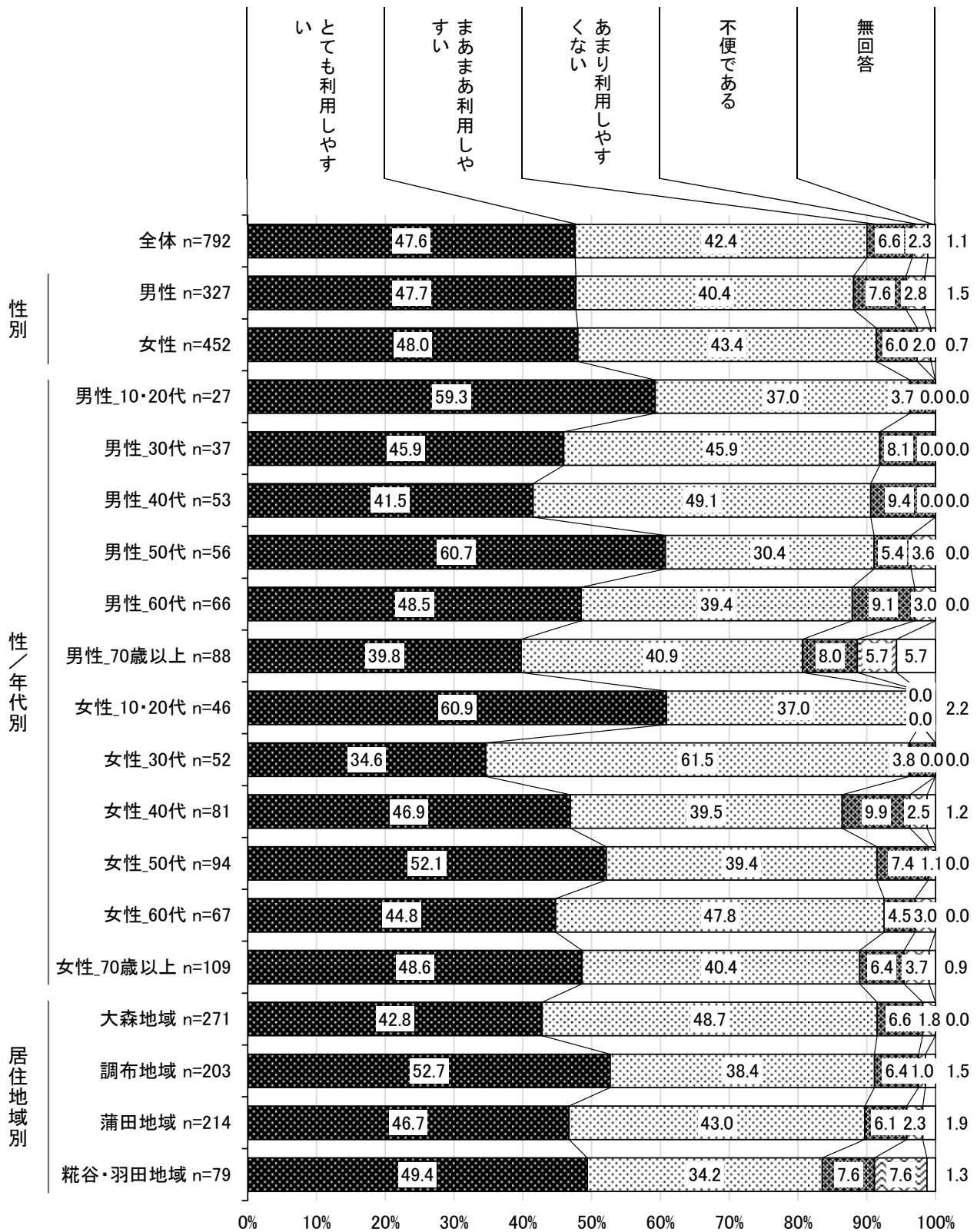


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「とても利用しやすい」は男性 50 代、女性 10・20 代で約 6 割となっている。

居住地域別でみると、「とても利用しやすい」は調布地域で 5 割前半と高くなっている。

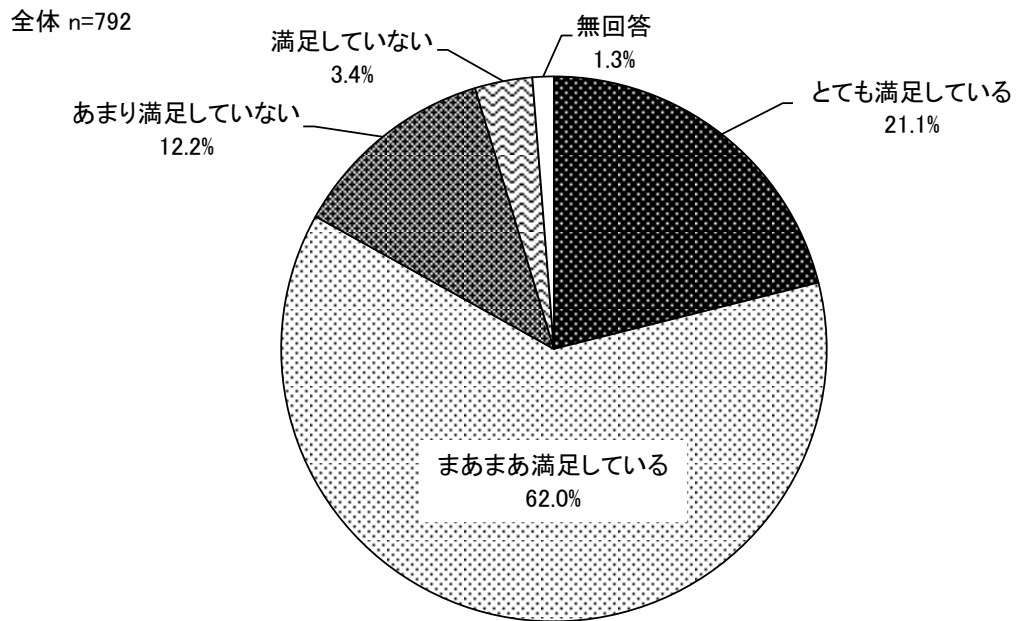


## (2) 大田区内の公共交通網への満足度

◇「とても満足している」は2割前半となっている

### 問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が83.1%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が15.6%と、《満足している》が67.5ポイント上回っている。



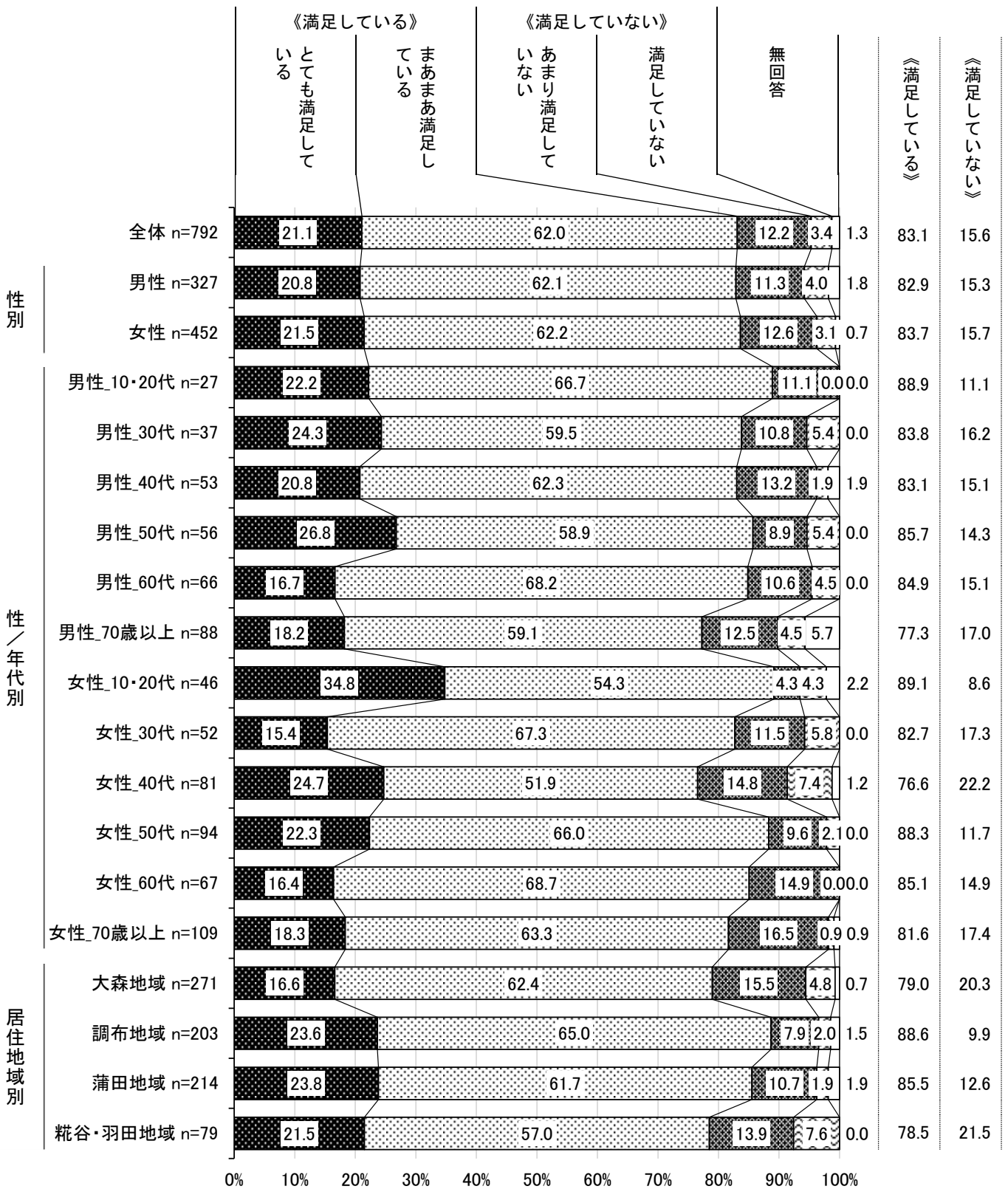


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性70歳以上、女性40代を除き8割台となっている。

居住地域別でみると、《満足している》は調布地域で8割後半と高くなっている。



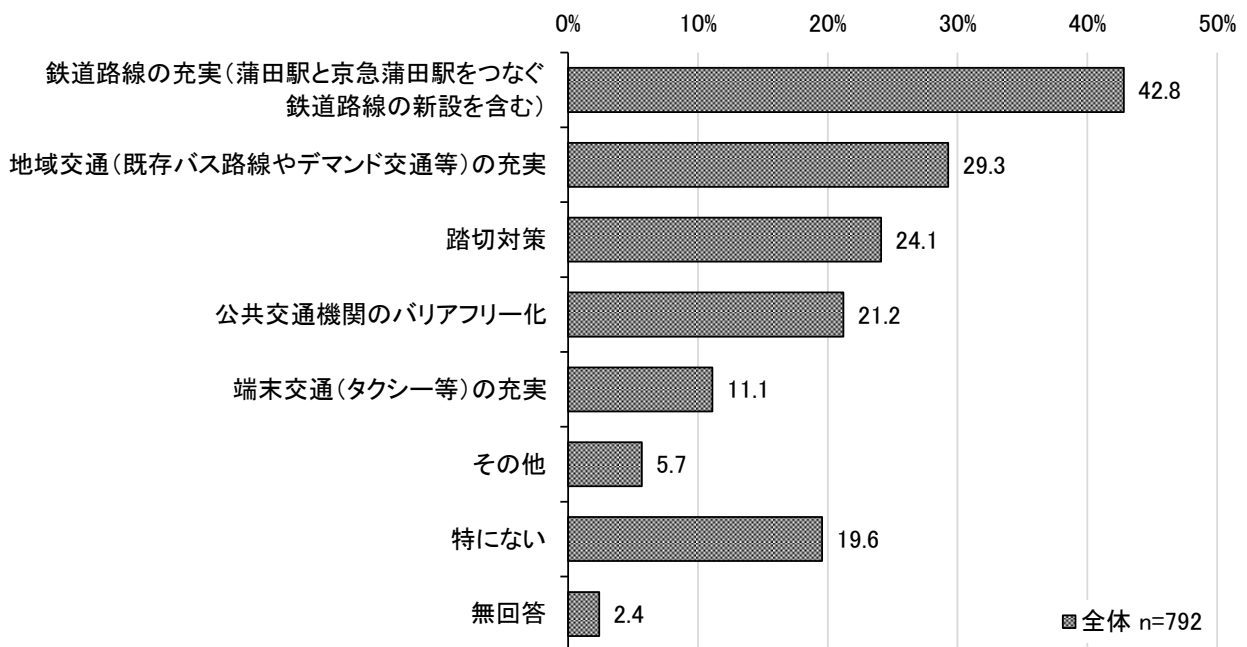
### (3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策

◇「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が4割前半で最も高くなっている

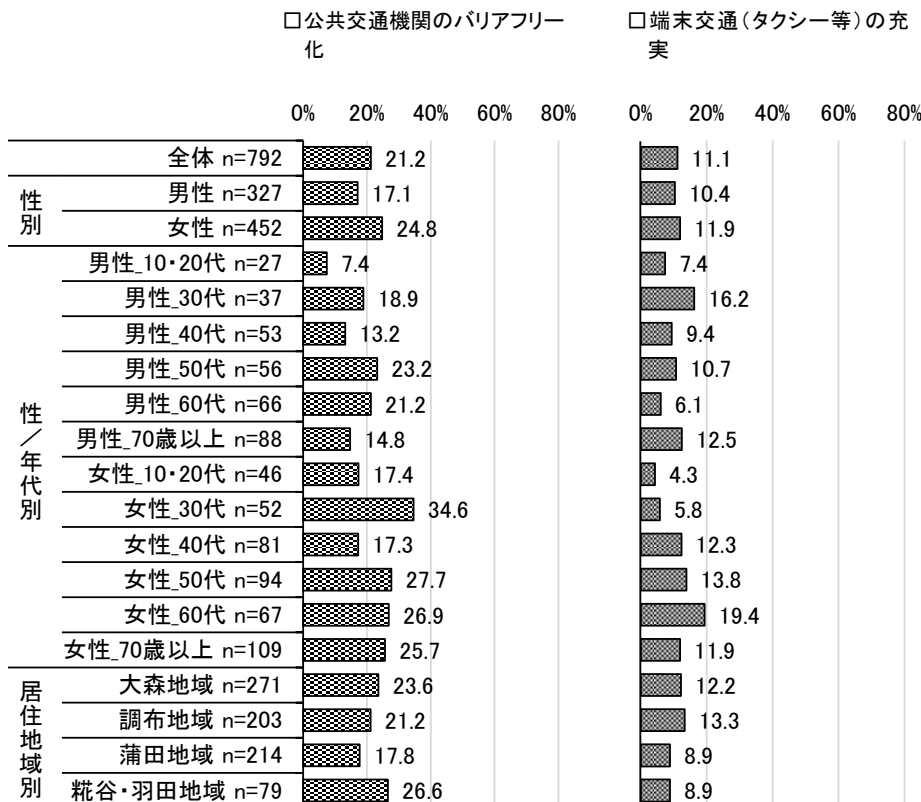
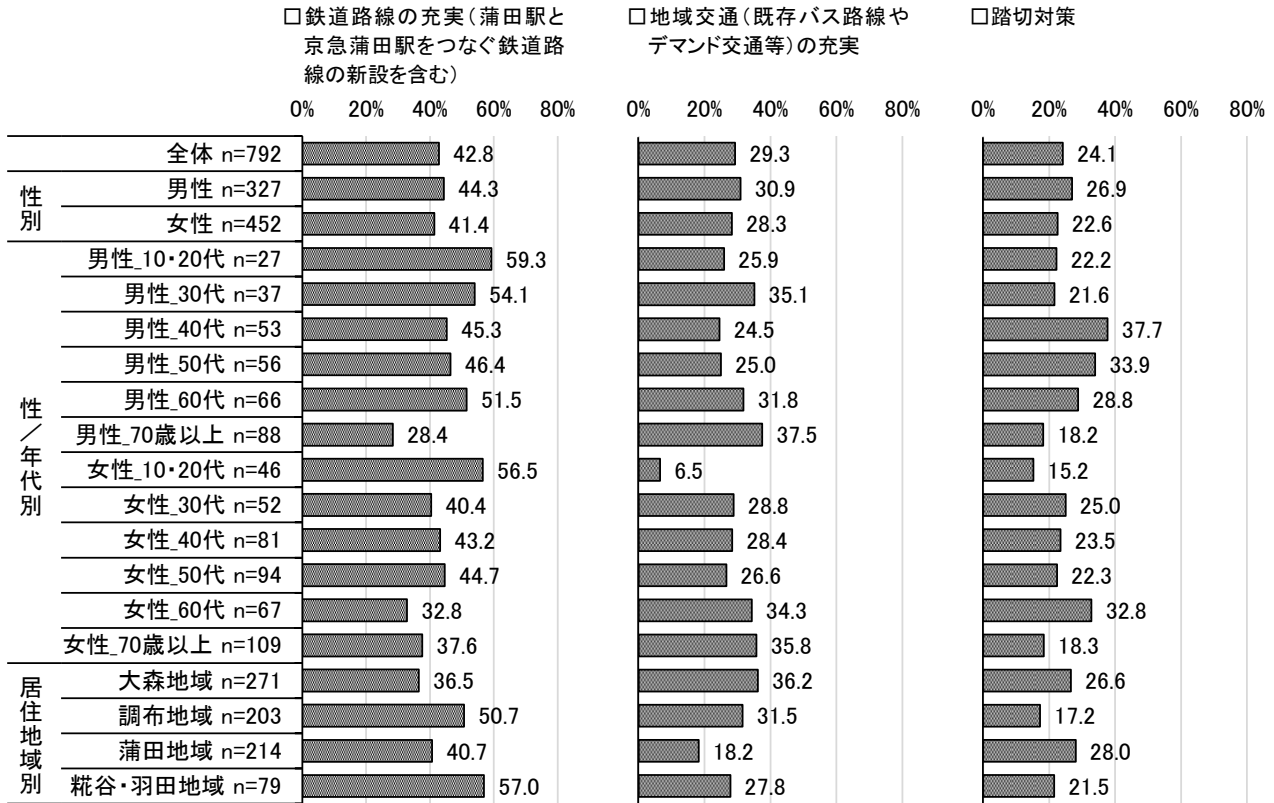
**問 16 アfterコロナにおいて、大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものがありますか。（いくつでも）**

早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が42.8%で最も高く、次いで「地域交通（既存バス路線やデマンド交通等）の充実」が29.3%、「踏切対策」が24.1%となっている。

なお、「特にない」は19.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性、女性ともに「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性30代、男性60代、女性10・20代で5割台となっている。「踏切対策」は男性40代で3割後半と高くなっている。「公共交通機関のバリアフリー化」は女性30代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高く、糀谷・羽田地域で5割後半となっている。

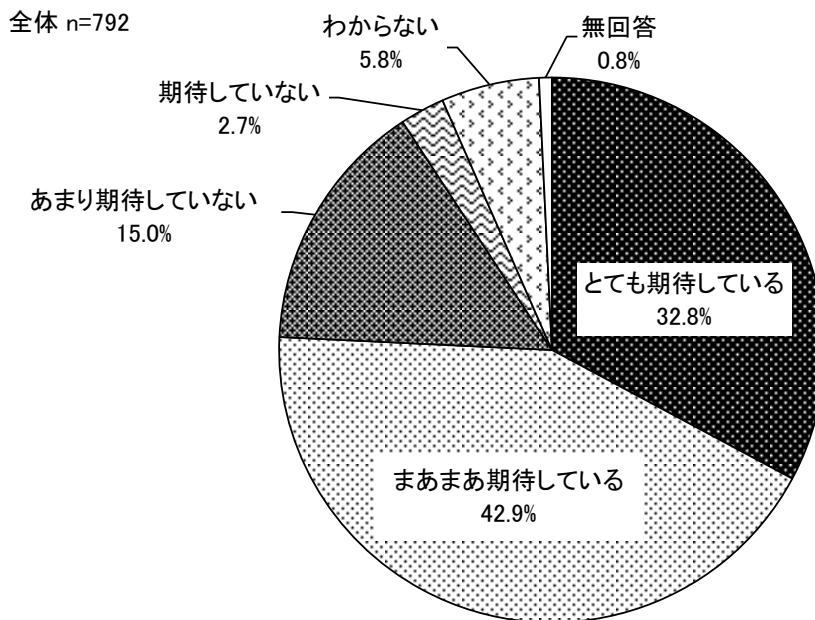
#### (4) 駅周辺のまちづくりによる地域の魅力向上及び活性化への期待度

◇《期待している》(「とても期待している」、「まあまあ期待している」の合計値)は7割半ばとなっている

**問 17** 区は鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。

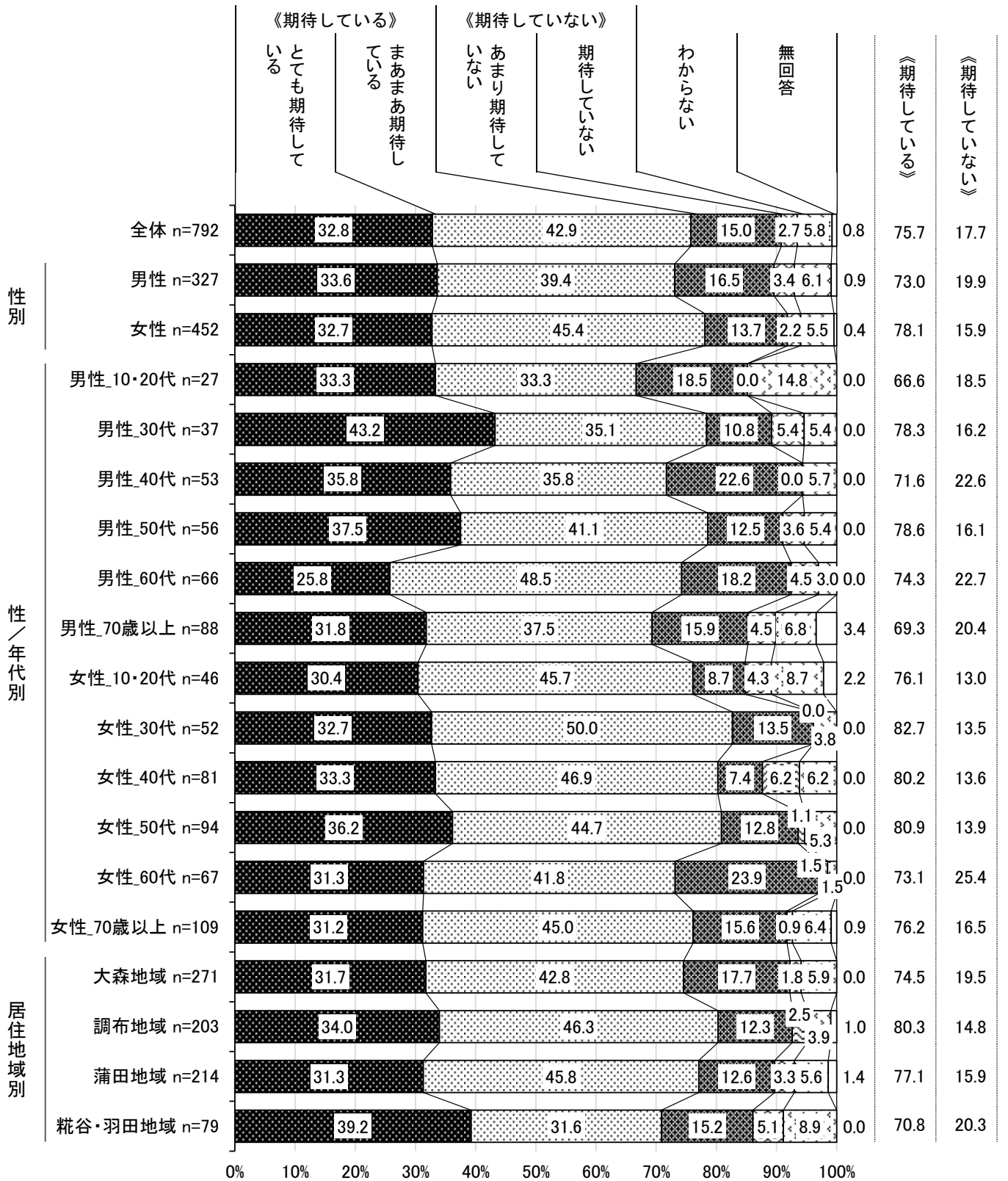
**この取組による地域の魅力向上や活性化に期待していますか。(1つのみ)**

駅周辺のまちづくりによる地域の魅力向上及び活性化への期待度については、「とても期待している」、「まあまあ期待している」の合計値《期待している》が75.7%である一方で、「あまり期待していない」、「期待していない」の合計値《期待していない》が17.7%と、《期待している》が58.0ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《期待している》は男性が73.0%、女性が78.1%と、女性が5.1ポイント上回っている。  
 性／年代別でみると、《期待している》は女性30代で8割前半と高くなっている。  
 居住地域別でみると、《期待している》は調布地域で約8割と高くなっている。



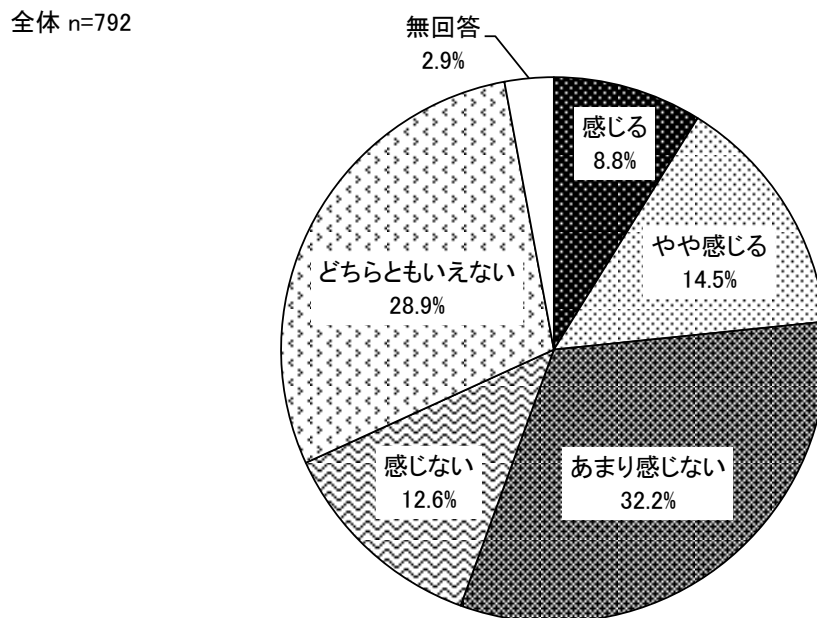
## 6 空港臨海部について

### (1) 空港臨海部へのアクセス

◇ 《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）は2割前半となっている

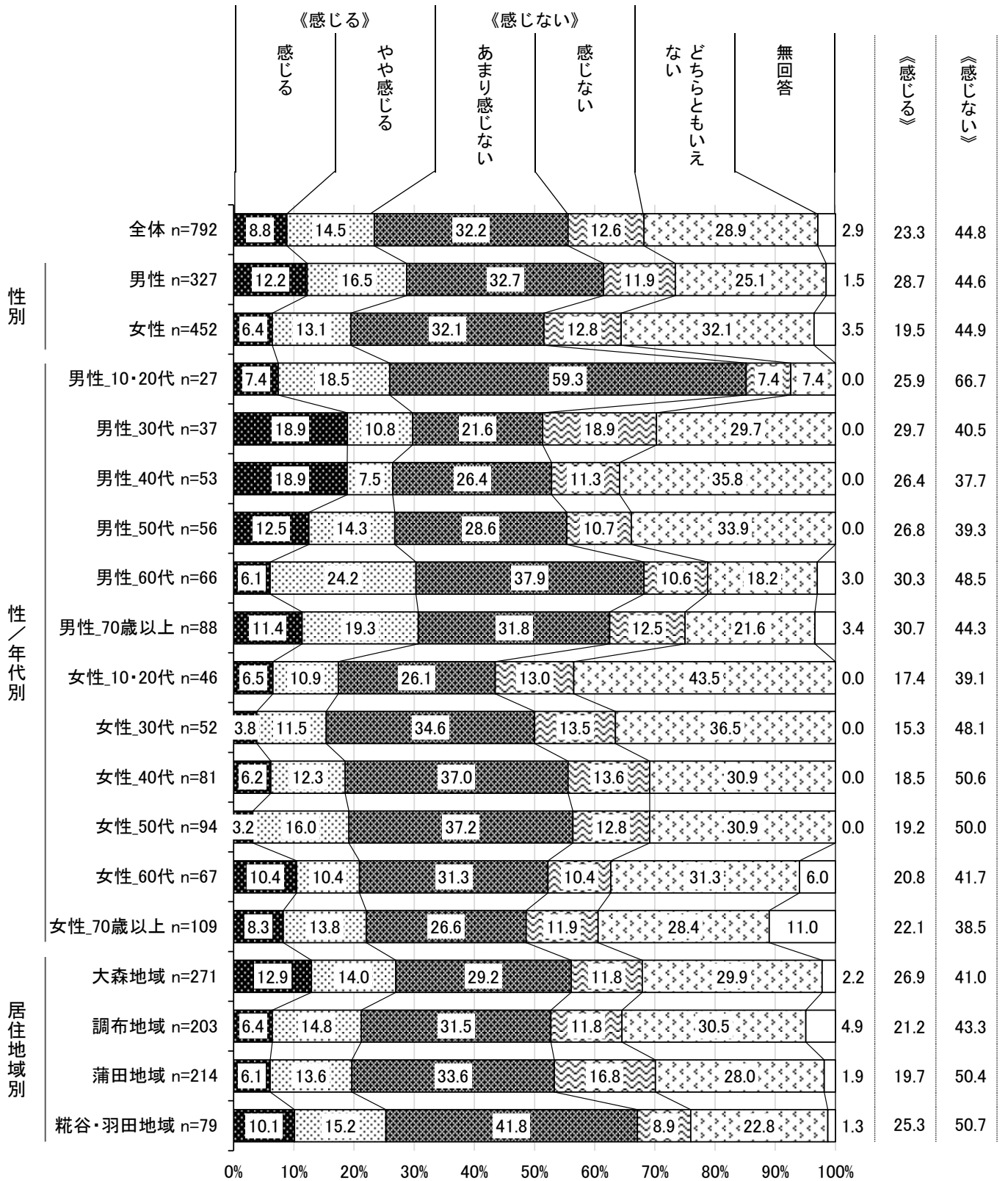
**問 18 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。（1つのみ）**

空港臨海部へアクセスしやすいと感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が23.3%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が44.8%と、《感じる》が21.5ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が28.7%、女性が19.5%と、男性が9.2ポイント上回っている。  
 性／年代別でみると、《感じる》は男性60代、男性70歳以上で3割台となっている。  
 居住地域別でみると、《感じる》は大森地域で2割後半と高くなっている。





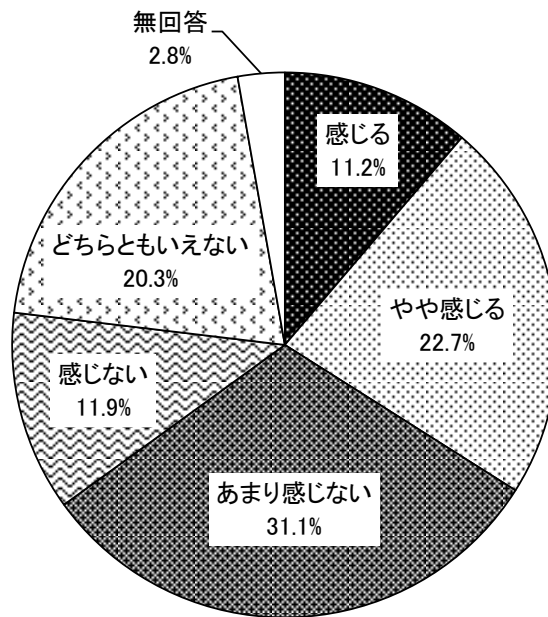
## (2) 空港臨海部の魅力度

◇ 《感じる》(「感じる」、「やや感じる」の合計値)は3割前半となっている

### 問 19 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が33.9%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が43.0%と、《感じる》が9.1ポイント上回っている。

全体 n=792

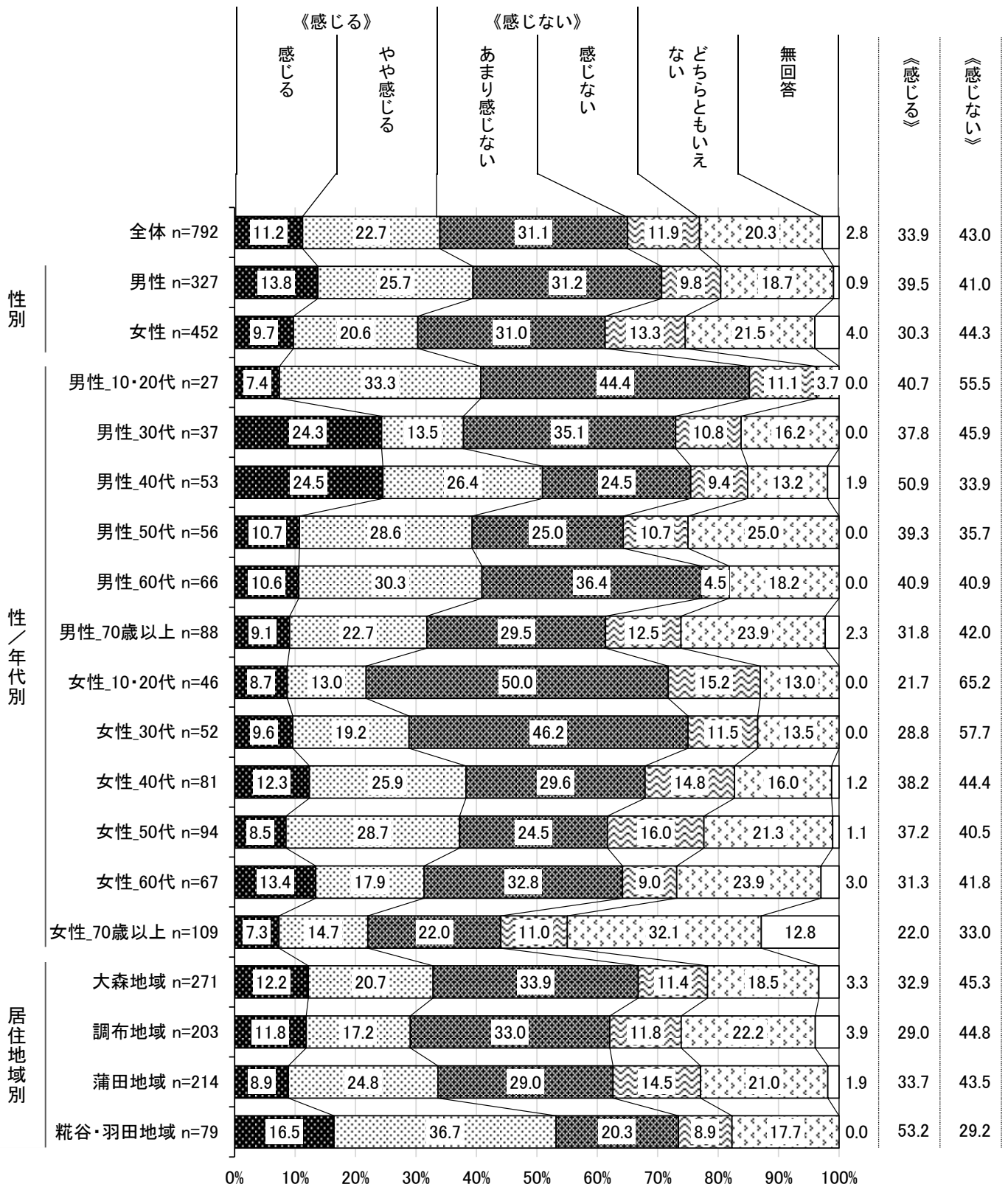


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が39.5%、女性が30.3%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性40代で約5割と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糞谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



## 7 羽田空港跡地について

### (1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ

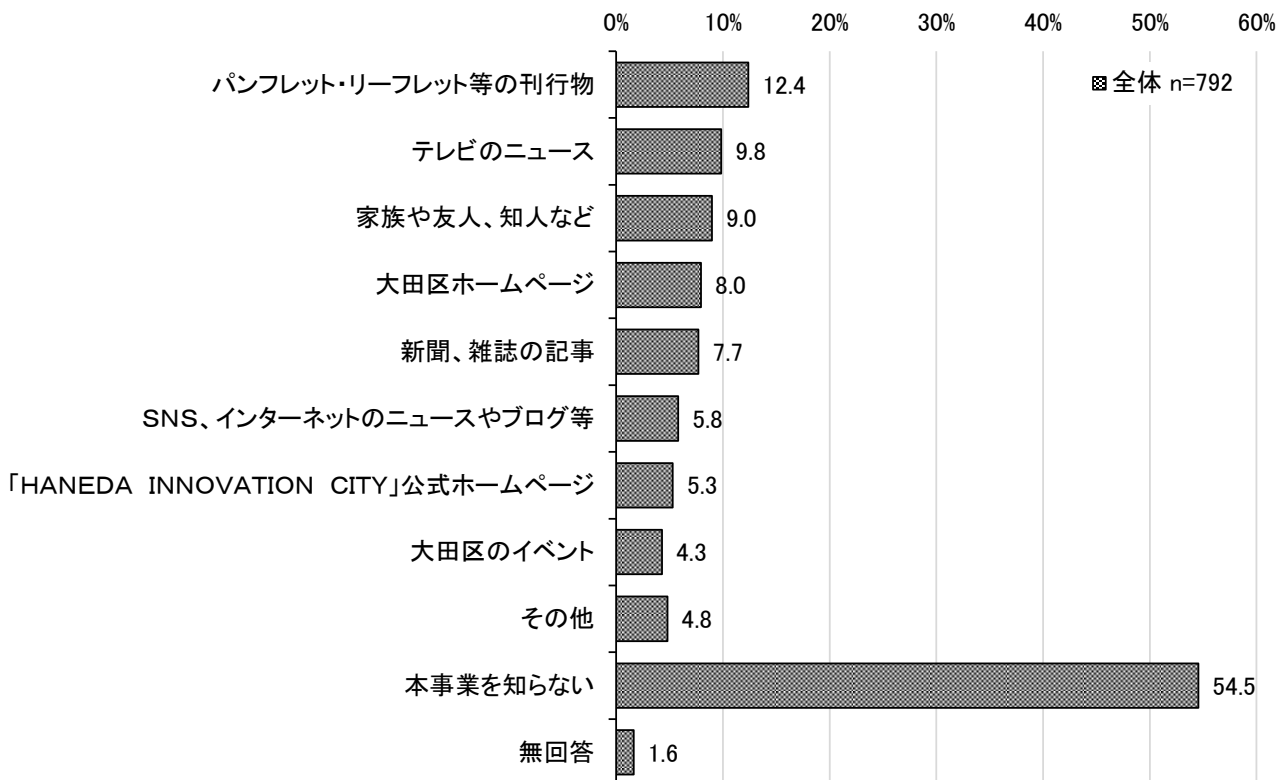
◇「本事業を知らない」が5割半ばとなっている

◇認知したきっかけは「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割前半で最も高くなっている

**問 20 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(いくつでも)**

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が12.4%で最も高く、次いで「テレビのニュース」が9.8%、「家族や友人、知人など」が9.0%となっている。

なお、「本事業を知らない」は54.5%となっている。

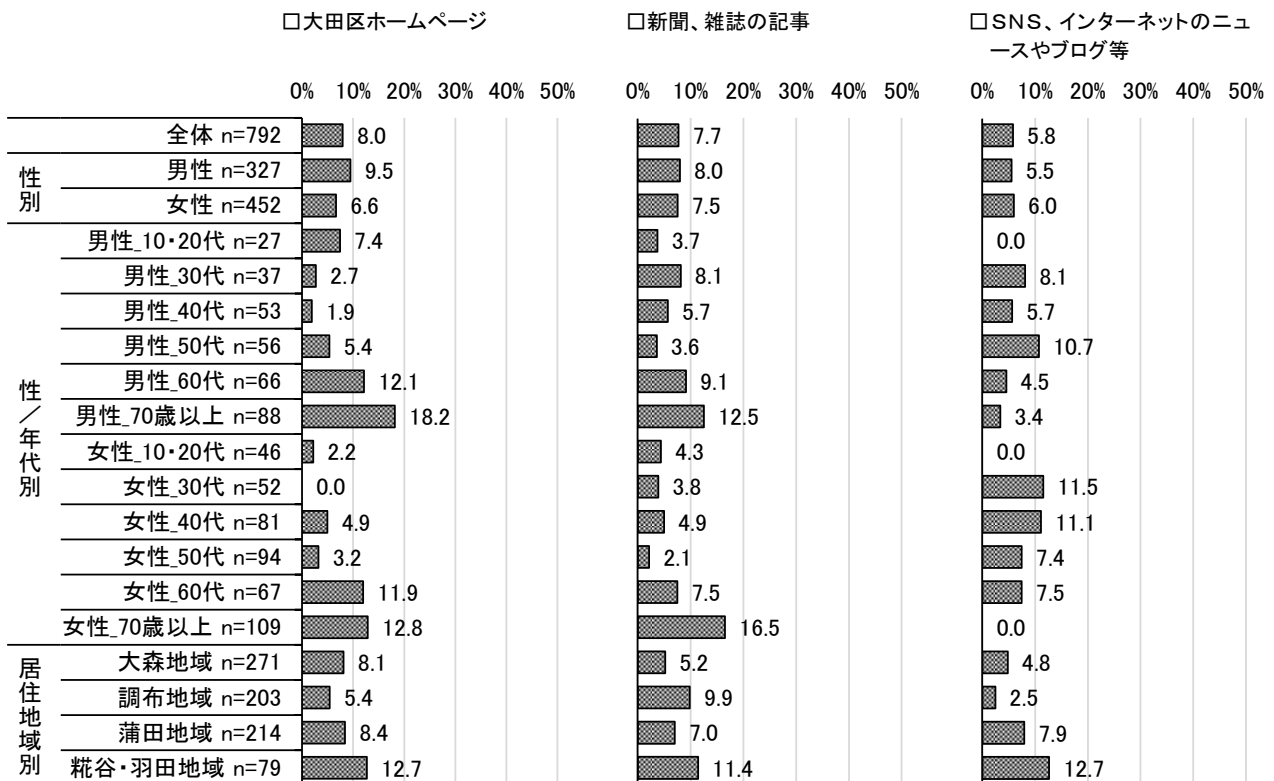
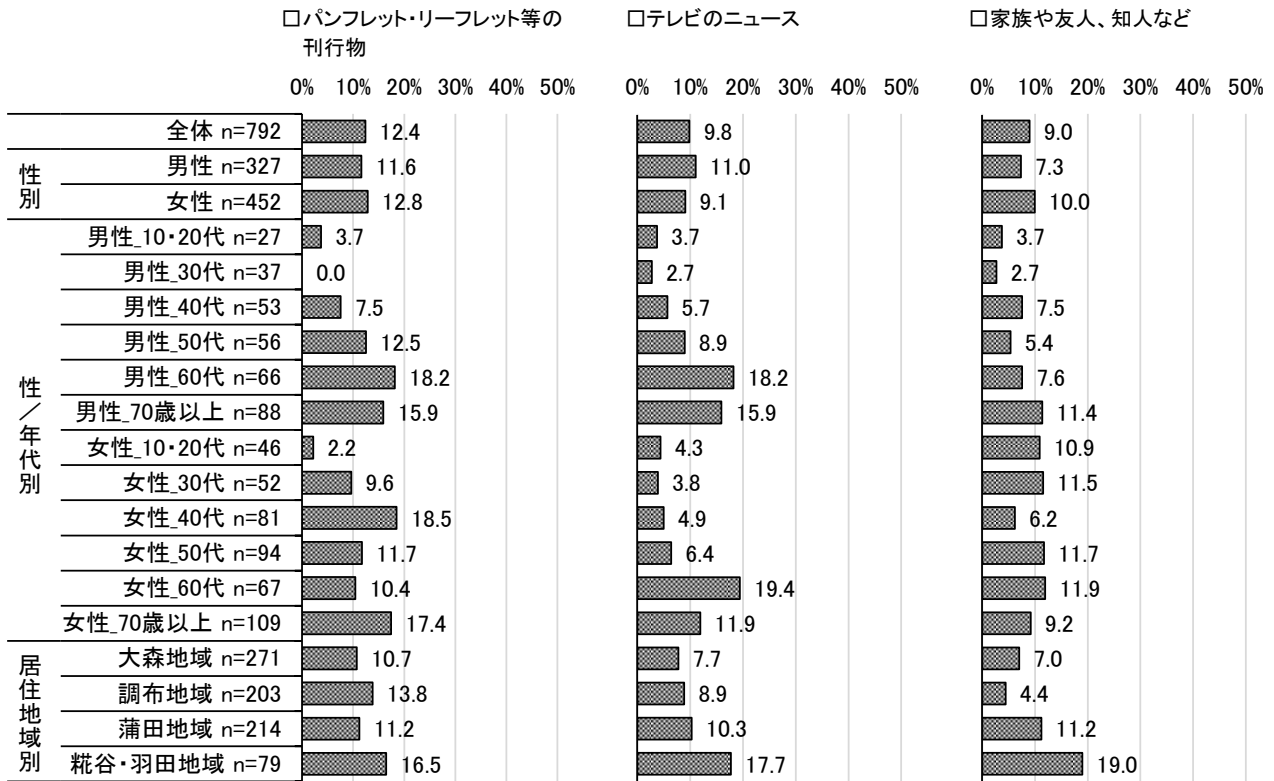


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」は男性では60代で1割後半、女性では40代で1割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割台となっている。「家族や友人、知人など」は糀谷・羽田地域で1割後半と高くなっている。



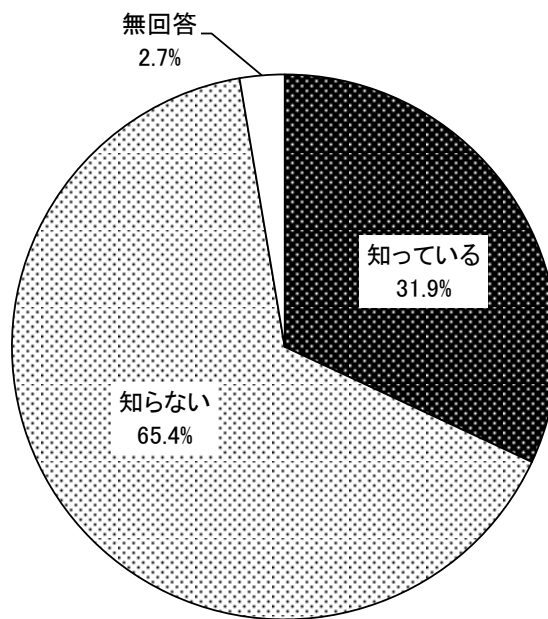
## (2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

◇「知っている」は3割前半となっている

**問 21 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」に開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。(1つのみ)**

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が31.9%、「知らない」が65.4%と、「知らない」が33.5ポイント上回っている。

全体 n=792

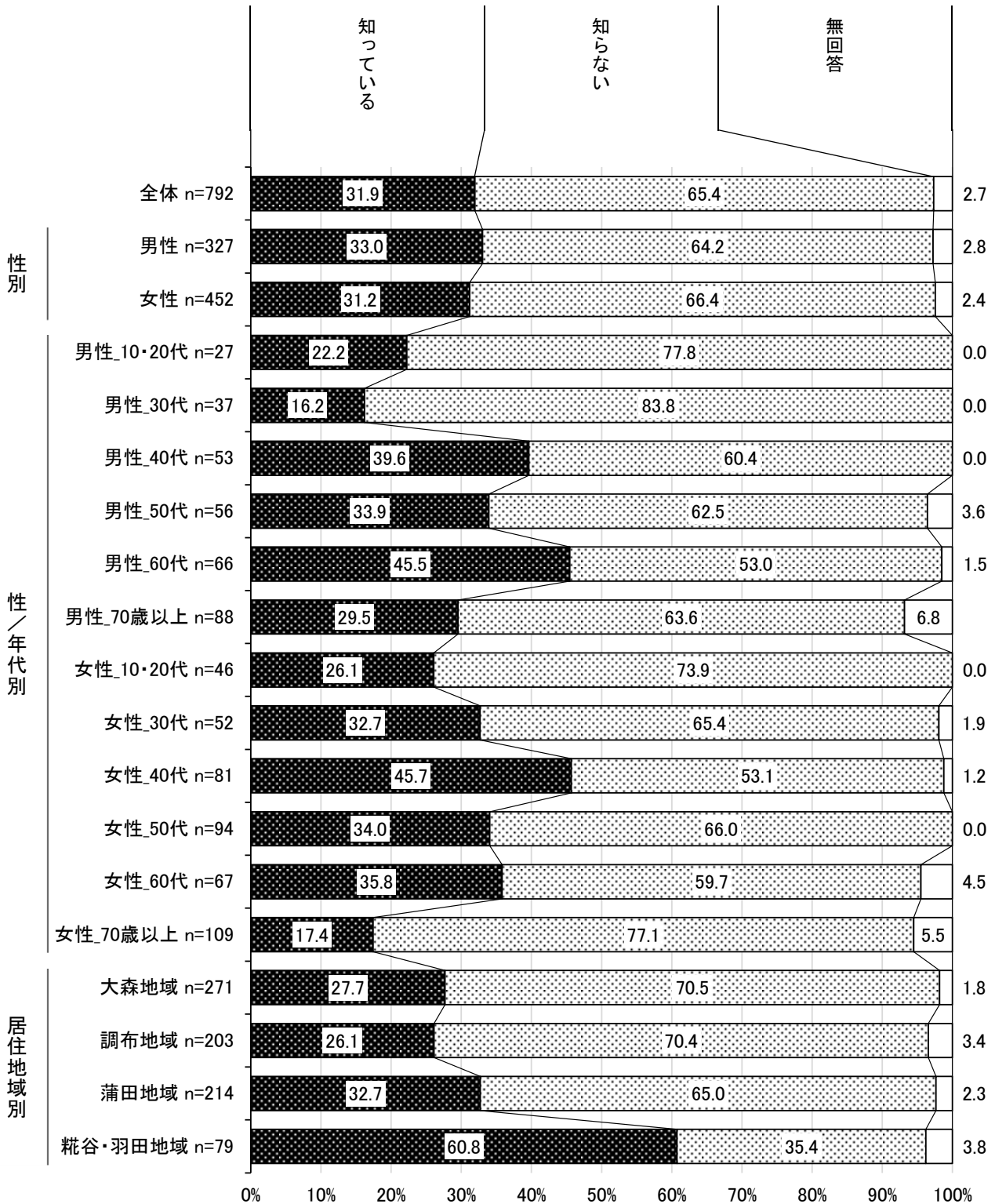


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では60代で4割半ば、女性では40代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で約6割と高くなっている。



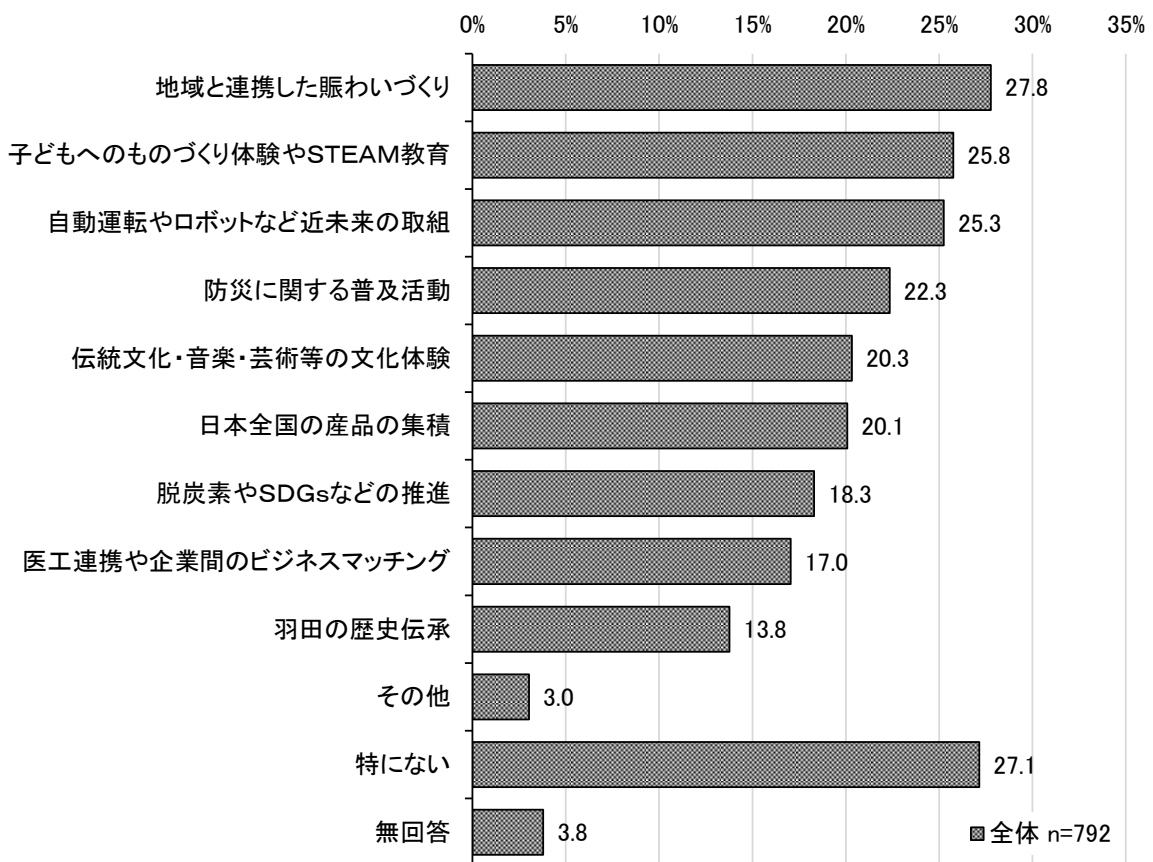
### (3) 羽田イノベーションシティ・HICityの取組へ期待すること

◇「地域と連携した賑わいづくり」が2割後半で最も高くなっている

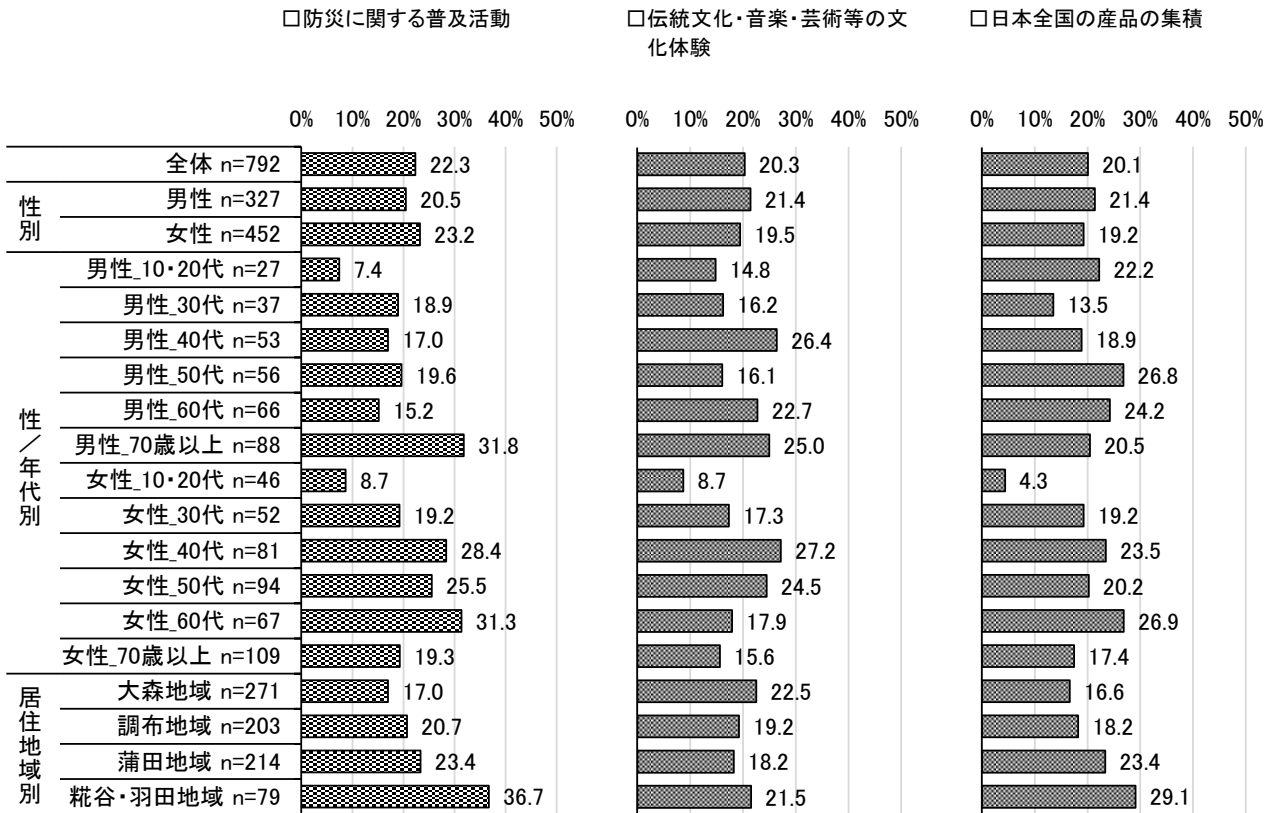
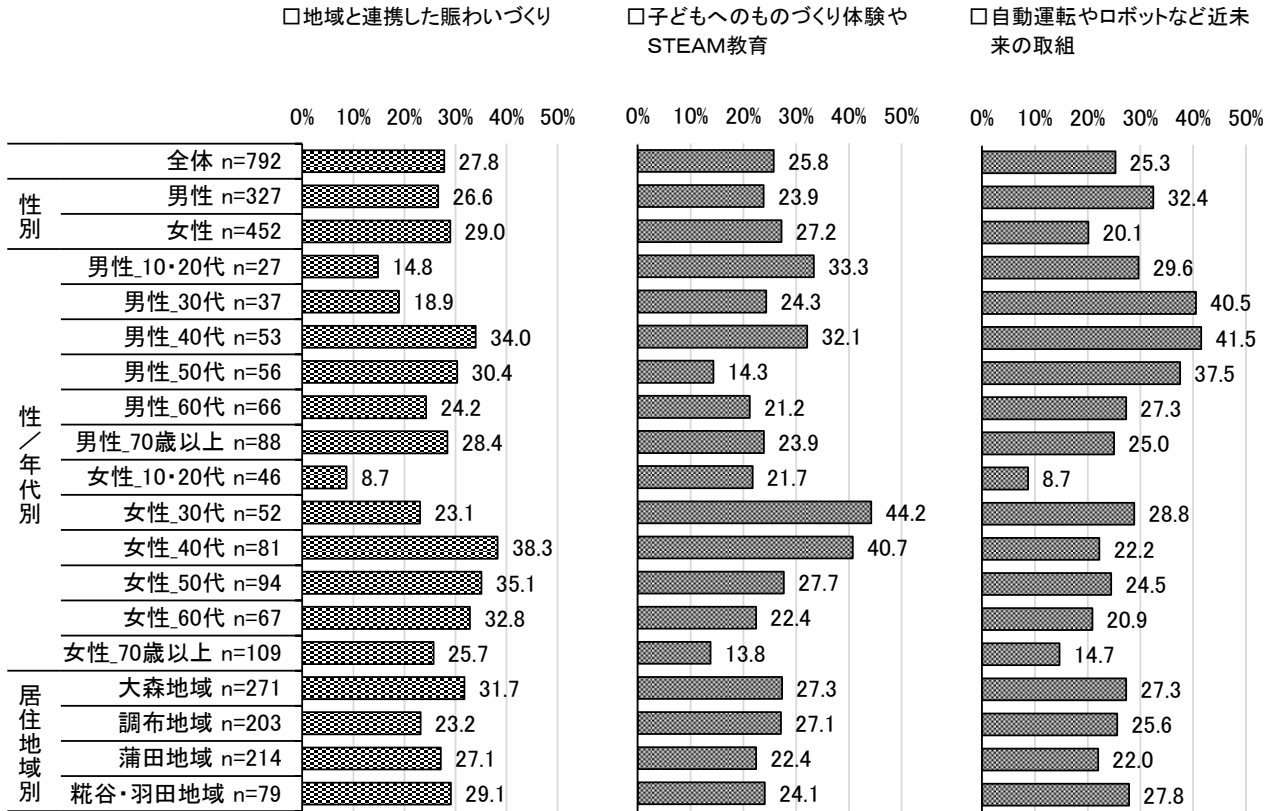
#### 問 22 羽田イノベーションシティ・HICityの取組のうち、期待するものはありますか。 (いくつでも)

“羽田イノベーションシティ・HICity”の取組へ期待することについては、「地域と連携した賑わいづくり」が27.8%で最も高く、次いで「子どもへのものづくり体験やSTEAM教育」が25.8%、「自動運転やロボットなど近未来の取組」が25.3%となっている。

なお、「特にない」は27.1%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）





性別でみると、男性では「自動運転やロボットなど近未来の取組」が最も高く、女性では「地域と連携した賑わいづくり」が最も高くなっている。「自動運転やロボットなど近未来の取組」は男性が32.4%、女性が20.1%と、男性が12.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「地域と連携した賑わいづくり」は女性40代で3割後半と高くなっている。「子どもへのものづくり体験やSTEAM教育」は女性30代で4割半ばと高くなっている。「自動運転やロボットなど近未来の取組」は男性30代、男性40代で4割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「地域と連携した賑わいづくり」は大森地域で3割前半と高くなっている。「防災に関する普及活動」は糀谷・羽田地域で3割後半と高くなっている。

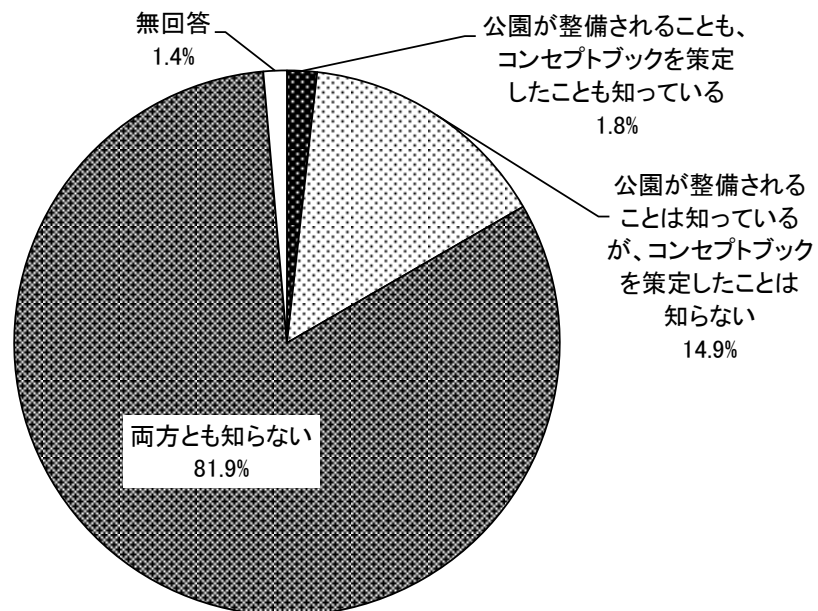
#### (4) 「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度

◇「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は1割未満となっている

**問 23 羽田空港跡地第1ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。(1つのみ)**

“羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック”の認知度については、「両方とも知らない」が81.9%で最も高く、次いで「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」が14.9%、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」が1.8%となっている。

全体 n=792

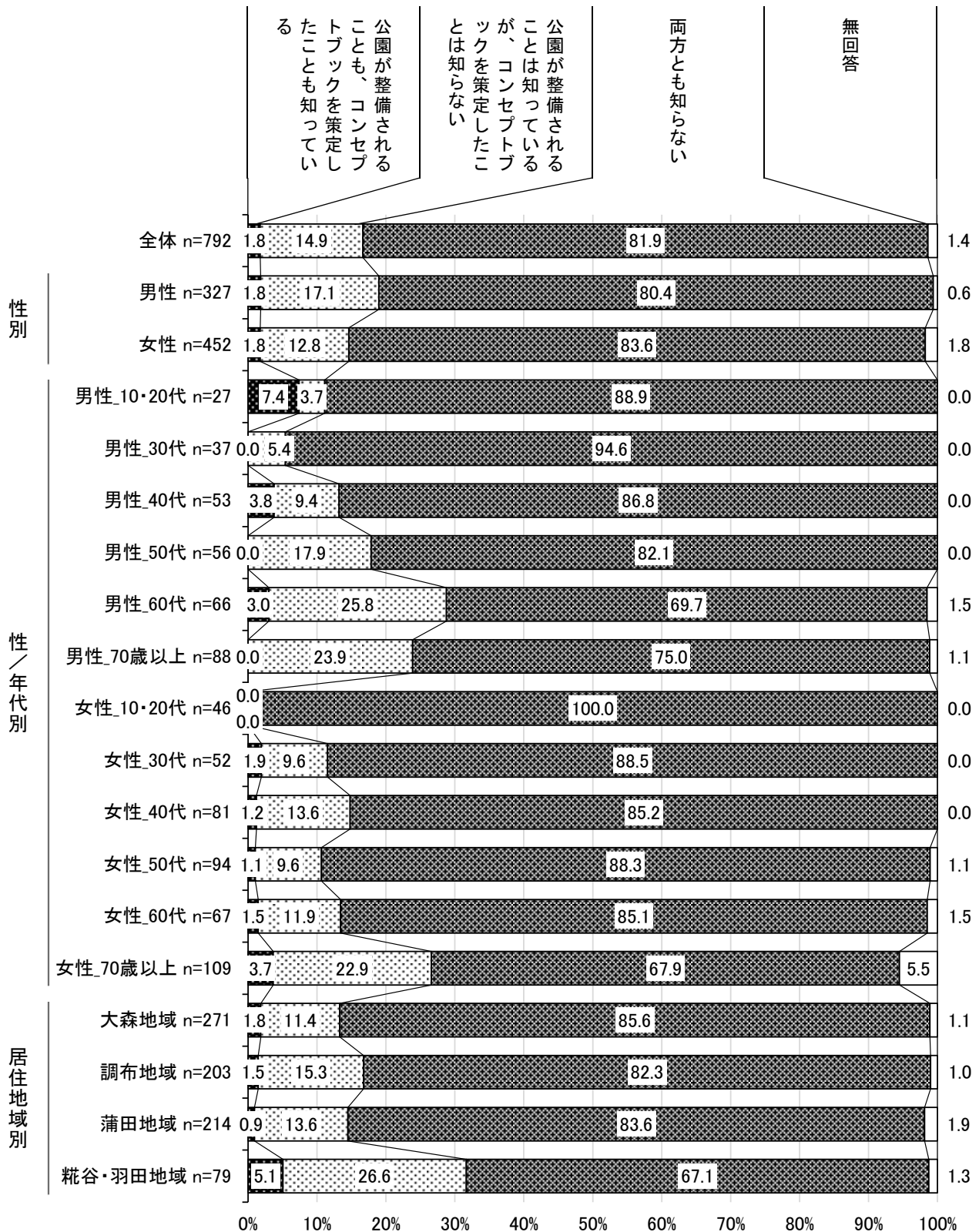


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことはない」は男性60代、男性70歳以上、女性70歳以上で2割台となっている。

居住地域別でみると、「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことはない」は糞谷・羽田地域で2割後半と高くなっている。

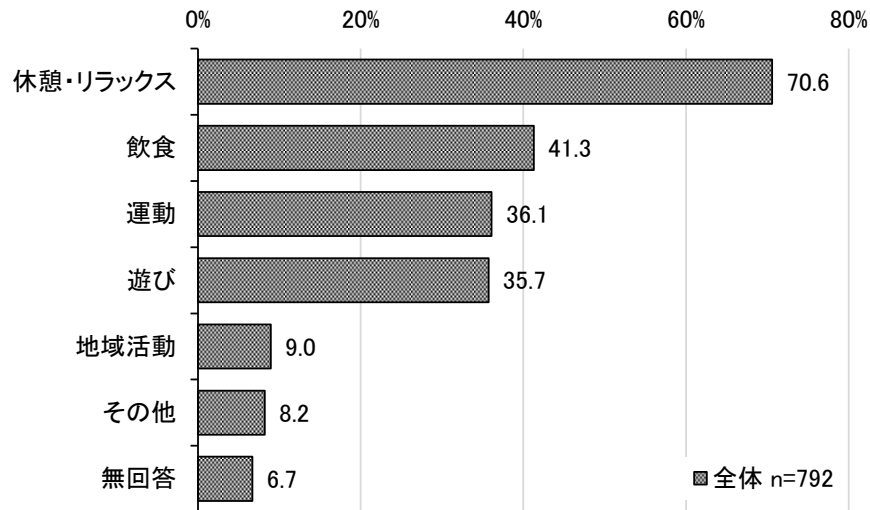


## (5) 整備される公園でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が約7割で最も高くなっている

### 問 24 整備される予定の公園で、したいことはありますか。(いくつでも)

整備される公園でしたいことについては、「休憩・リラックス」が70.6%で最も高く、次いで「飲食」が41.3%、「運動」が36.1%となっている。

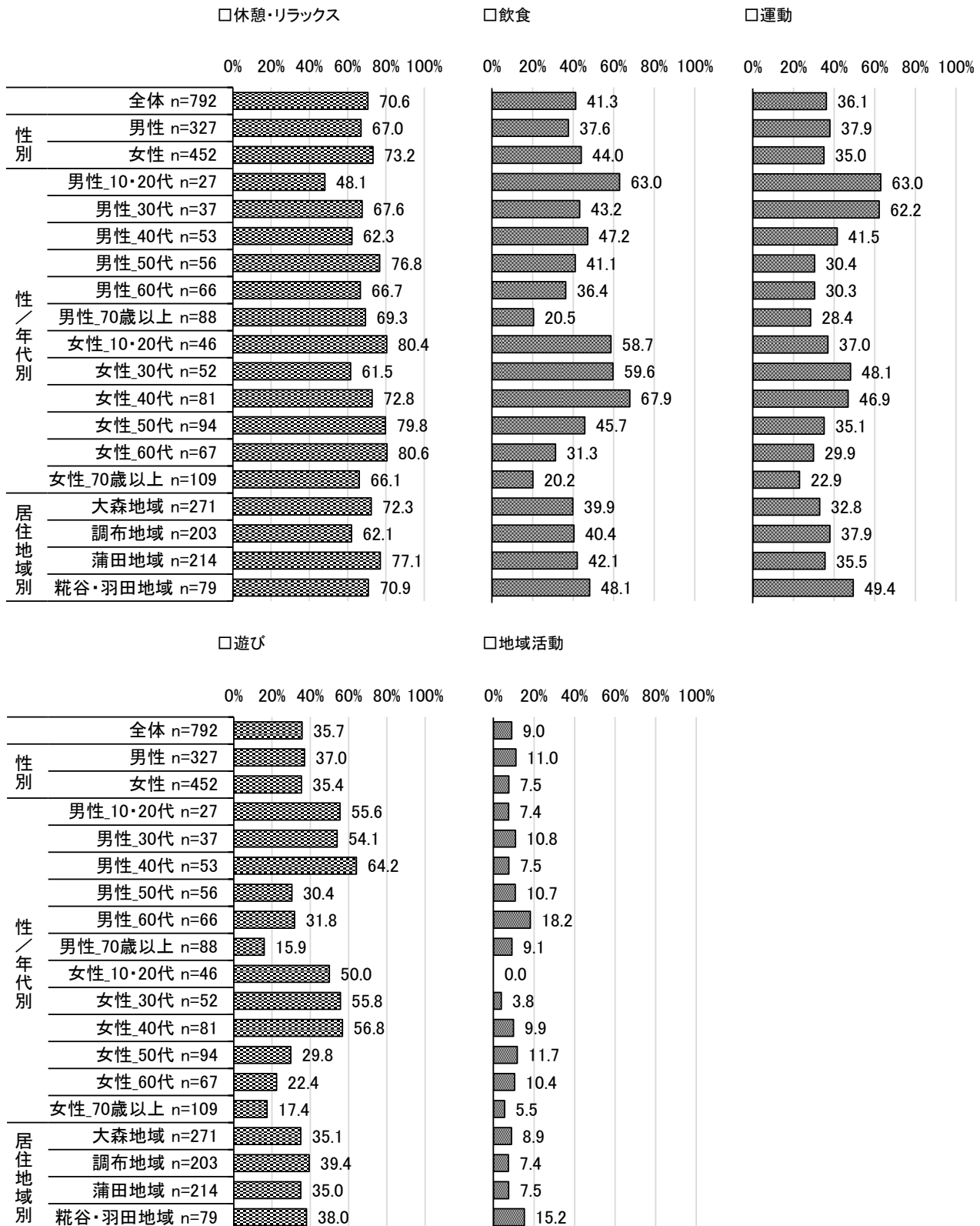


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「休憩・リラックス」は女性10・20代、女性50代、女性60代で約8割と高くなっている。「飲食」は女性40代で6割後半と高くなっている。「運動」は男性30代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、蒲田地域で7割後半となっている。

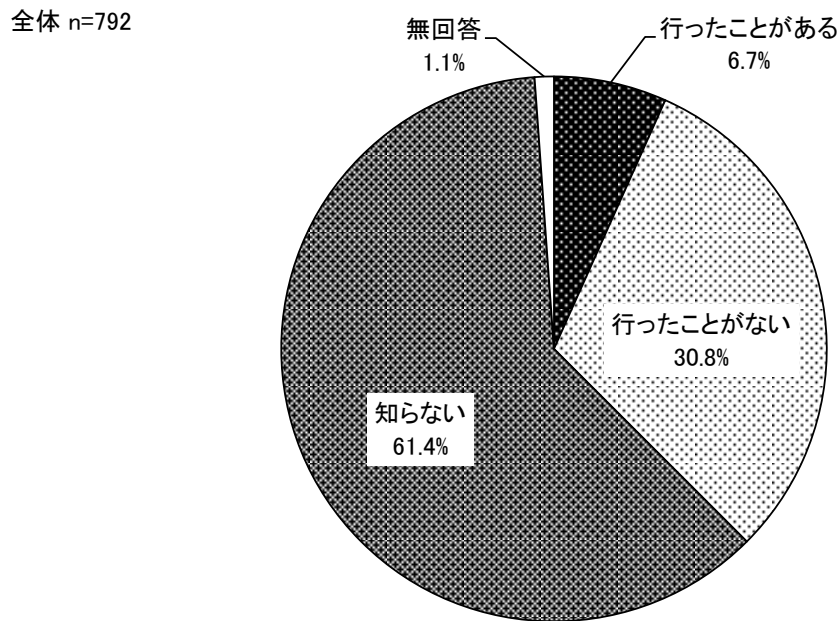


## (6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況

◇「行ったことがある」は1割未満となっている

**問 25 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に整備された「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）に行ったことはありますか。（1つのみ）**

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が61.4%で最も高く、次いで「行ったことがない」が30.8%、「行ったことがある」が6.7%となっている。

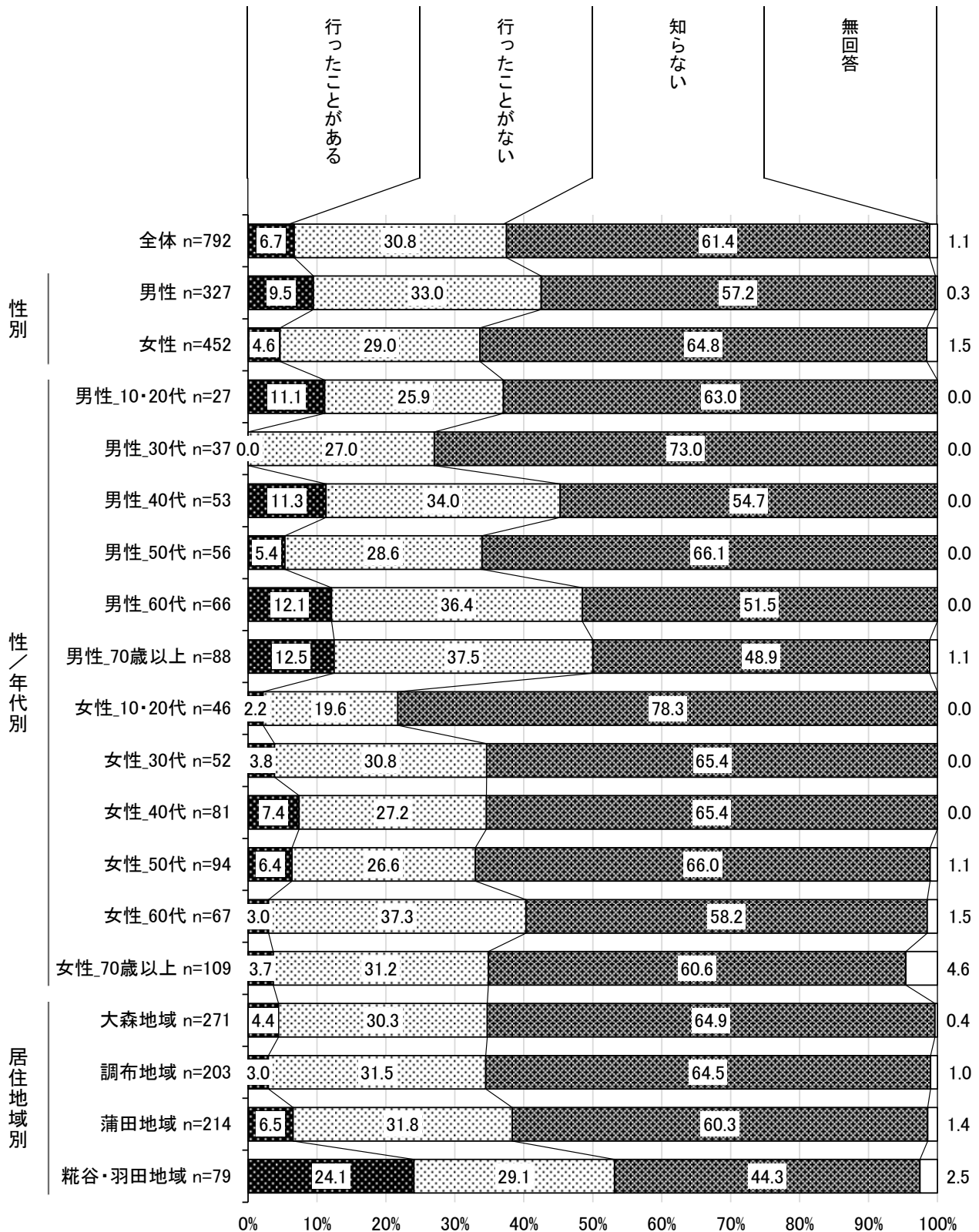


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「行ったことがある」に大きな差はみられないものの、「知らない」では男性が57.2%、女性が64.8%と、女性が7.6ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「行ったことがある」は男性40代、男性60代、男性70歳以上で1割台となっている。

居住地域別でみると、「行ったことがある」は糀谷・羽田地域で2割半ばと高くなっている。

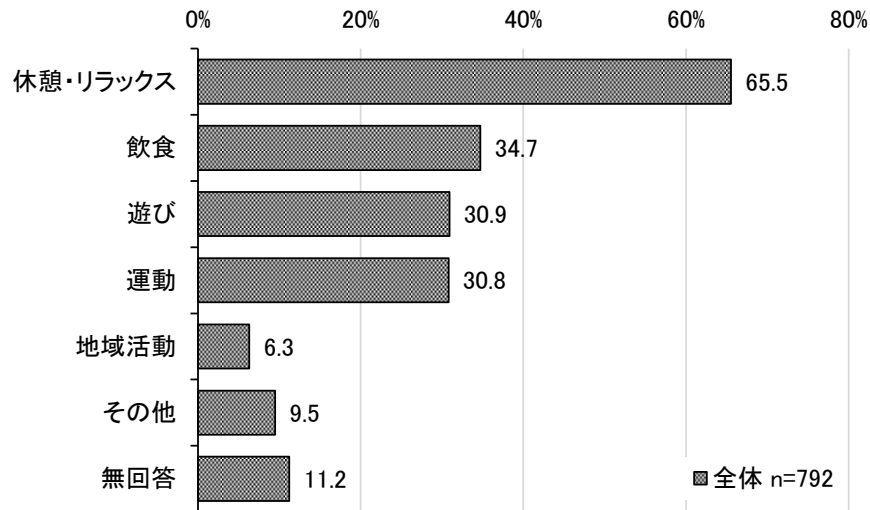


## (7) 「ソラムナード羽田緑地」でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が6割半ばで最も高くなっている

### 問 26 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(いくつでも)

“ソラムナード羽田緑地”でしたいことについては、「休憩・リラックス」が65.5%で最も高く、次いで「飲食」が34.7%、「遊び」が30.9%となっている。



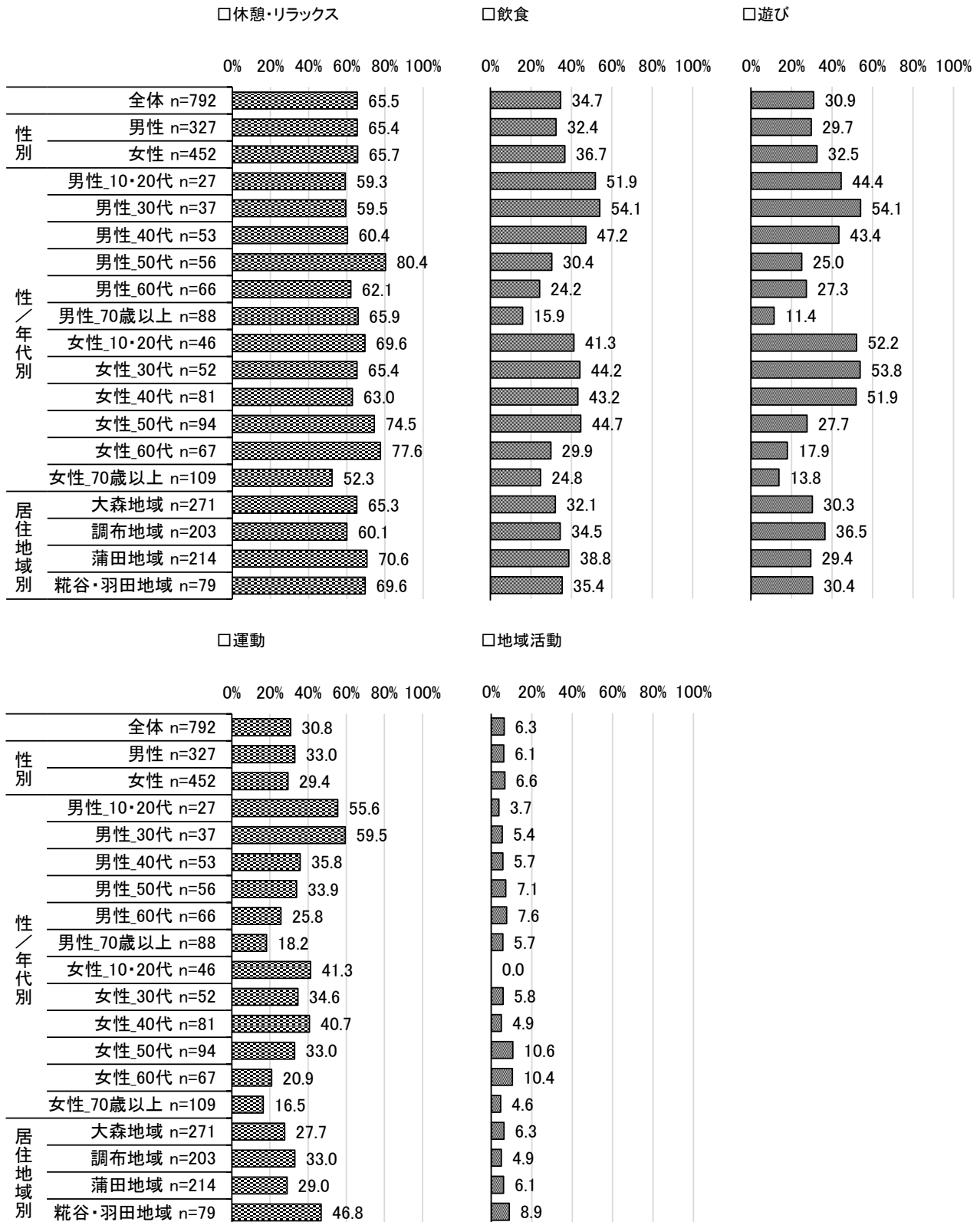


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「休憩・リラックス」は男性では50代で約8割、女性では60代で7割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、蒲田地域、糎谷・羽田地域で約7割となっている。



## 8 公園について

### (1) 公園の利用状況

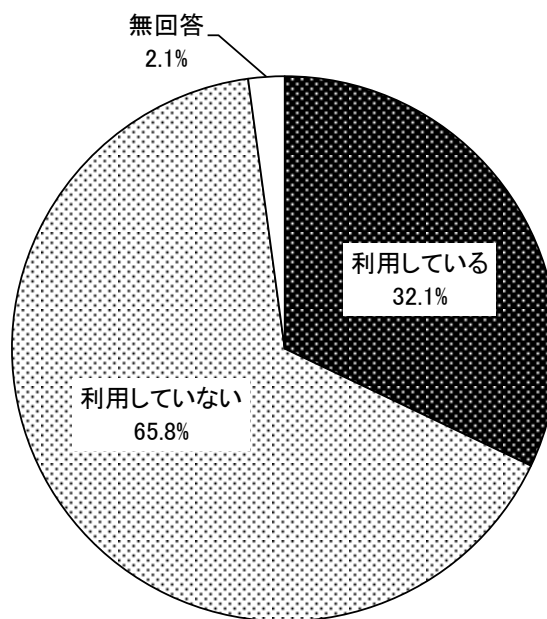
◇ 「利用している」は3割前半となっている

**問 27 普段利用している公園がありますか。(1つのみ)**

※利用している場合は、公園名をご記入ください。

公園の利用状況については、「利用している」が32.1%、「利用していない」が65.8%と、「利用していない」が33.7ポイント上回っている。

全体 n=792

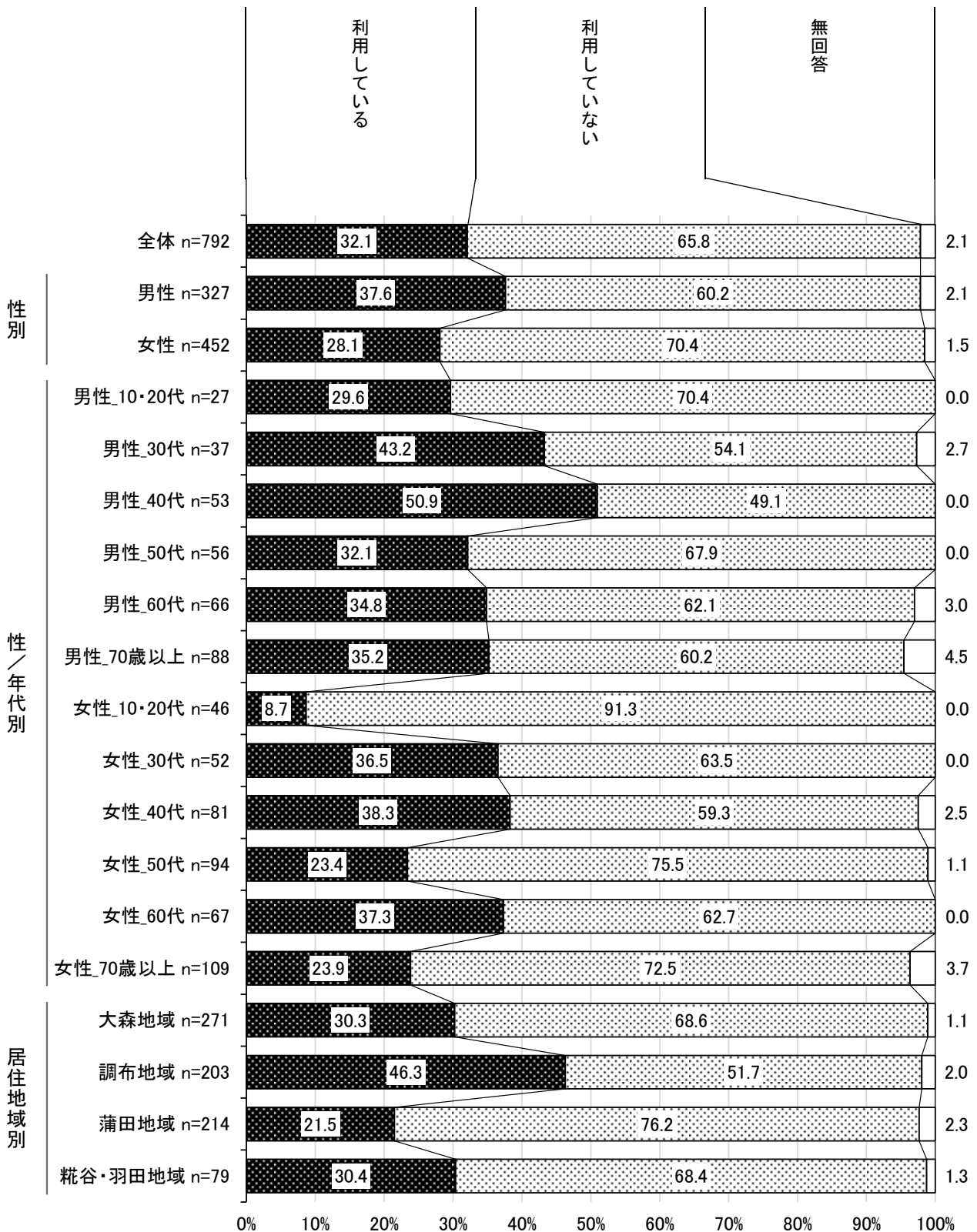


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「利用している」は男性が37.6%、女性が28.1%と、男性が9.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「利用している」は男性40代で約5割となっている。

居住地域別でみると、「利用している」は調布地域で4割後半と高くなっている。



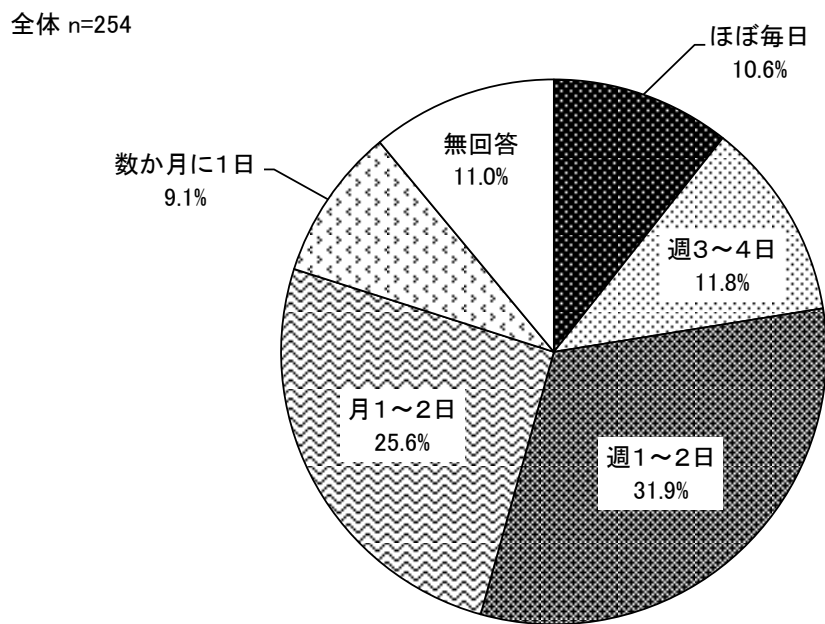
## (2) 公園の利用頻度

◇「週1～2日」が3割前半で最も高くなっている

【問27で「利用している」と回答した方に伺います。】

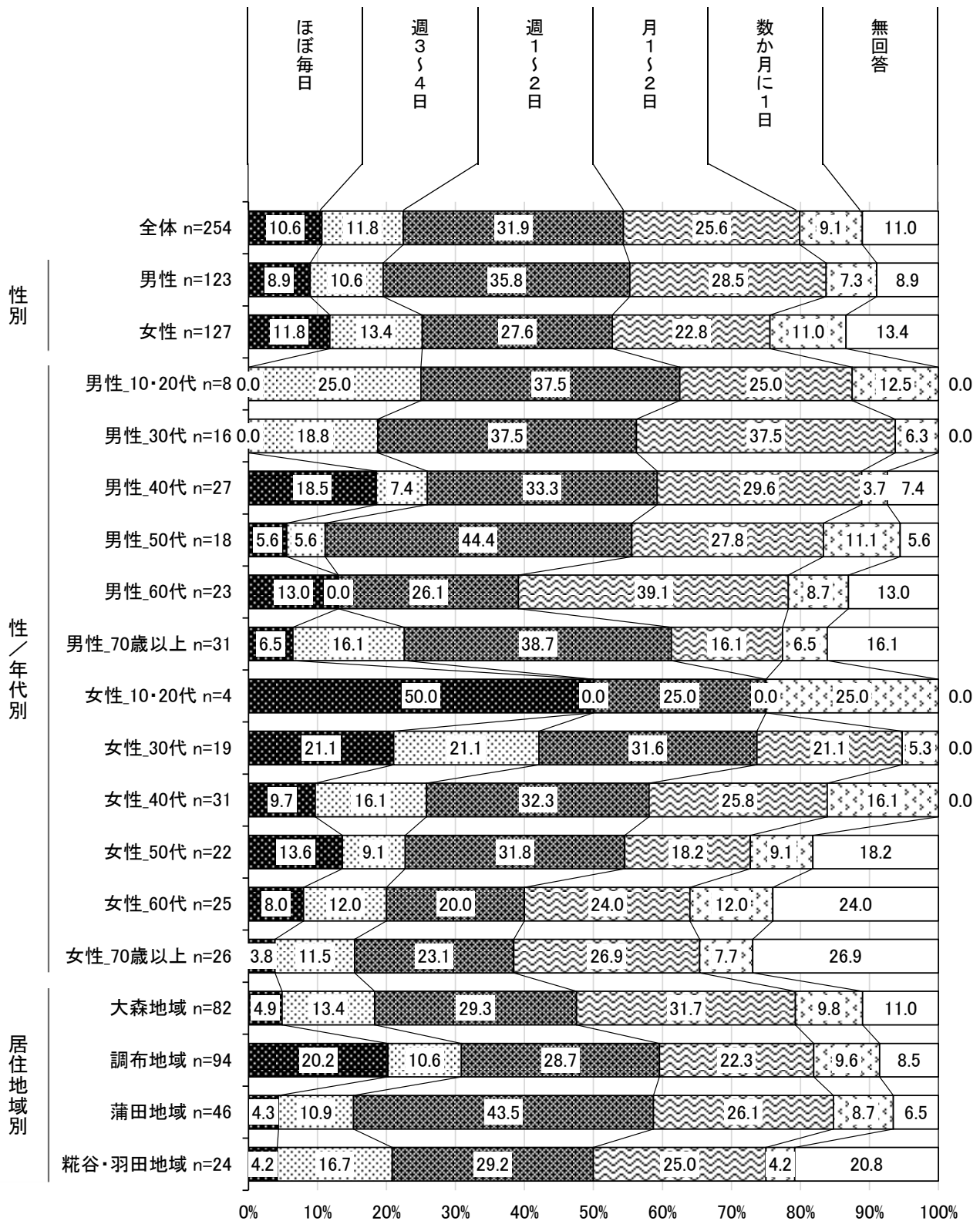
### 問27-1 公園の利用頻度はどのくらいですか。(1つのみ)

公園の利用頻度については、「週1～2日」が31.9%で最も高く、次いで「月1～2日」が25.6%、「週3～4日」が11.8%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「週1～2日」は男性が35.8%、女性が27.6%と、男性が8.2ポイント上回っている。



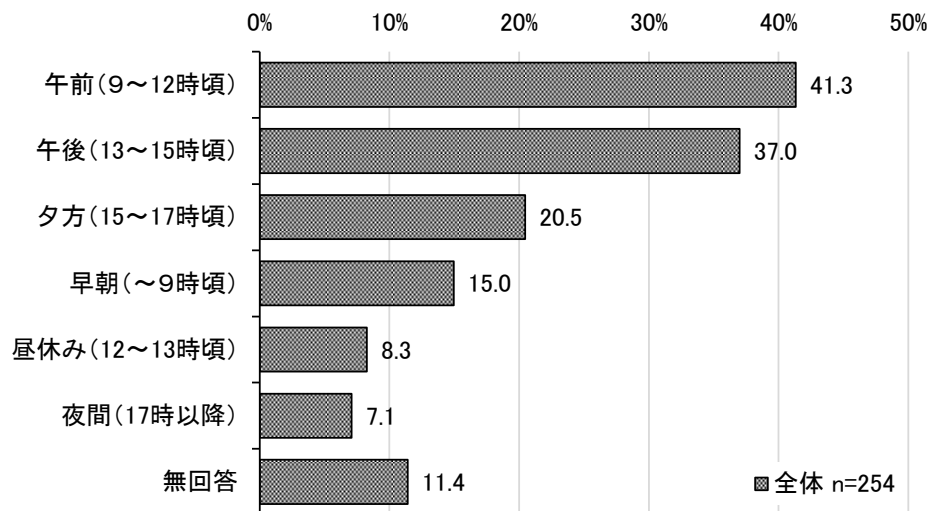
### (3) 公園を利用している主な時間帯

◇「午前（9～12時頃）」が4割前半で最も高くなっている

【問 27で「利用している」と回答した方に伺います。】

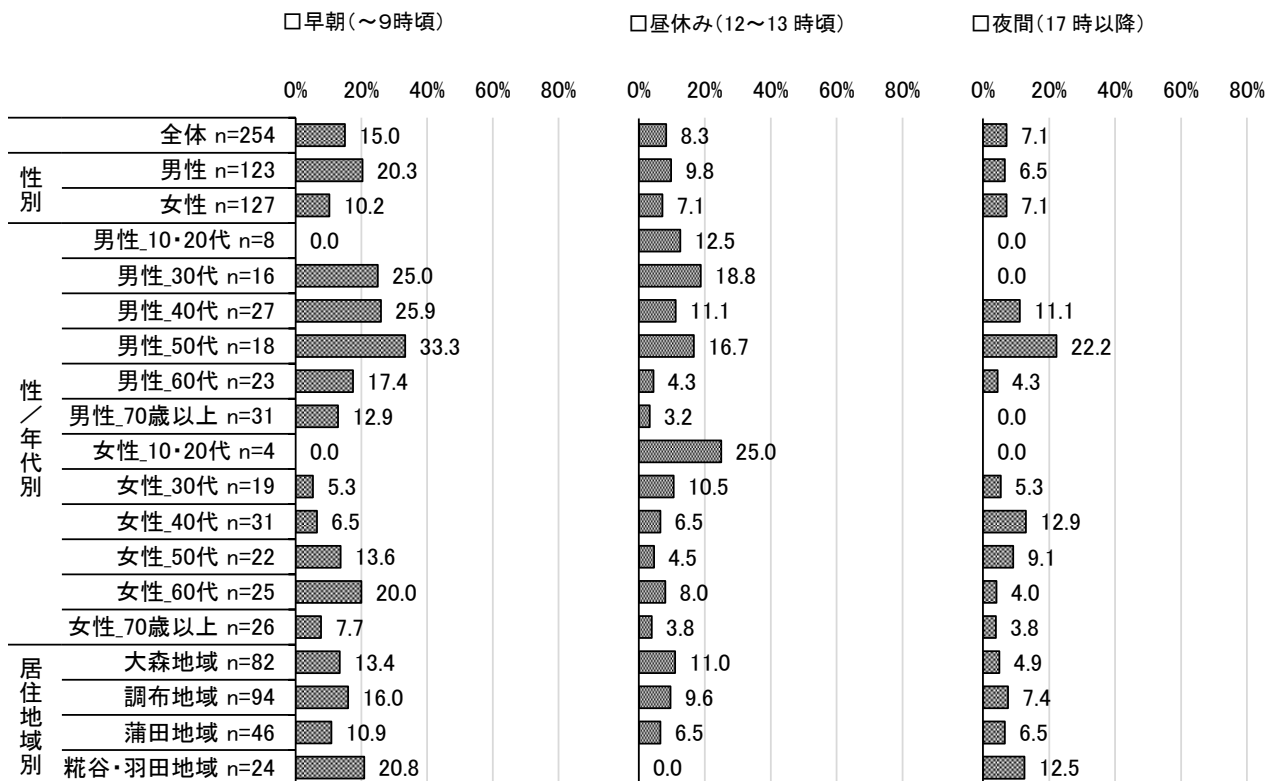
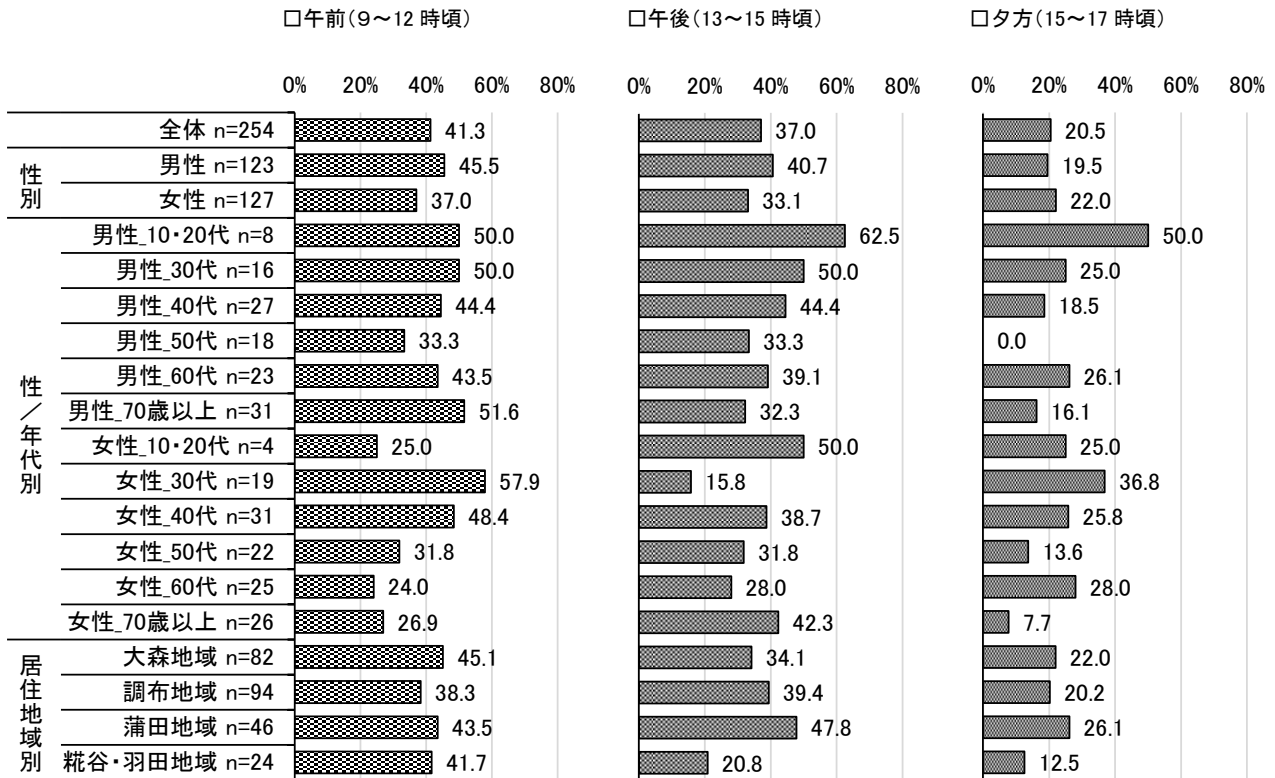
#### 問 27-2 公園を利用する主な時間帯はいつですか。（2つまで）

公園を利用している主な時間帯については、「午前（9～12時頃）」が41.3%で最も高く、次いで「午後（13～15時頃）」が37.0%、「夕方（15～17時頃）」が20.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「午前（9～12時頃）」が最も高く、男性が45.5%、女性が37.0%と、男性が8.5ポイント上回っている。



#### (4) 公園のトイレの利用状況

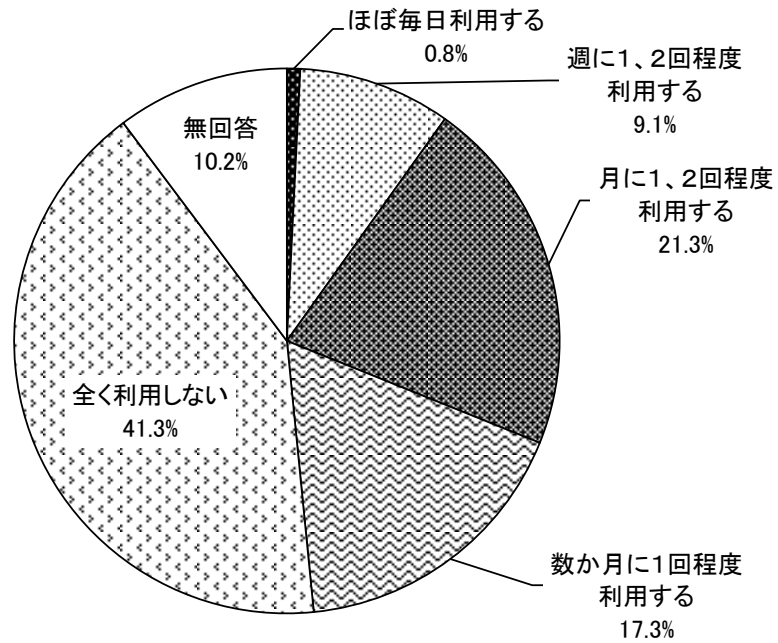
◇「月に1、2回程度利用する」が2割前半となっている

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

##### 問 27-3 公園のトイレを利用していますか。(1つのみ)

公園のトイレの利用状況については、「月に1、2回程度利用する」が21.3%で最も高く、次いで「数か月に1回程度利用する」が17.3%、「週に1、2回程度利用する」が9.1%となっている。  
なお、「全く利用しない」は41.3%となっている。

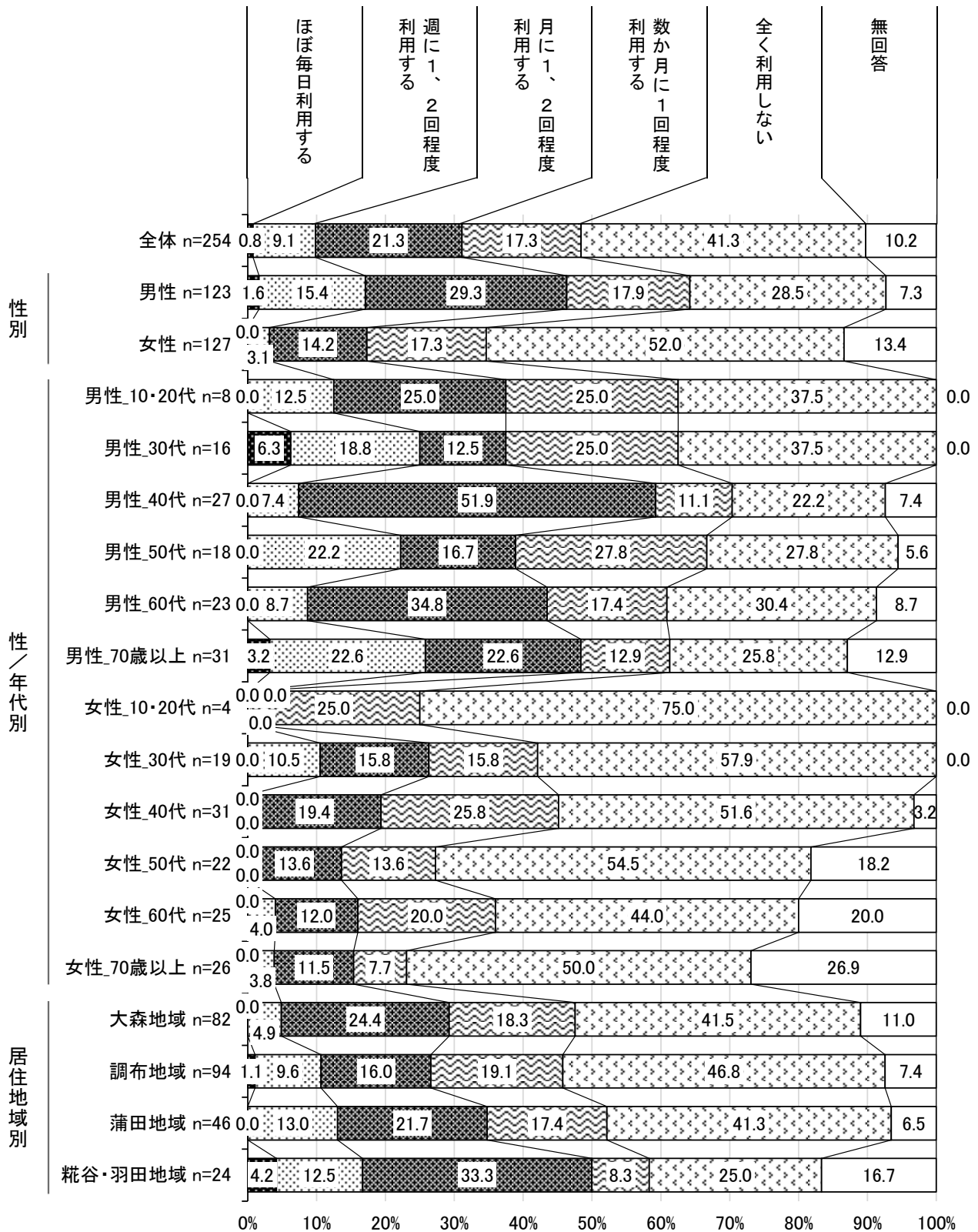
全体 n=254





■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「月に1、2回程度利用する」は男性が29.3%、女性が14.2%と、男性が15.1ポイント上回っている。



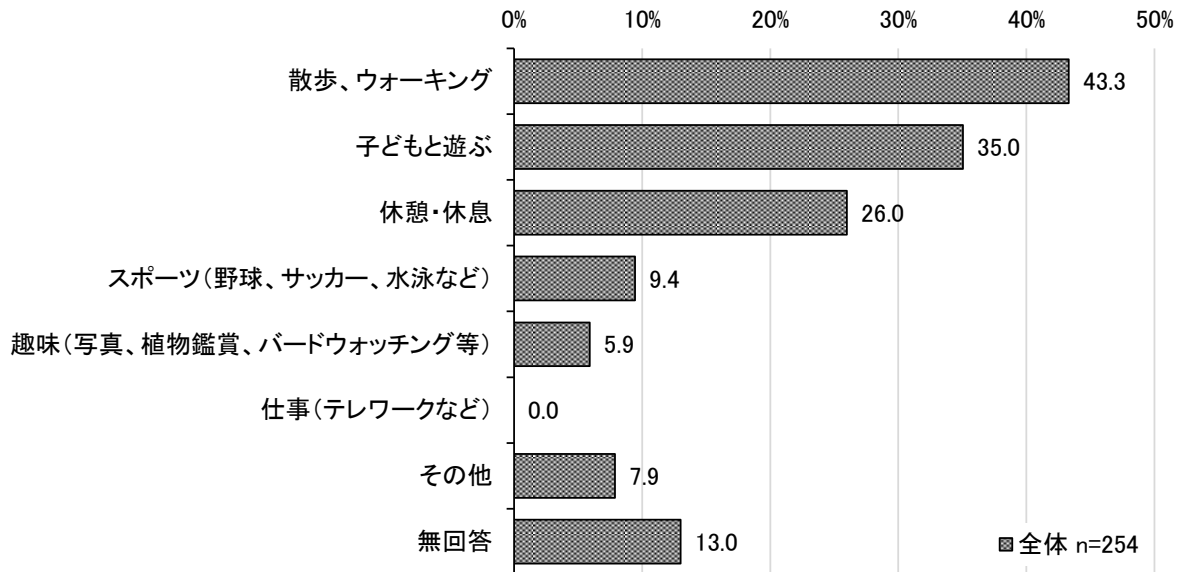
## (5) 公園の利用目的

◇「散歩、ウォーキング」が4割前半で最も高くなっている

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

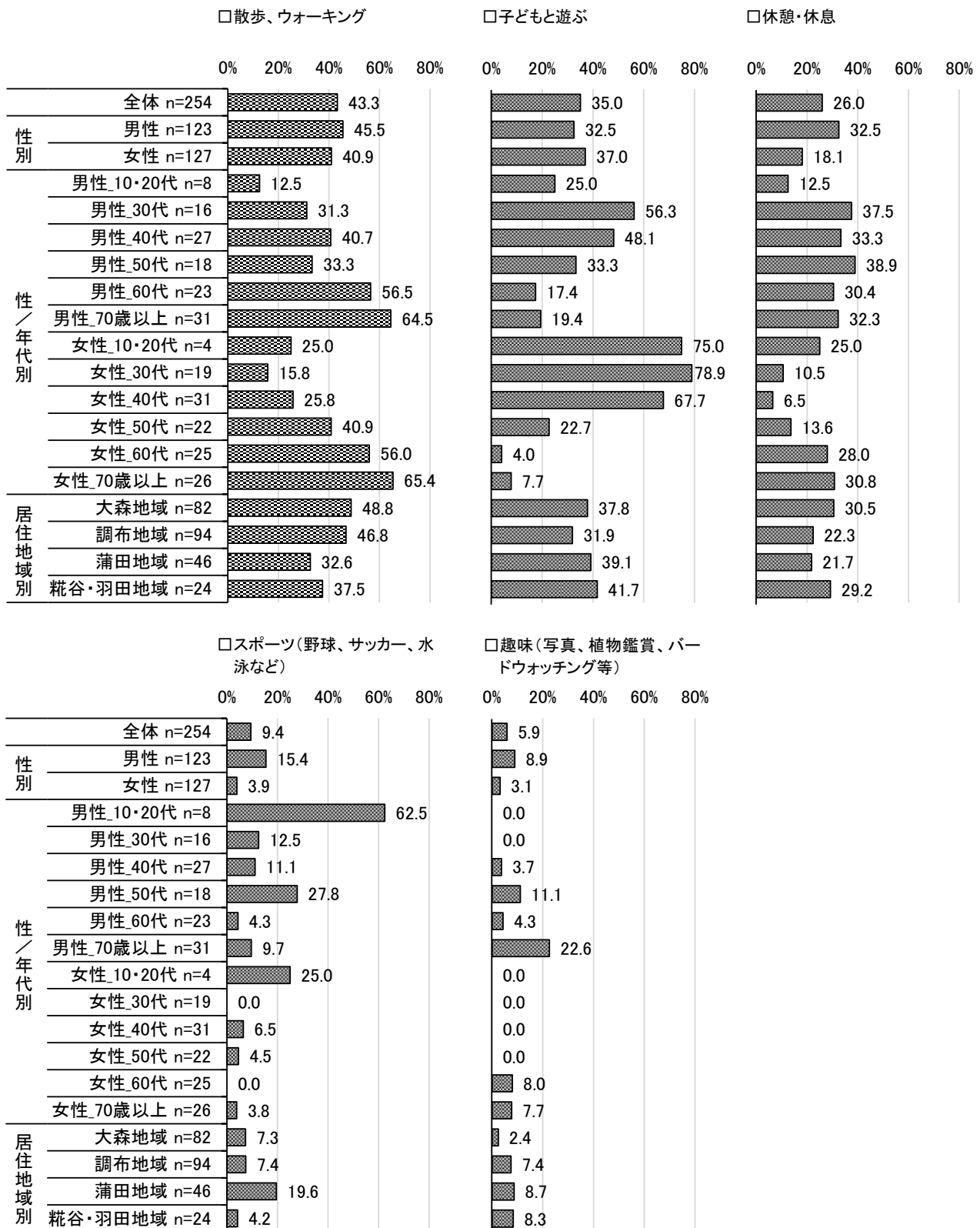
### 問 27-4 公園をどのような目的で利用していますか。(いくつでも)

公園の利用目的については、「散歩、ウォーキング」が 43.3%で最も高く、次いで「子どもと遊ぶ」が 35.0%、「休憩・休息」が 26.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「散歩、ウォーキング」が最も高く、男性が45.5%、女性が40.9%と、男性が4.6ポイント上回っている。「休憩・休息」は男性が32.5%、女性が18.1%と、男性が14.4ポイント上回っている。



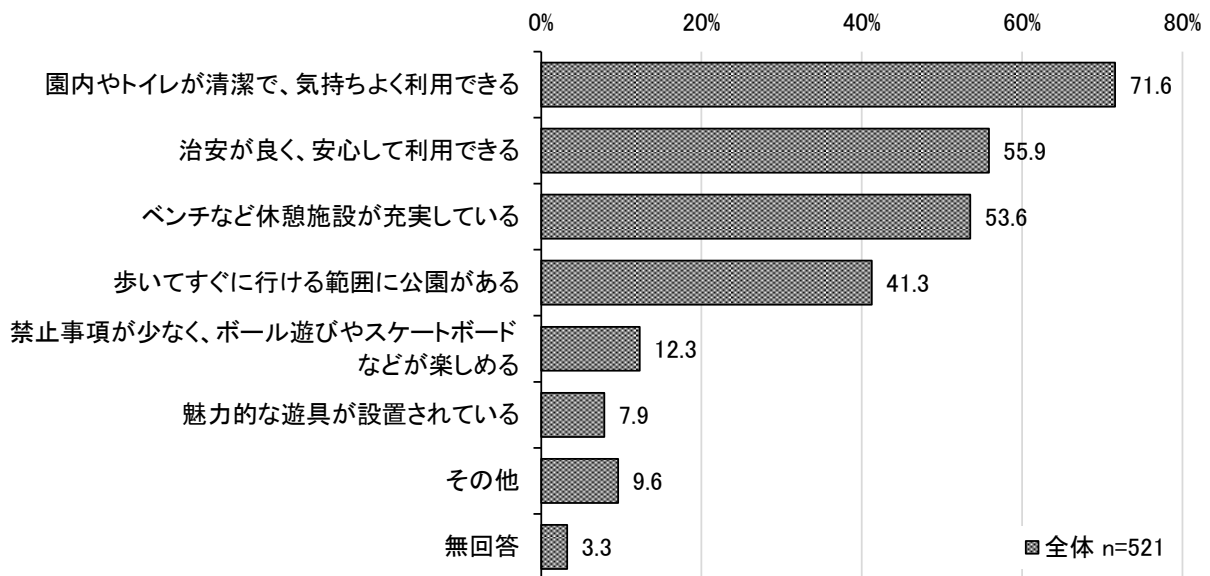
## (6) 利用したいと思う公園

◇「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」が7割前半で最も高くなっている

【問 27 で「利用していない」と回答した方に伺います。】

### 問 27-5 どのような公園であれば利用したいと思いますか。(いくつでも)

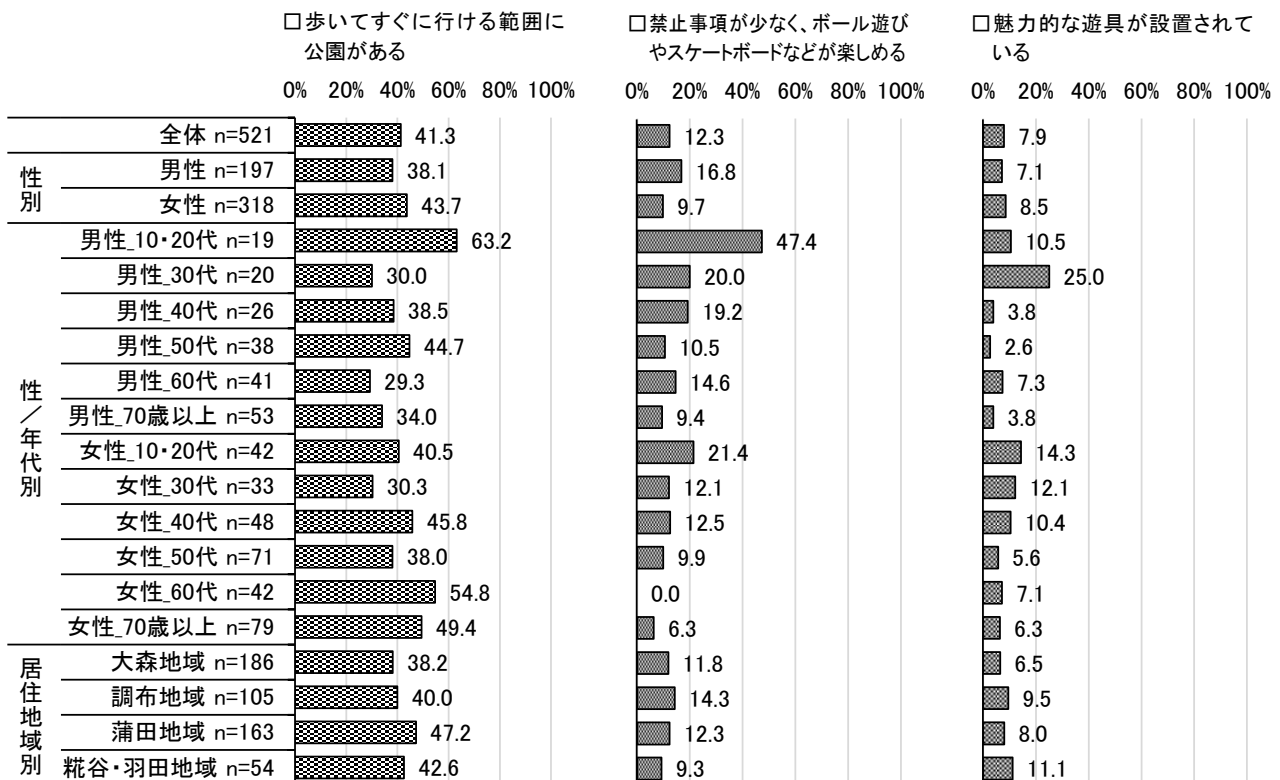
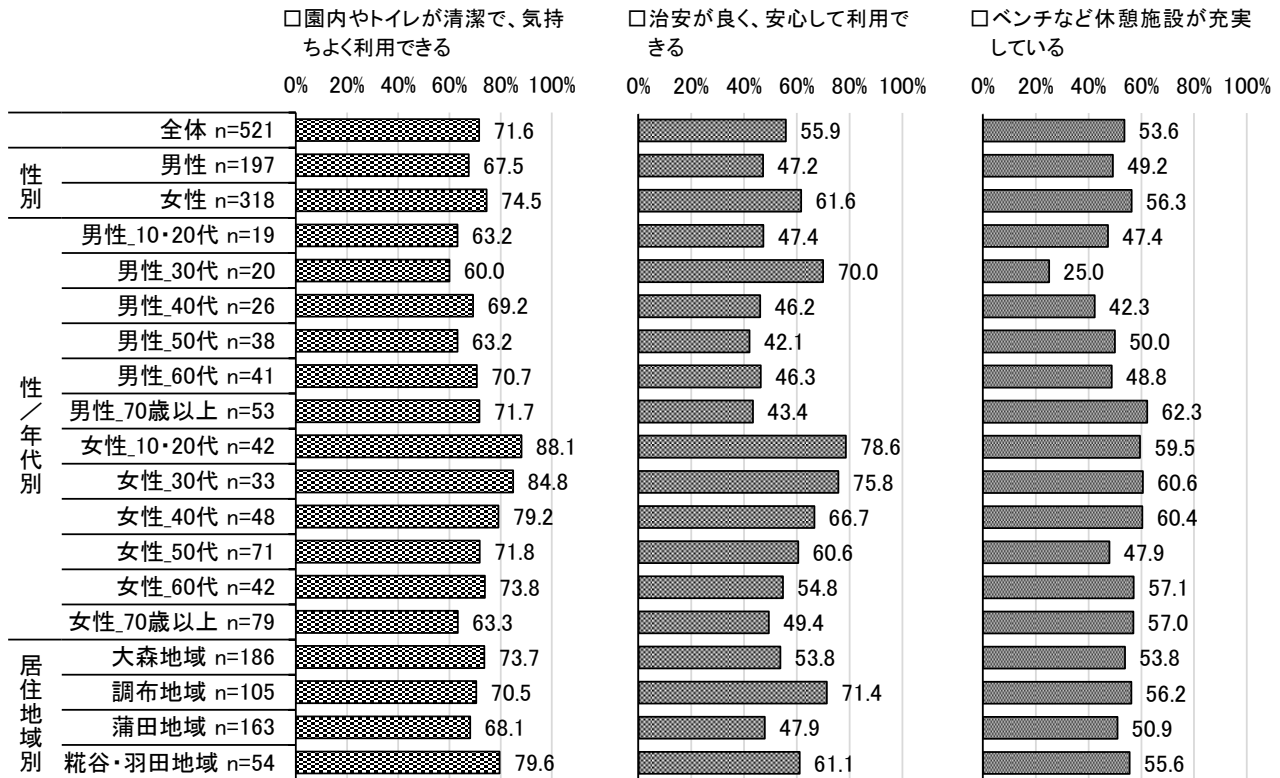
利用したいと思う公園については、「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」が71.6%で最も高く、次いで「治安が良く、安心して利用できる」が55.9%、「ベンチなど休憩施設が充実している」が53.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」が最も高く、男性が67.5%、女性が74.5%と、女性が7.0ポイント上回っている。「治安が良く、安心して利用できる」は男性が47.2%、女性が61.6%と、女性が14.4ポイント上回っている。「ベンチなど休憩施設が充実している」は男性が47.4%、女性が56.3%と、女性が8.9ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」は糞谷・羽田地域で約8割と高くなっている。「治安が良く、安心して利用できる」は調布地域で7割前半と高くなっている。



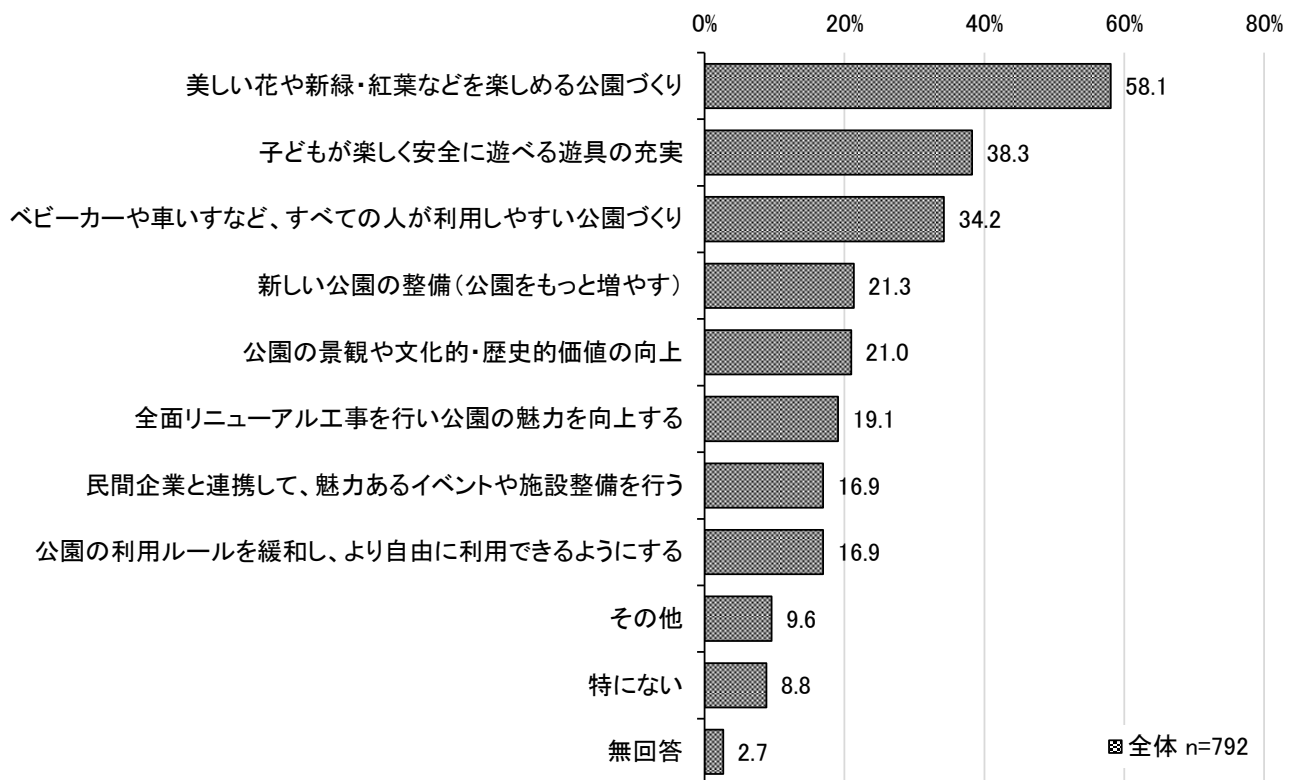
## (7) 大田区の公園行政に期待すること

◇「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が5割後半で最も高くなっている

### 問 28 大田区の公園行政に期待することは何ですか。(いくつでも)

大田区の公園行政に期待することについては、「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が58.1%で最も高く、次いで「子どもが楽しく安全に遊べる遊具の充実」が38.3%、「ベビーカーや車いすなど、すべての人が利用しやすい公園づくり」が34.2%となっている。

なお、「特にない」は8.8%となっている。

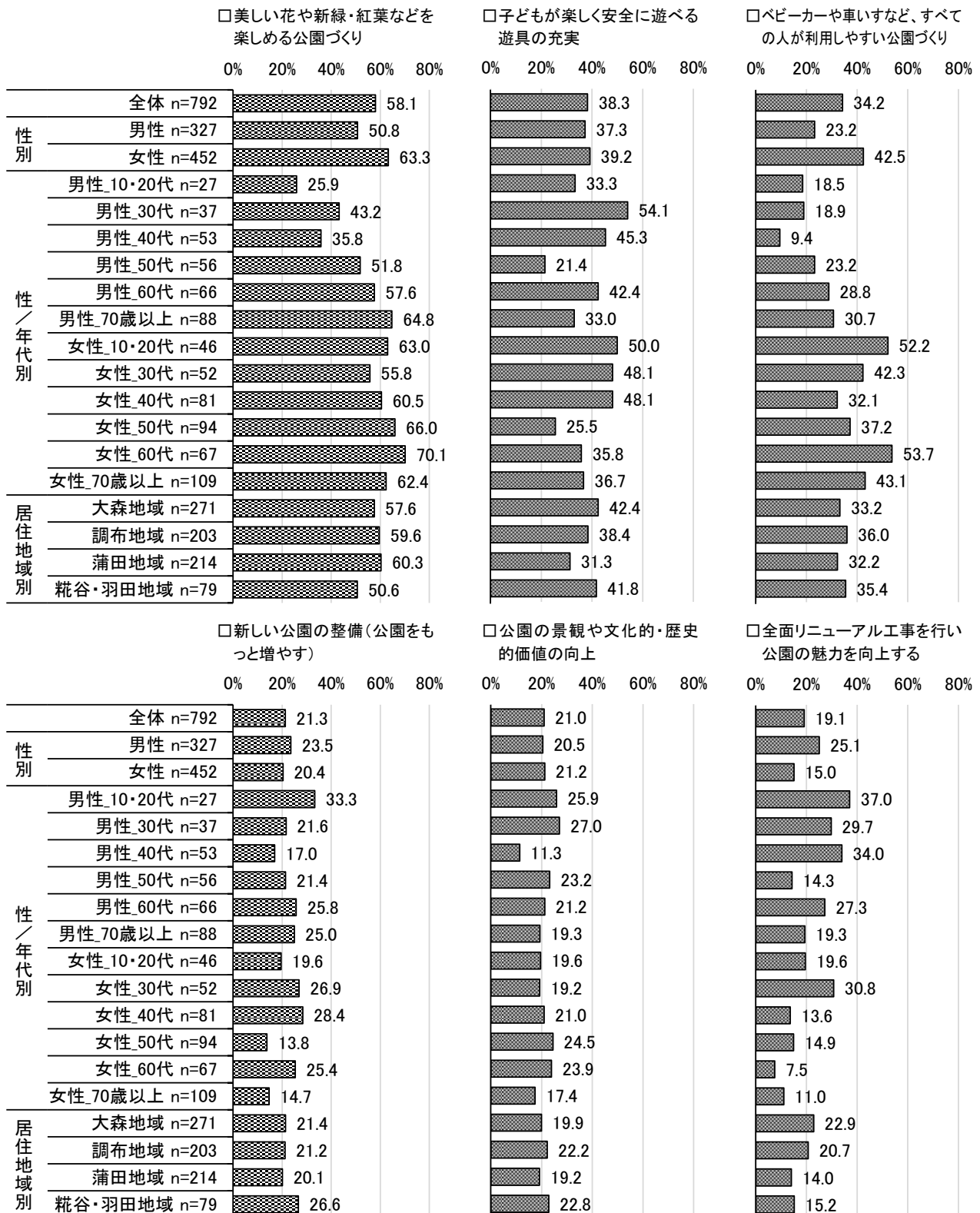


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が最も高く、男性が50.8%、女性が63.3%と、女性が12.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」は女性60代で約7割と高くなっている。「ベビーカーや車いすなど、すべての人が利用しやすい公園づくり」は女性10・20代、女性60代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が最も高く、調布地域、蒲田地域で約6割となっている。



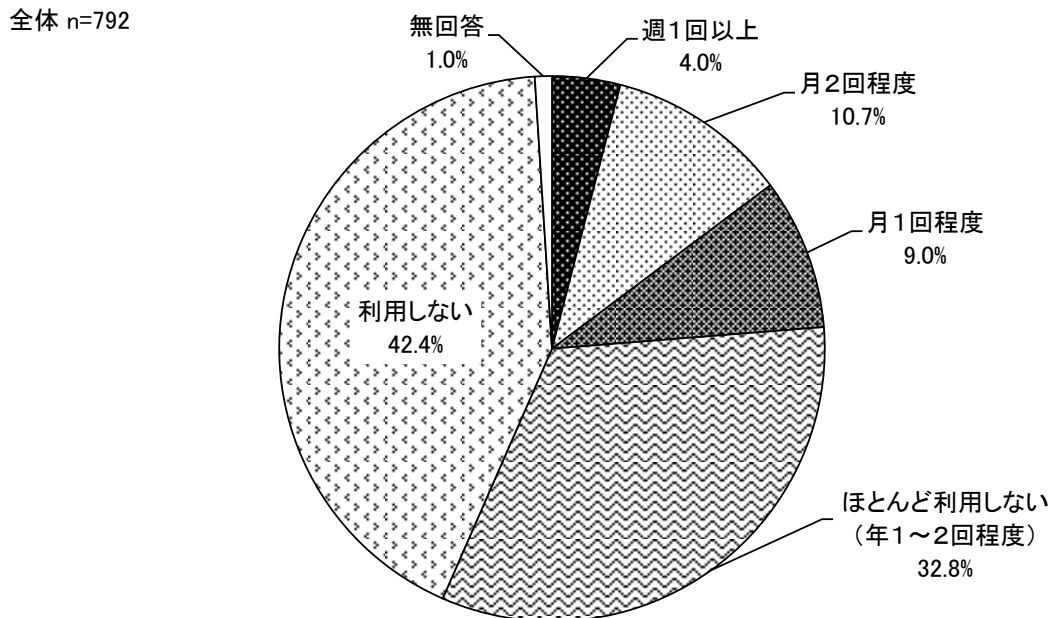
## 9 図書館について

### (1) 図書館等の利用頻度

◇ 《利用している》(「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値) は2割前半となっている

**問 29 あなたは、大田区立図書館又は大田文化の森情報館をどのくらい利用していますか。  
(1つのみ)**

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》が23.7%である一方で、「ほとんど利用しない(年1～2回程度)」、「利用しない」の合計値《利用しない》が75.2%と、《利用しない》が51.5ポイント上回っている。



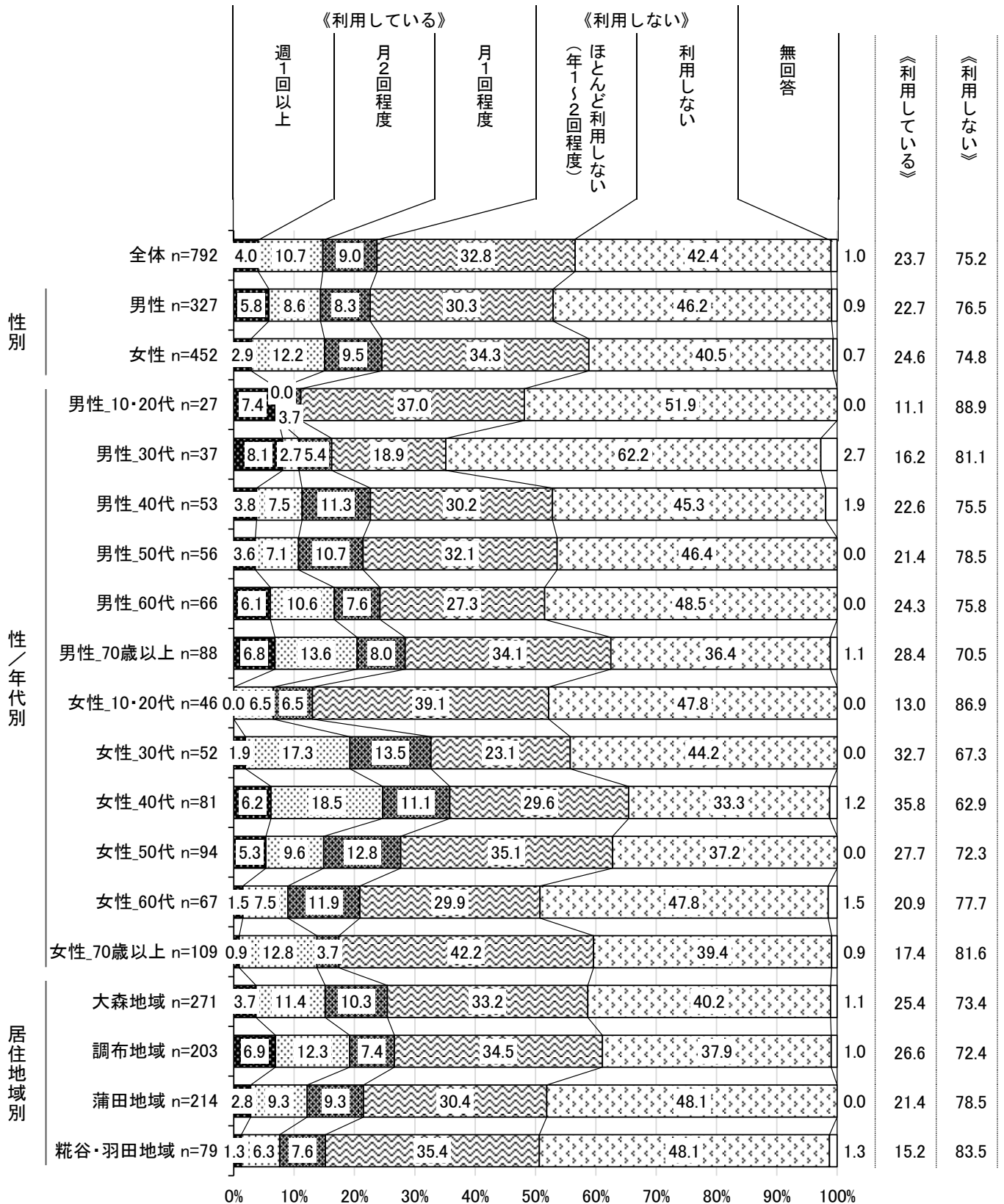


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《利用している》は男性では70歳以上で2割後半、女性では40代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《利用している》は調布地域で2割後半と高くなっている。



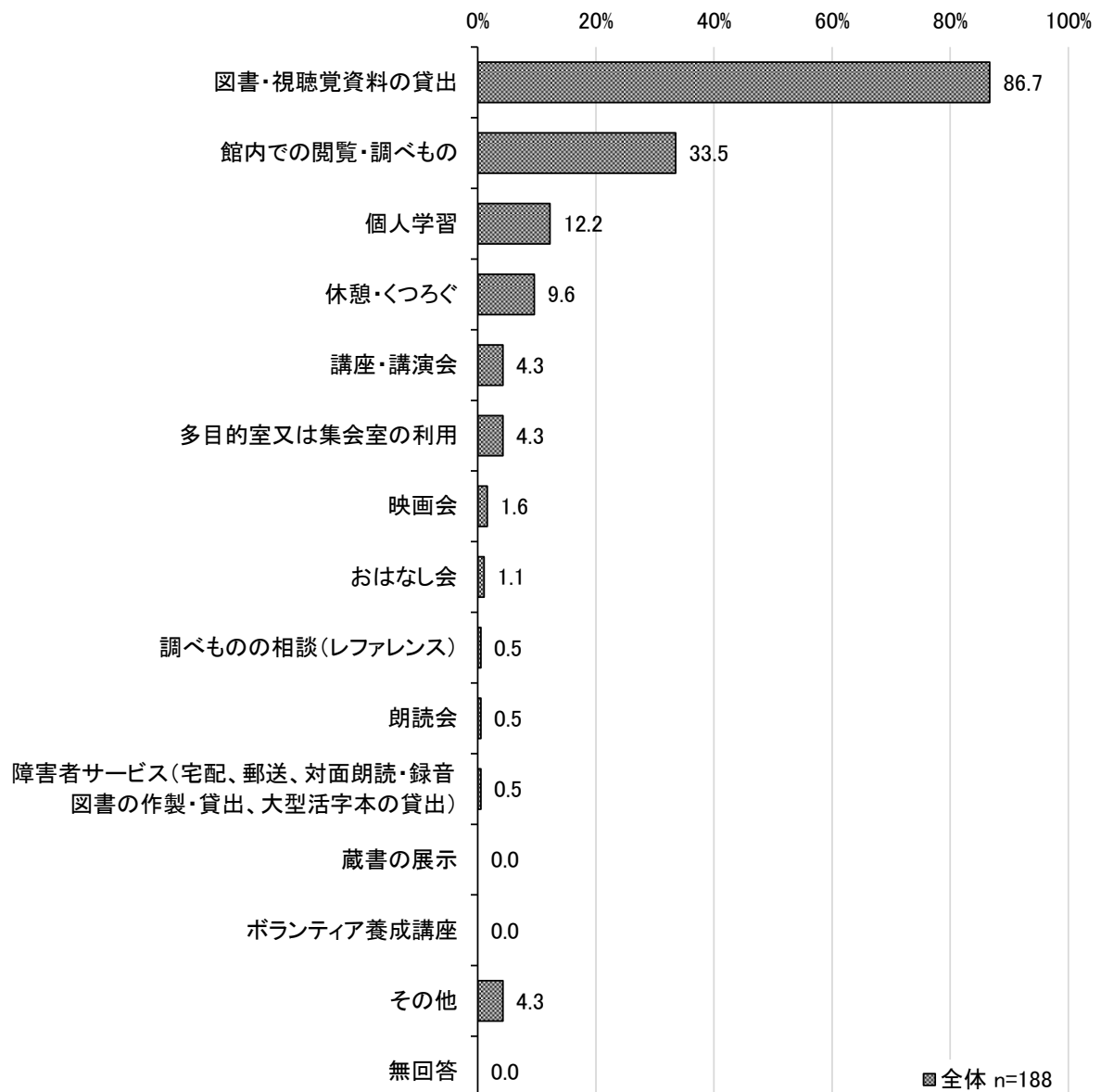
## (2) 図書館で主に利用する機能・サービス

◇「図書・視聴覚資料の貸出」が8割後半で最も高くなっている

【問 29 で「週 1 回以上」「月 2 回程度」「月 1 回程度」と回答した方に伺います。】

### 問 29-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(いくつでも)

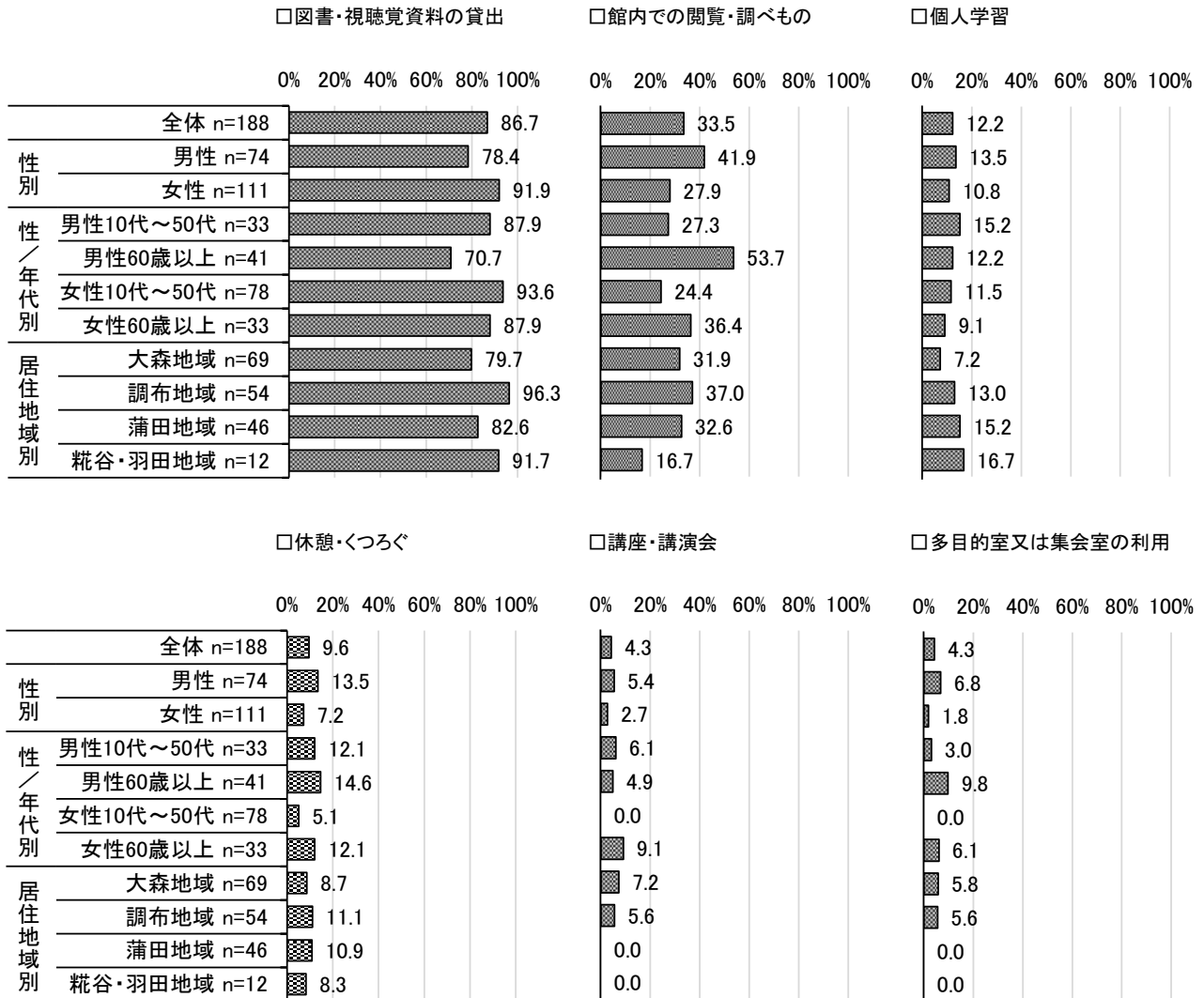
図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が 86.7% で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が 33.5%、「個人学習」が 12.2% となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高く、男性が78.4%、女性が91.9%と、女性が13.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「図書・視聴覚資料の貸出」は女性10代～50代で9割前半と高くなっている。「館内での閲覧・調べもの」は男性60歳以上で5割前半と高くなっている。



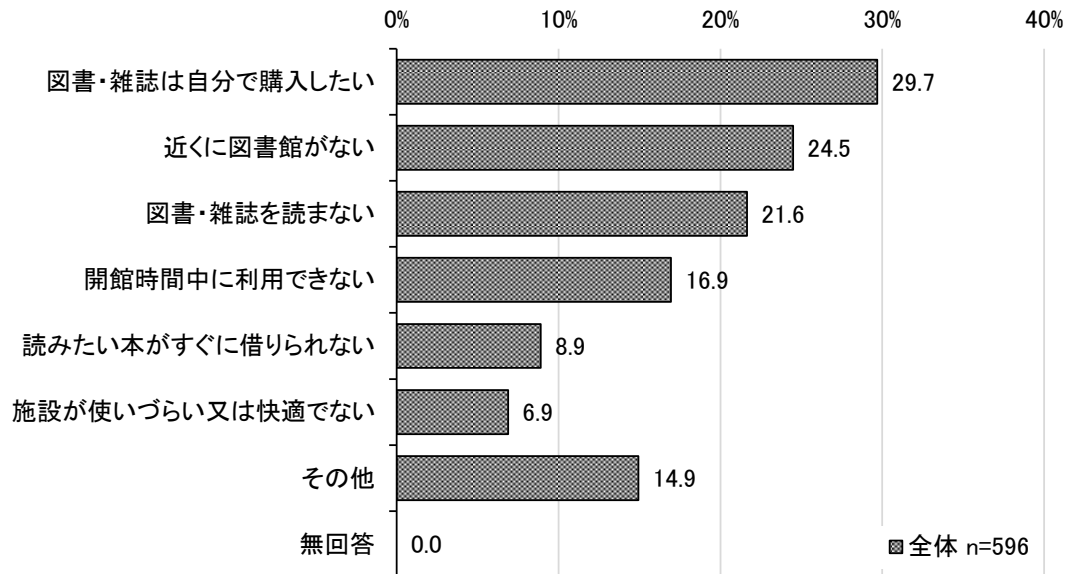
### (3) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が約3割で最も高くなっている

【問 29 で「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」「利用しない」と回答した方に伺います。】

#### 問 29-2 図書館を利用しない理由は何ですか。（いくつでも）

図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が29.7%で最も高く、次いで「近くに図書館がない」が24.5%、「図書・雑誌を読まない」が21.6%となっている。

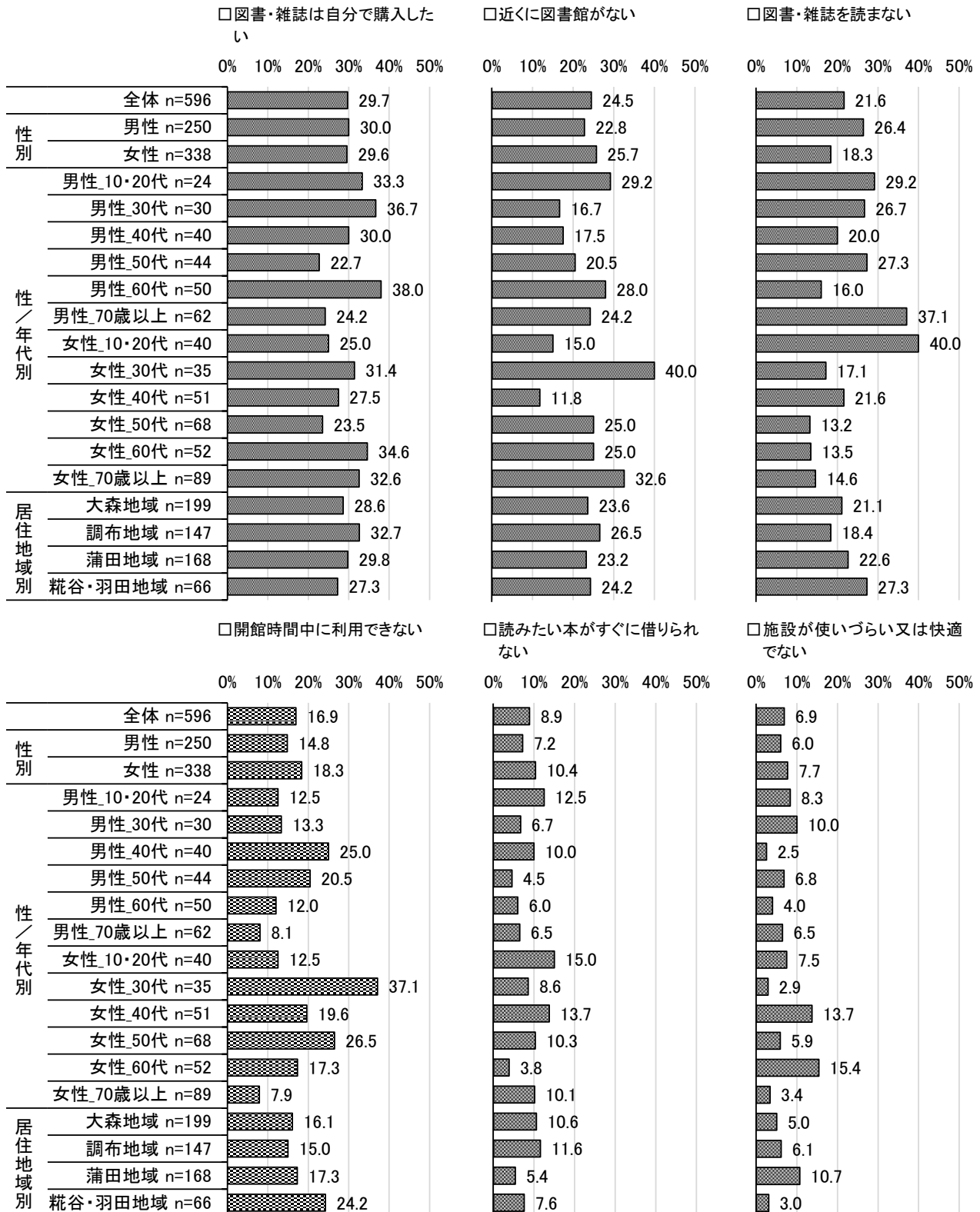


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「図書・雑誌は自分で購入したい」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は男性30代、男性60代で3割後半と高くなっている。「図書・雑誌を読まない」は男性70歳以上で3割後半、女性10・20代で4割と高くなっている。

居住地域別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は調布地域で3割前半と高くなっている。

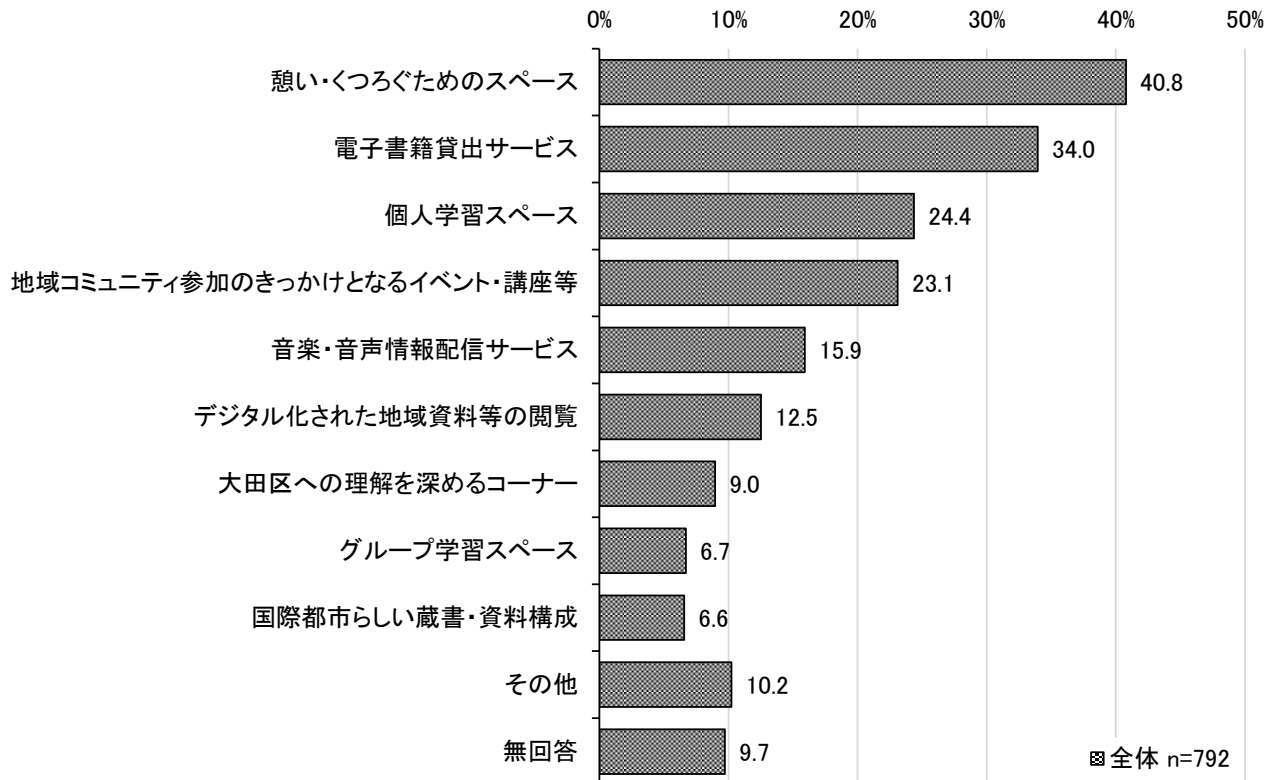


#### (4) 図書館に期待する機能・サービス

◇「憩い・くつろぐためのスペース」が約4割で最も高くなっている

**問 30 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。  
(いくつでも)**

図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が40.8%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が34.0%、「個人学習スペース」が24.4%となっている。

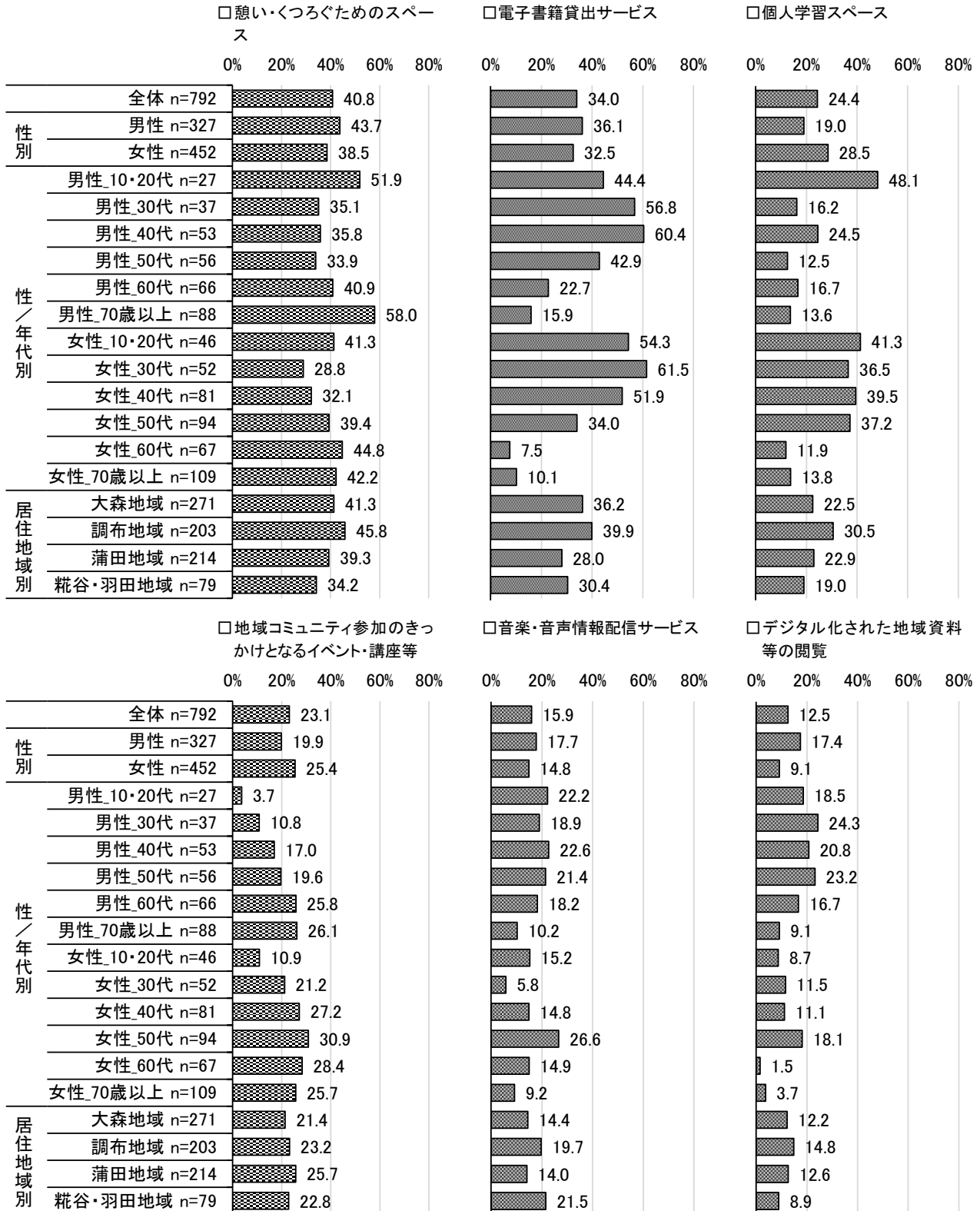


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「憩い・くつろぐためのスペース」が最も高く、男性が43.7%、女性が38.5%と、男性が5.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「憩い・くつろぐためのスペース」は男性70歳以上で5割後半と高くなっている。「電子書籍貸出サービス」は男性では40代で約6割、女性では30代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「憩い・くつろぐためのスペース」が最も高く、調布地域で4割半ばとなっている。



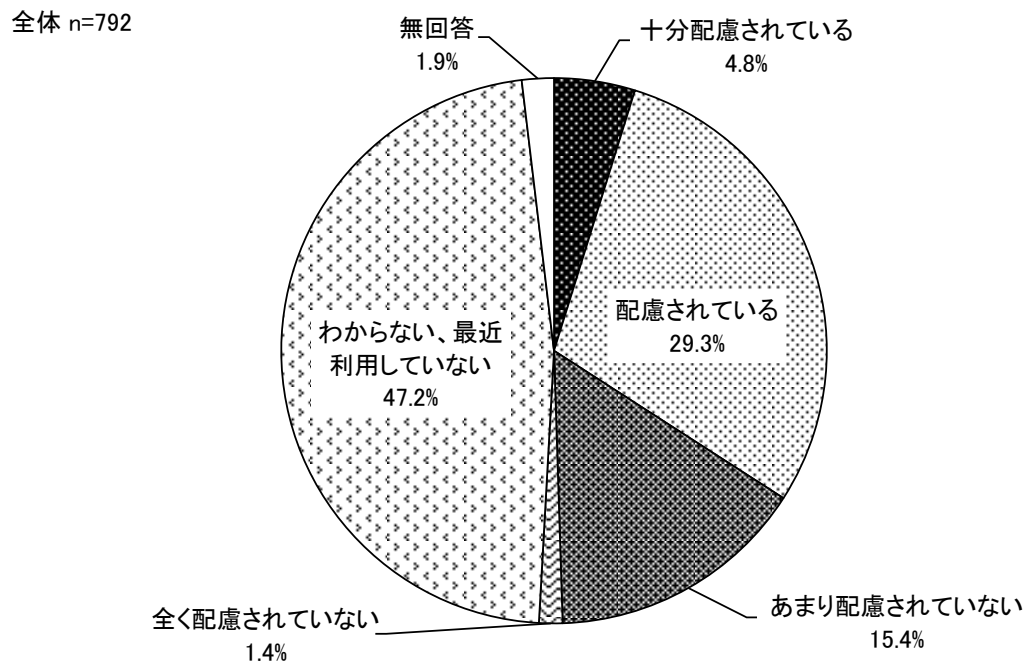
## 10 相談窓口について

### (1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示

◇ 《配慮されている》（「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値）は3割半ばとなっている

**問 31 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障がい者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）**

大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示については、「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が34.1%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が16.8%と、《配慮されている》が17.3ポイント上回っている。



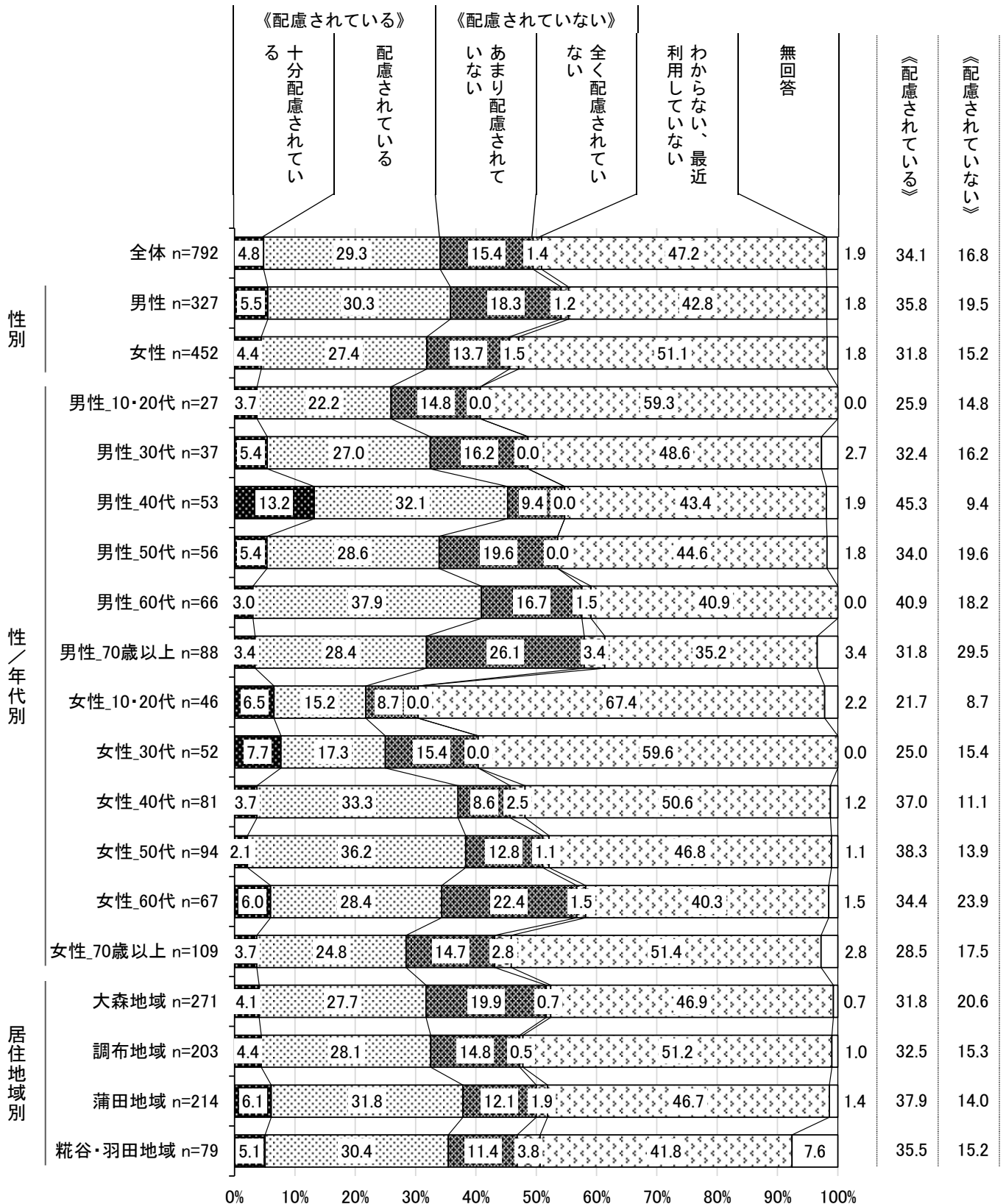


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《配慮されている》は男性が35.8%、女性が31.8%と、男性が4.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《配慮されている》は男性40代、男性60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《配慮されている》が3割台となっている。



## 11 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

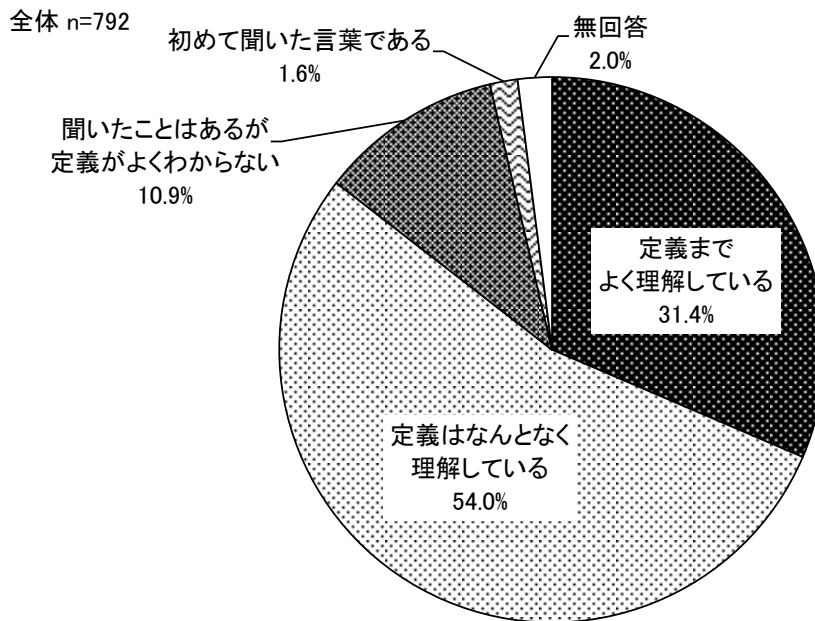
### (1) 「バリアフリー」の認知度

◇ 《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は8割半ばとなっている

#### 問 32 「バリアフリー」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方。

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が85.4%となっている。その内、「定義までよく理解している」は31.4%となっている。

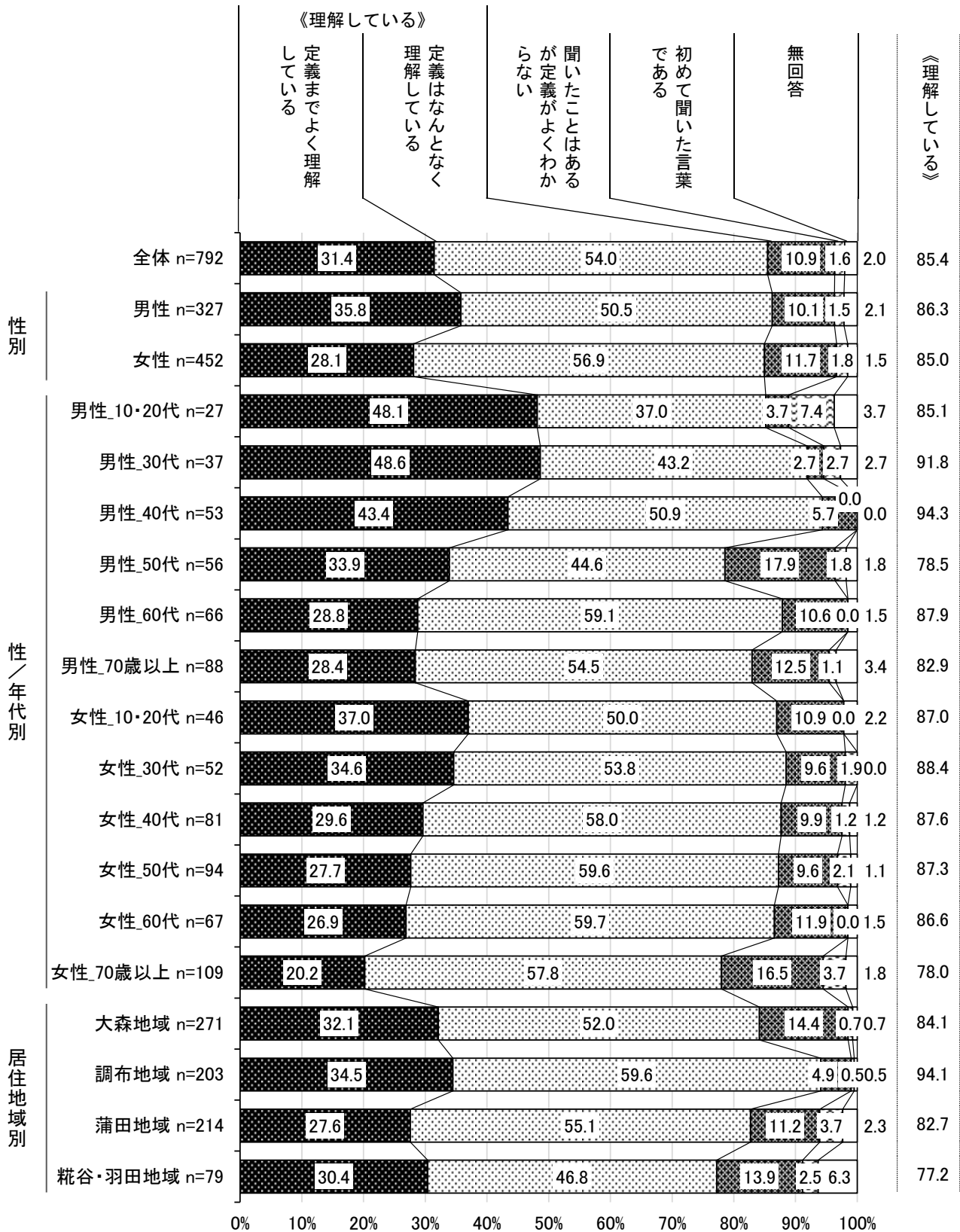


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性が35.8%、女性が28.1%と、男性が7.7ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《理解している》は男性30代、男性40代で9割台となっている。その内、「定義までよく理解している」は男性30代、男性40代で4割台と高くなっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で9割半ばと高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が3割半ばと高くなっている。



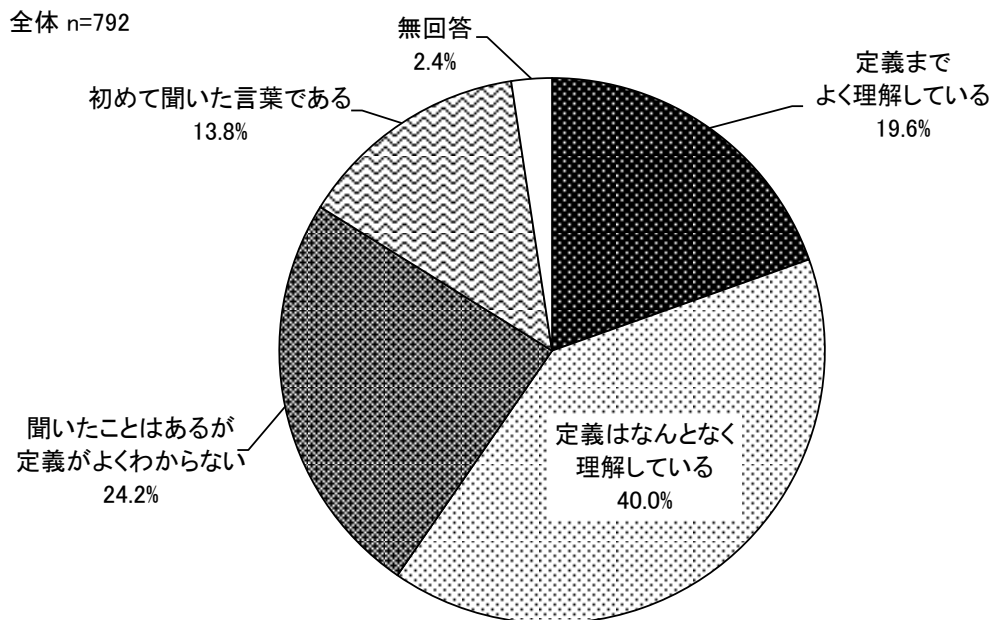
## (2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇ 《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は約6割となっている

### 問 33 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方。

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が59.6%となっている。その内、「定義までよく理解している」は19.6%となっている。

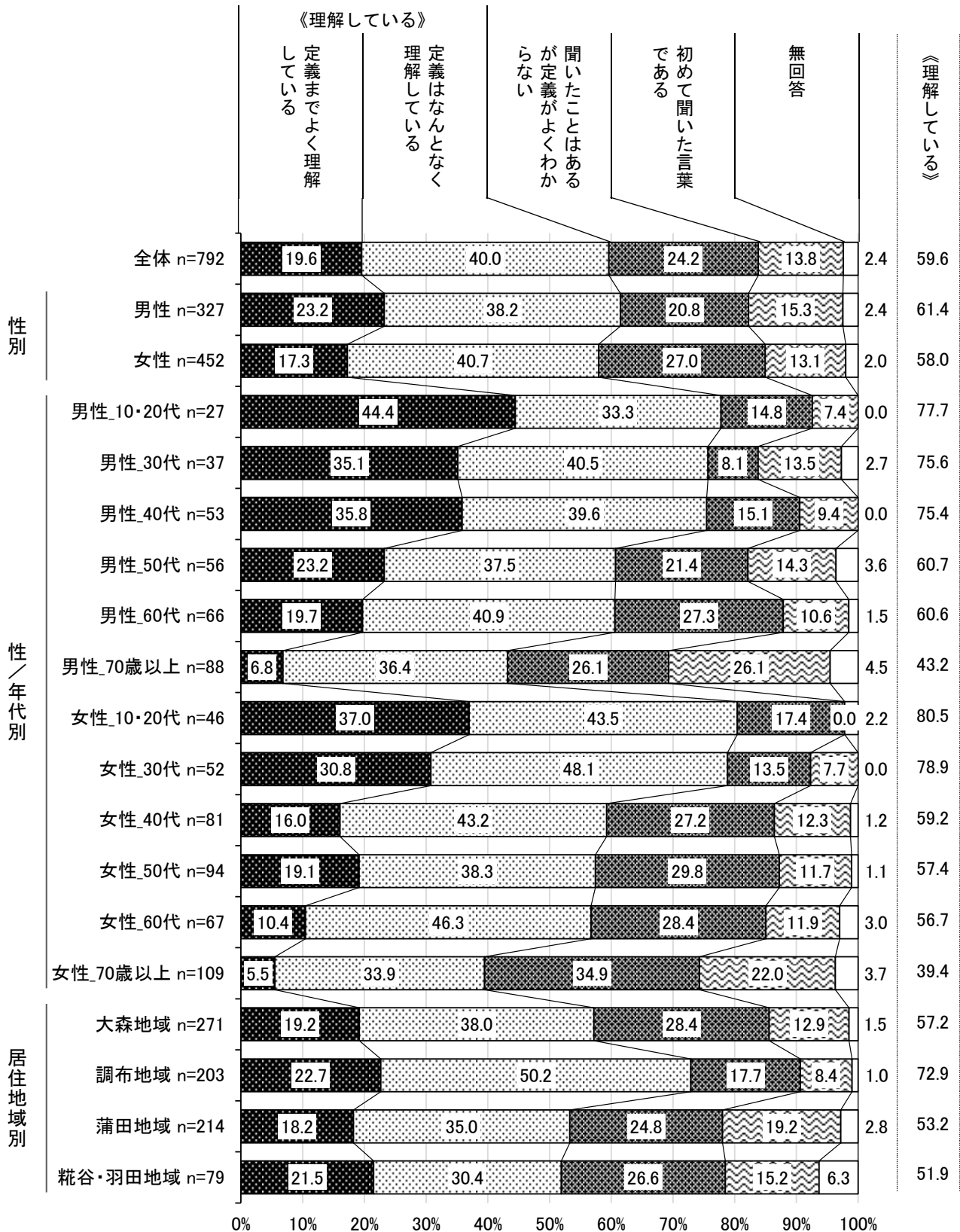


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性が23.2%、女性が17.3%と、男性が5.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《理解している》は女性10・20代で約8割と高くなっている。その内、「定義までよく理解している」は男性30代、男性40代、女性10・20代、女性30代で3割台となっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で7割前半と高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が2割前半と高くなっている。



## 12 災害時の避難等について

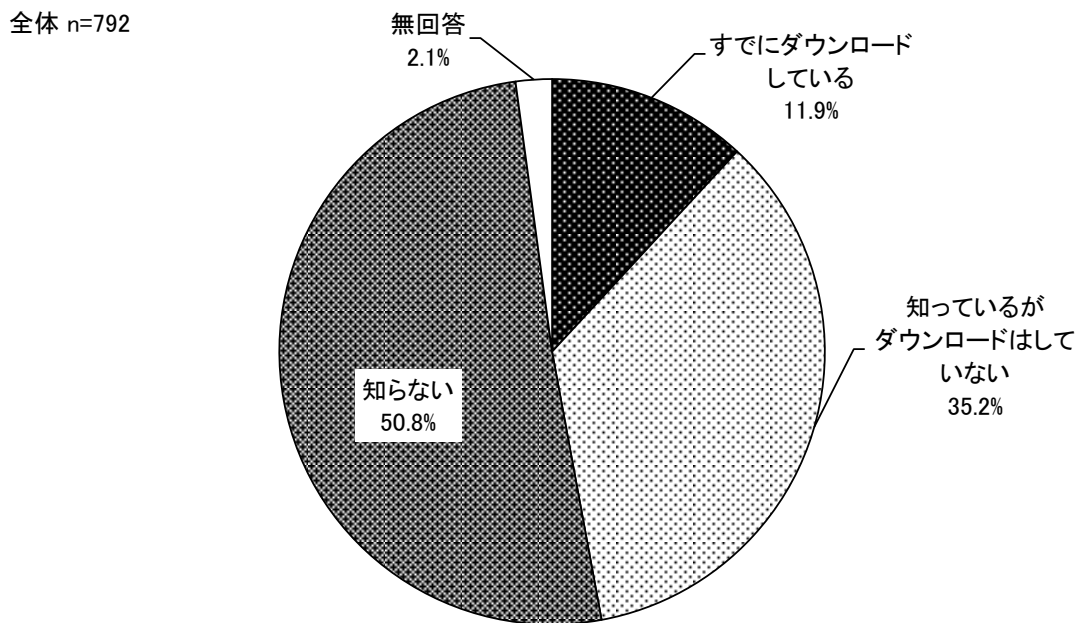
### (1) 「大田区防災アプリ」の認知度

◇ 《ダウンロードしている・知っている》（「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値）は4割後半となっている

#### 問 34 「大田区防災アプリ」を知っていますか。（1つのみ）

“大田区防災アプリ”の認知度については、「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《ダウンロードしている・知っている》が47.1%となっている。その内、「すでにダウンロードしている」は11.9%となっている。

なお、「知らない」は50.8%となっている。

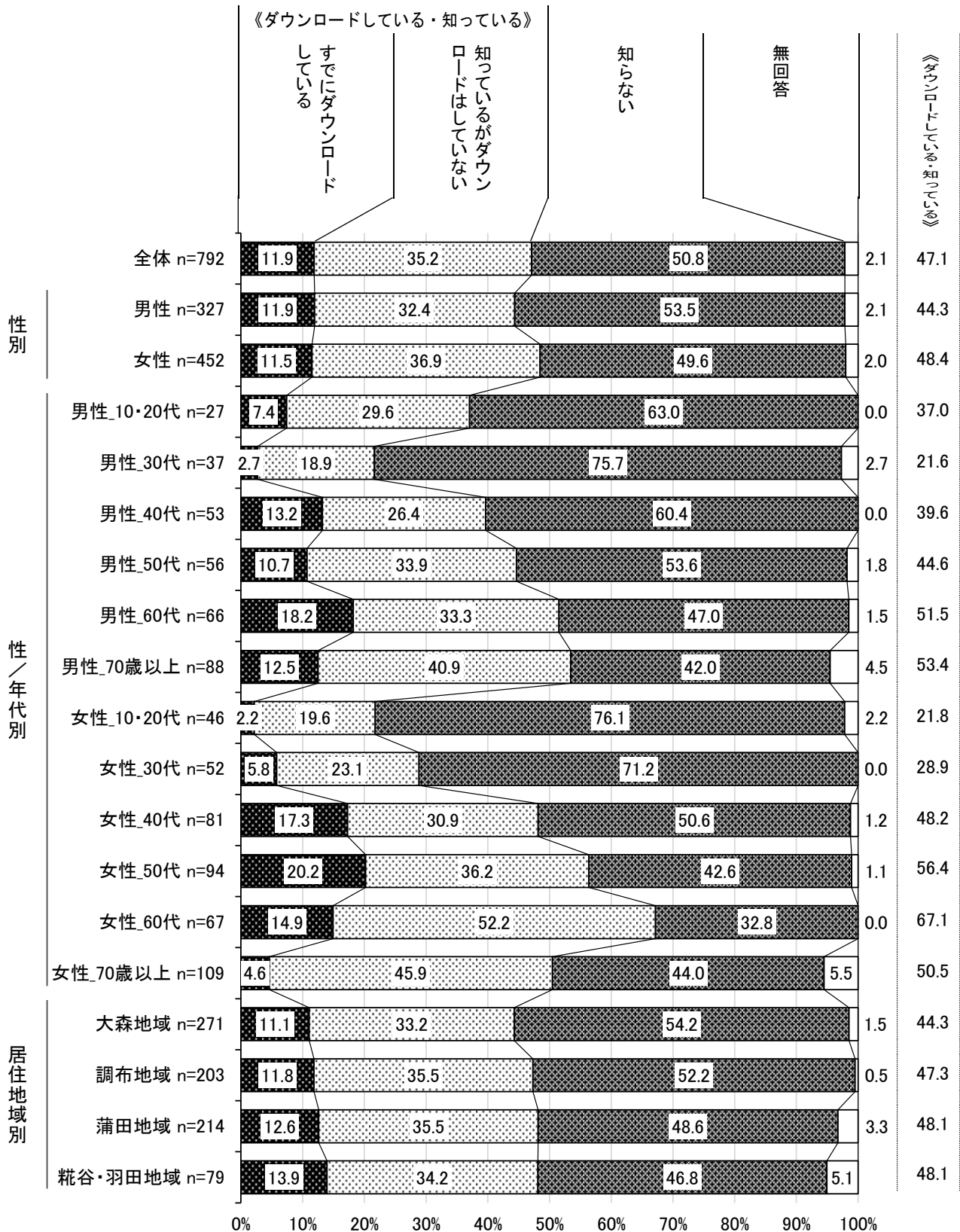


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《ダウンロードしている・知っている》は男性が44.3%、女性が48.4%と、女性が4.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《ダウンロードしている・知っている》は男性では60代、70歳以上で5割前半、女性では60代で6割後半と高くなっている。その内、「すでにダウンロードしている」は女性50代で約2割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《ダウンロードしている・知っている》は4割台となっている。



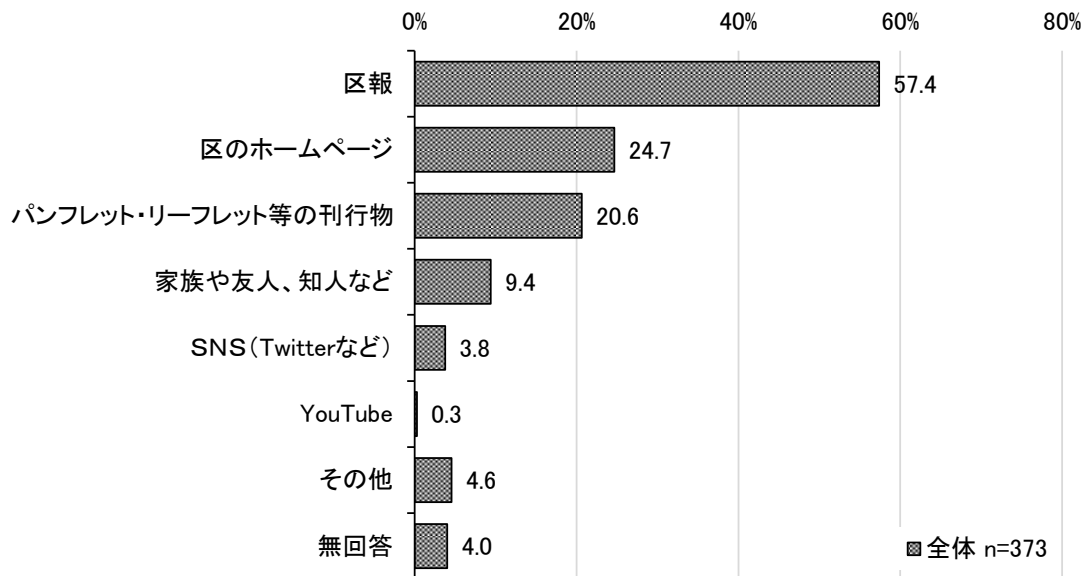
## (2) 「大田区防災アプリ」を認知したきっかけ

◇「区報」が5割後半で最も高くなっている

【問 34 で「すでにダウンロードしている」「知っているがダウンロードはしていない」と回答した方に伺います。】

### 問 34-1 「大田区防災アプリ」をどこで知りましたか。(いくつでも)

“大田区防災アプリ”を認知したきっかけについては、「区報」が57.4%で最も高く、次いで「区のホームページ」が24.7%、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が20.6%となっている。

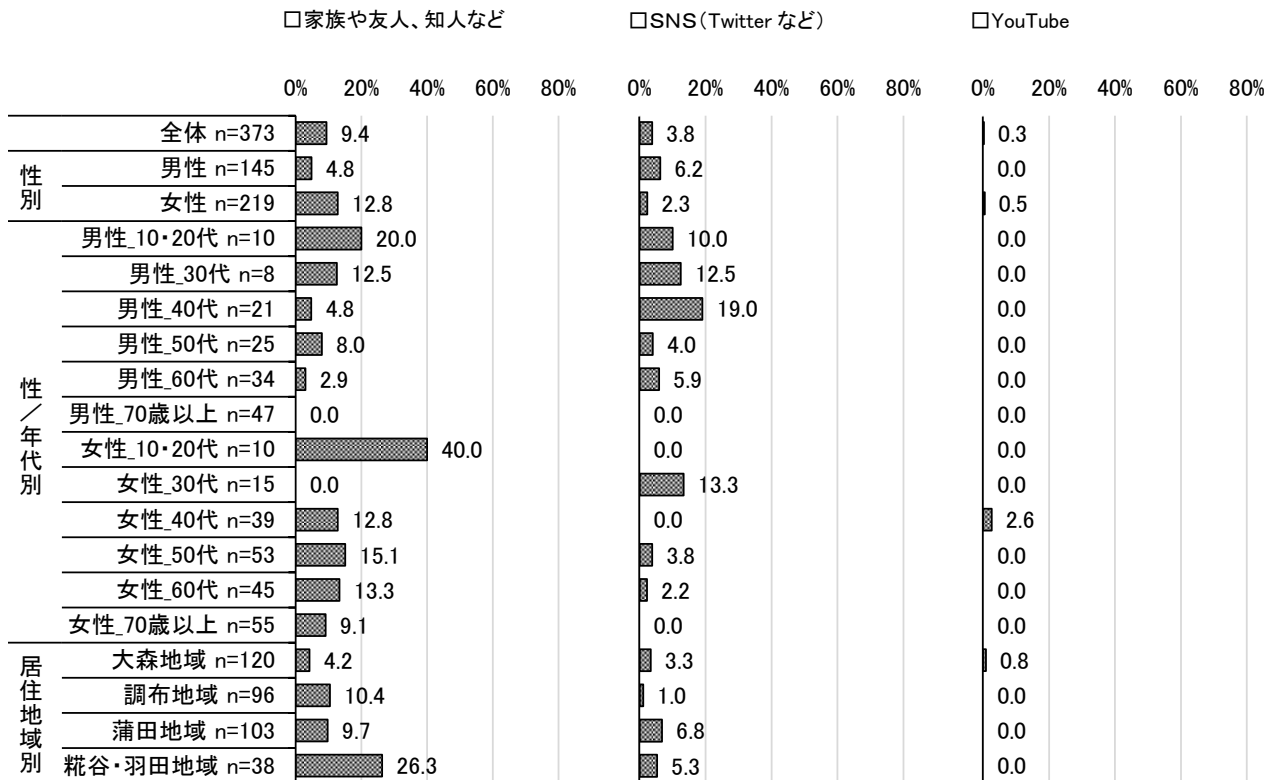
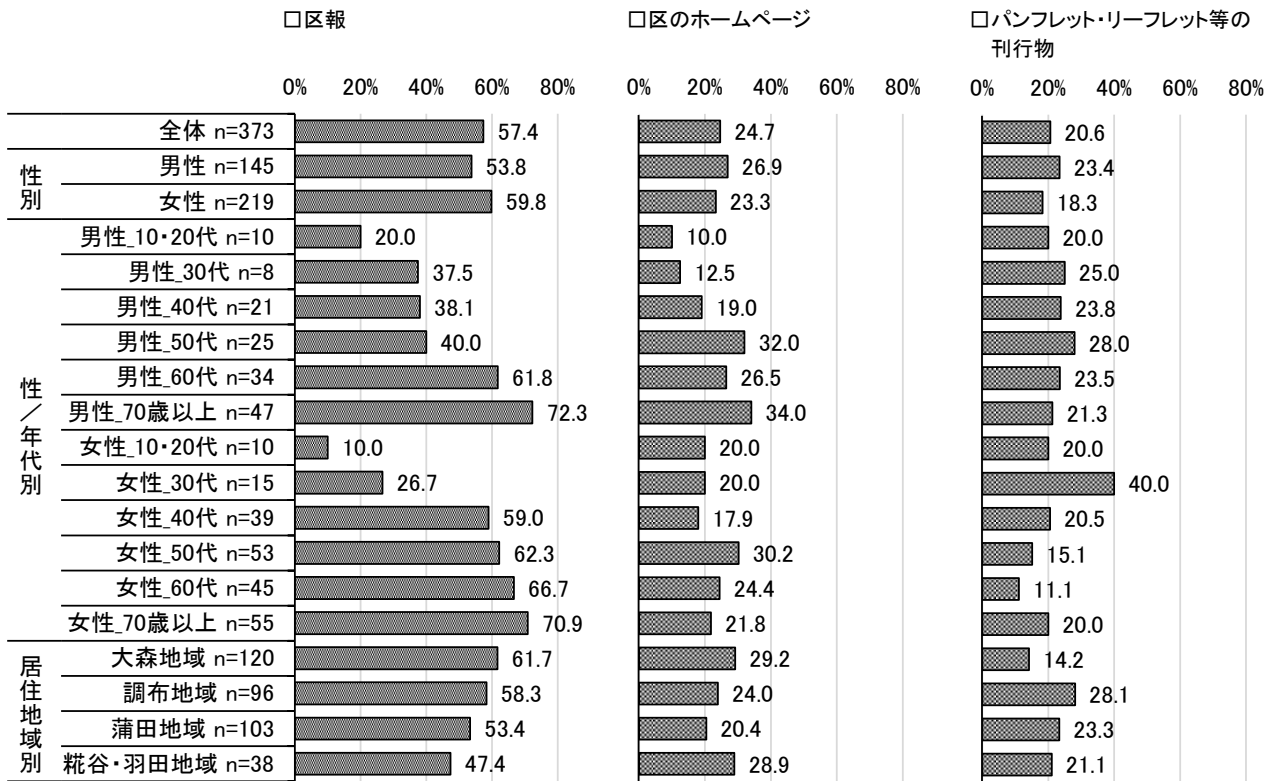




■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「区報」が最も高く、男性が53.8%、女性が59.8%と、女性が6.0ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「区報」は大森地域で6割前半と高くなっている。



## 13 耐震改修について

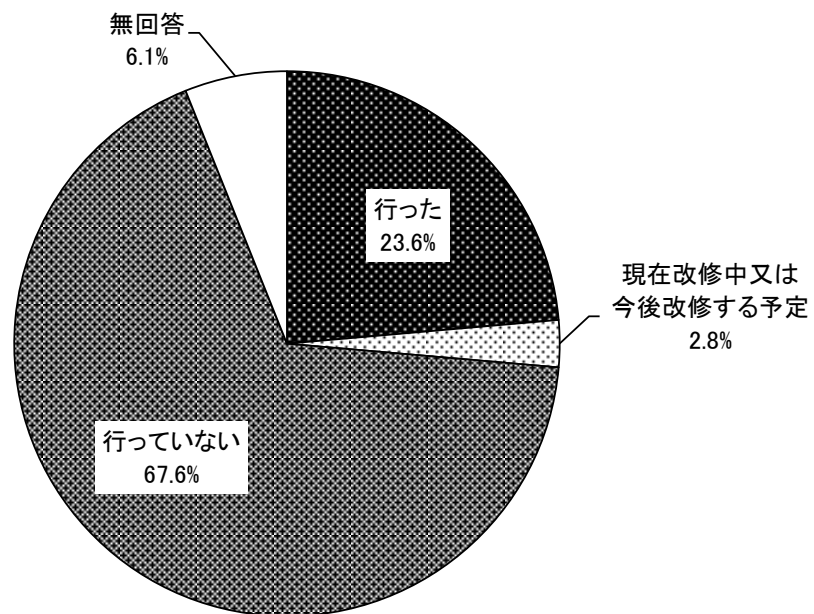
### (1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況

◇「行った」が2割前半となっている

**問 35 あなたは、現在のお住まいや区内に所有している建物の耐震改修を行いましたか。  
(1つのみ)**

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「行っていない」が67.6%で最も高く、次いで「行った」が23.6%、「現在改修中又は今後改修する予定」が2.8%となっている。

全体 n=792

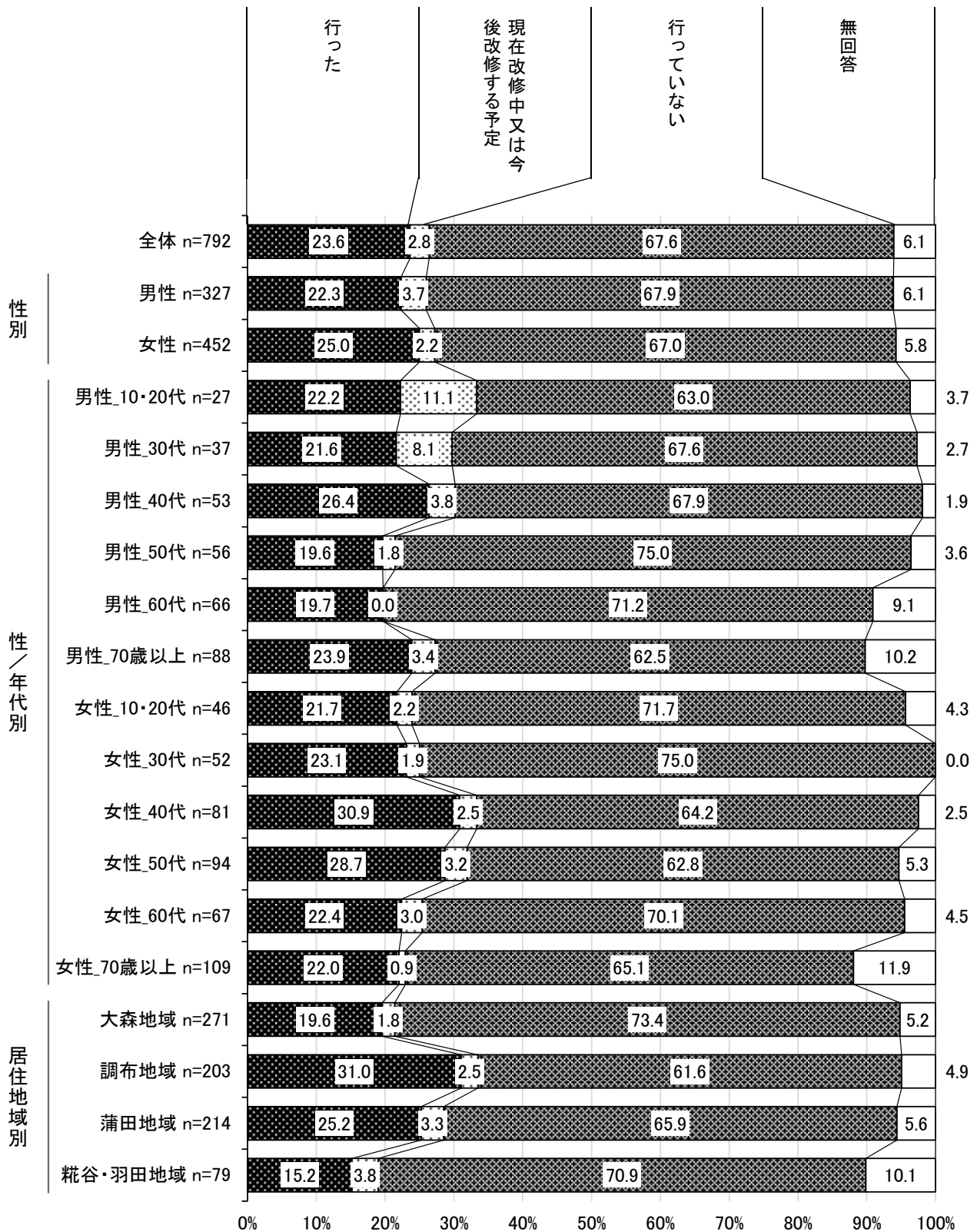


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「行った」は女性40代で約3割と高くなっている。

居住地域別でみると、「行った」は調布地域で約3割と高くなっている。



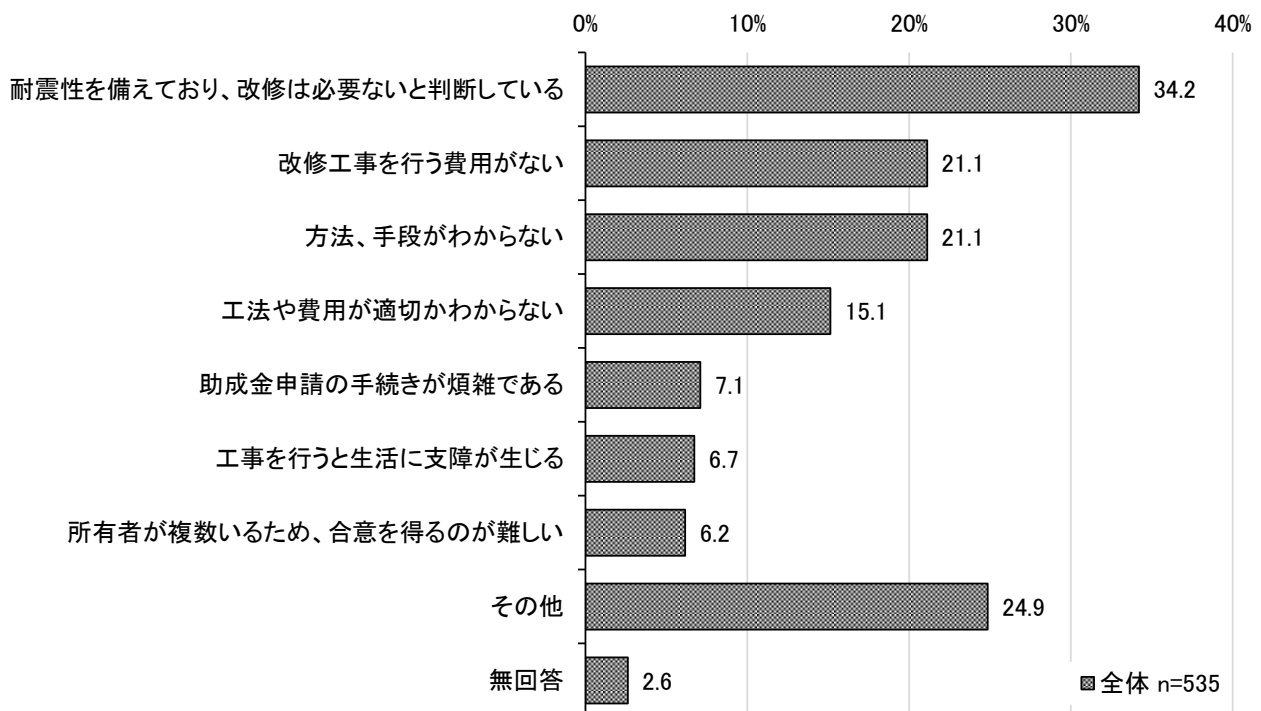
## (2) 耐震改修を行っていない理由

◇「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が3割半ばで最も高くなっている

【問 35 で「行っていない」と回答した方に伺います。】

### 問 35-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

耐震改修を行っていない理由については、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が34.2%で最も高く、次いで「改修工事を行う費用がない」、「方法、手段がわからない」がともに21.1%、「工法や費用が適切かわからない」が15.1%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は男性40代で5割、男性60代、女性50代、女性60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は調布地域で4割前半と高くなっている。

